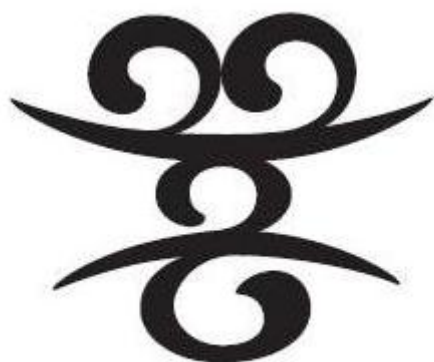


愛知県立芸術大学 F D 活動報告書

平成 2 4 年度



愛 知 県 立 芸 術 大 学
芸 術 教 育 ・ 学 生 支 援 セ ン タ ー

目 次

Introduction	1
第1章 授業評価アンケート集計結果・報告	
概要	4
実施授業一覧	5
1-1 美術学部／美術研究科	
日本画 ／ 日本画	14
彫刻 ／ 彫刻	19
芸術学 ／ 芸術学	25
デザイン ／ デザイン	48
陶磁 ／ 陶磁	63
1-2 音楽学部 ／ 音楽研究科	
作曲（作曲） ／ 作曲	78
作曲（音楽学） ／ 音楽学	112
声楽 ／ 声楽	119
器楽（ピアノ） ／ 鍵盤楽器	129
器楽（弦楽器） ／ 弦楽器	141
器楽（管打楽器） ／ 管楽器、打楽器	144
基礎教育科目	148
1-3 教養教育科目	150
1-4 教職課程・博物館課程	
教職に関する科目	281
博物館に関する科目	305
1-5 施設整備に対する要望	308
第2章 五芸術大学FDに関する意見交換会	322
第3章 その他FD活動	
専攻別FD活動報告書	334
平成24年度専任教員研修	349
付録（規程、学生ファイル）	350

平成 24 年度 F D 活動報告書

F D 専門委員会委員長 秦 誠

平成 19 年度から始まった F D 活動は「F D 講演会」「授業評価アンケート」「各学部、各専攻での取り組み」の三本柱を本学の F D 活動として推進、実施してきました。

過去に行ってきた「F D 講演会」で、大学における教育は教員個々人の責任領域であるという考えからさらに一步踏み込み、教員集団による相互的な教育内容、教育方法の点検、評価を行い、組織的な教育の質の向上を目指す必要があることが浸透してきたように思われます。

本学では学生への「授業評価アンケート」を毎年実施し、これに対する教員の応答、またそれらを素材とする教員間の集団的な検討を各専攻で行っています。また、教育、研究、大学運営、社会貢献に関する教員の自己点検・自己評価も毎年実施することで教員の自覚を求めています。

教育や研究は最終的には個々の教員の実践に委ねられるものですが、そうであればこそ教員自身の真摯な自己点検・自己評価が不可欠であり、さらに教員相互の客観的な点検や評価も必要不可欠といえます。

教育の質の向上、教育の改善という大学にとって基本的でかつ重要な課題に向けて、さらなる教員の組織的な取り組みを発展、充実していくために当年度の「F D 活動報告書」が役立てられることを期待します。

平成 24 年度 F D 活動について

本学の F D 活動は、F D 専門委員会でその取り組みについて検討しています。

委員会では主に「授業評価アンケート」、「新任教員研修」、美術学部における「学生ファイル」等の実施について検討を重ねています。

また、新たな試みとして、国公立芸術大学の教員との意見交換会開催の提案をしました。この意見交換会は、平成 23 年度に実現し、継続して開催される予定です。

「学生ファイル」は、学部学生の指導記録を学生毎に記録し、教員間や次年度以降の学生一人一人の指導に役立てています。

「各専攻での取り組み」として、各専攻・コースでの F D 活動報告を掲載しています。

*専攻の F D 活動報告により、授業単位の「授業評価アンケート報告書」の作成は省いています。

第 1 章 授業評価アンケート

集計結果・報告

平成24年度 授業評価アンケート

1. はじめに

本学では、大学の教育・研究の充実を図るとともに、教員の授業内容、教育方法の組織的な改善を行い、教育の質的向上を図るため、全ての学部及び研究科において、ファカルティ・ディプロップメント（FD）を実施しています。その一環として、両学部の授業について、受講した学生の声を聞き、今後の授業づくりの参考とするため、「授業評価アンケート」（以下「アンケート」）を導入しました。今回のアンケート実施で平成19年度から6年目を向かえました。

平成21年度から、FD専門委員会においてアンケートの設問内容を一新し、「講義系授業」と本学の特長である「実習系授業」の2種類のアンケートで実施しています。

この2種類のアンケート以外にも教員が独自にアンケートを作成・実施し、学生の声を授業づくりの参考としています。

2. アンケートの実施

前期と後期の年2回実施をしました。

前期は、平成24年7月2日（月）から7月20日（金）の3週間。後期は、平成25年1月7日（月）から1月28日（月）の3週間。この期間で担当教員の任意の日で実施しています。また、アンケート実施の留意点として、アンケートは匿名で行っており、教員は学生にアンケート用紙を配付した後、教室から出ます。学生がアンケートを回収し、大学事務局に提出することで、学生が自由に回答できるように配慮しています。

実施対象の授業は、平成23年度と同様に、FD委員の協力のもと各専攻・コースで実施授業を選択しました（集中講義を除く）。これは、各専攻でアンケートを必要とする授業にしぼることを目的とするだけではなく、アンケート実施が困難な授業を事前に把握することが可能となりました。実施が困難な授業とは、個人指導の形態をとっている授業やクラス分けにより少人数で行っている授業などがあります。

このように実施方法は、FD専門委員会において毎回協議しています。さらに、学内の関係各位への周知活動を継続しています。

3. アンケートの報告

アンケートは実施後、学生が大学事務局に提出し、事務局において集計を行いました。集計は担当教員に配付し、本学専任教員は集計結果をもとに、アンケートの報告書を作成しています。

報告書では、教員自身による授業の振り返りとアンケート結果についてのコメント、授業の改善点などを記述しています。

4. 本書掲載にあたって

アンケート集計結果は、本学専任教員（専攻）の担当授業を掲載しています。

また、アンケートには、自由記述の設問が3つありますが、本書掲載にあたって、施設設備などに対する要望以外の自由記述の集計結果は、割愛しています。

アンケート自由記述（講義、実習共通設問）

「この授業で特によかった点があれば書いてください。」

「この授業で要望など改善してほしい点があれば書いてください。」

「授業に関して施設設備などに対する要望があれば書いてください。」

平成24年度 授業評価アンケート実施授業一覧

教養教育科目(アンケート前期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
哲学A	講義	中 敬夫	
日本文化史A	講義	二瓶 浩明	
外国文学A	講義	内田 善孝	
言語学A	講義	井土 慎二	
仏教学A	講義	高井 恭子	
日本史A	講義	勝亦 貴之	
日本国憲法	講義	築山 欣央	(美術)
心理学A	講義	三宮 敦生	
数学A	講義	加納 成男	
自然科学史A	講義	吉山 青翔	
基礎物理学A	講義	馬宮 孝好	
基礎化学A	講義	清道 正嗣	
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	幸田 律	
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	岡本 淨実	
身体運動演習 I A	講義	山本 祐実	
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	小野 昌子	
自由研究ゼミナール I	講義	ロムアルト・ハローネ	
自由研究ゼミナール II	講義	バハッテ・マンシリアーノ	
外国文化史	講義	水野 留規	
日本文学	講義	二瓶 浩明	
日本演劇論	講義	二瓶 浩明	
コンピューター基礎 I a	講義	清道 正嗣	
コンピューター基礎 II a	講義	清道 正嗣	
コンピューター基礎 II a	講義	中島 啓之	
コンピューター基礎 II b	講義	中島 啓之	
コンピューター基礎 III a	講義	清道 正嗣	
西洋演劇論	講義	大塚 直	
基本体育A	講義	石垣 享	(火2)
基本体育A	講義	石垣 享	(火3)
基本体育A	講義	石垣 享	(火4)
基礎生物学A	講義	黒田 英世	

教養教育科目(アンケート後期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
哲学B	講義	中 敬夫	
日本文化史B	講義	二瓶 浩明	
外国文学B	講義	内田 善孝	
言語学B	講義	井土 慎二	
仏教学B	講義	高井 恭子	
日本史B	講義	勝亦 貴之	
日本国憲法	講義	築山 欣央	
心理学B	講義	三宮 敦生	
数学B	講義	加納 成男	
自然科学史B	講義	吉山 青翔	
基礎物理学B	講義	馬宮 孝好	
基礎化学B	講義	清道 正嗣	
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	岡本 淨実	(木5)
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	幸田 律	(木4)
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	小野 昌子	(火5)
身体運動演習 I A・B、II A・B	講義	山本 祐実	(火5)
西洋の古典文芸	講義	水野 留規	
日本の古典文芸	講義	二瓶 浩明	
日本の近現代演劇	講義	二瓶 浩明	
コンピューター基礎 I a	講義	渡邊 裕司	(木4)
コンピューター基礎 I a	講義	渡邊 裕司	(木5)

教養教育科目(アンケート後期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
コンピューター基礎Ⅱb	講義	清道 正嗣	(火4)
コンピューター基礎Ⅱb	講義	中島 啓之	(木3)
コンピューター基礎Ⅲb	講義	清道 正嗣	
基本体育B	講義	石垣 享	(火2)
基本体育B	講義	石垣 享	(火3)
基礎生物学B	講義	黒田 英世	
芸術と諸科学	講義	大塚 直	(隔週)

教養教育科目(アンケート後期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
英語初級Ⅰ	講義	松永 隆	(月4)
英語初級Ⅰ	講義	ナイレイ・アン・キーナン	(月3)
英語初級Ⅰ	講義	ナイレイ・アン・キーナン	(月4)
英語初級Ⅱ	講義	堀江 薫	(水3)
英語初級Ⅱ	講義	井土 慎二	(水3)
英語初級Ⅱ	講義	井土 慎二	(水4)
英語初級Ⅱ	講義	トーマス・オーエン・コックス	(水2)
英語中級Ⅰ	講義	井土 慎二	(月3)
英語中級Ⅰ	講義	井土 慎二	(月4)
英語中級Ⅱ	講義	トーマス・オーエン・コックス	
英語上級Ⅰ	講義	松永 隆	
英語上級Ⅱ	講義	堀江 薫	
ドイツ語初級Ⅰ	講義	大塚 直	(月3)
ドイツ語初級Ⅰ	講義	大庭 正春	(月4)
ドイツ語初級Ⅱ	講義	大塚 直	(水2)
ドイツ語初級Ⅱ	講義	山本 弘之	(水3)
ドイツ語中級Ⅰ	講義	大塚 直	
ドイツ語中級Ⅱ	講義	ジャクリーン・ポルスト	
ドイツ語上級Ⅰ	講義	大塚 直	
フランス語初級Ⅰ・Ⅱ	講義	内田 善孝	(月3)
フランス語初級Ⅰ・Ⅱ	講義	曾我 千亜紀	(月4)
フランス語中級Ⅱ	講義	内田 善孝	
イタリア語初級Ⅰ	講義	水野 留規	(月3)
イタリア語初級Ⅰ	講義	ロムアルド・パローネ	(月3)
イタリア語初級Ⅱ	講義	パペッテ・マシミアアーノ	(水2)
イタリア語初級Ⅱ	講義	パペッテ・マシミアアーノ	(水3)

基礎教育科目(アンケート前期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
日本美術史特講Ⅱ	講義	熊田 由美子	
日本美術史概説A	講義	熊田 由美子	
現代アート概説A	講義	小西 信之	
西洋音楽史概説A	講義	鳥山 頼子	

基礎教育科目(アンケート後期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
現代アート論特講Ⅱ	講義	小西 信之	
日本美術史概説B	講義	熊田 由美子	
現代アート概説B	講義	小西 信之	
西洋音楽史概説B	講義	鳥山 頼子	
音楽芸術言語(伊語)Ⅰ	講義	ロムアルド・パローネ	

美術学部専門教育科目(アンケート前期実施)

授業科目	様式	担当	備考
彫刻専攻			
彫刻実技Ⅰ	実習	彫刻専攻	
彫刻実技Ⅱ	実習	彫刻専攻	
彫刻実技Ⅲ	実習	彫刻専攻	
彫刻実技Ⅳ	実習	彫刻専攻	

美術学部専門教育科目(アンケート前期実施)

授業科目	様式	担当	備考
芸術学専攻			
芸術学基礎実技ⅠA	実習	小西 信之	
芸術学基礎実技ⅡA	実習	小西 信之	
美学特講Ⅰ	講義	中 敬夫	
デザイン専攻			
デザイン・工芸論A	講義	柴崎 幸次	
デザイン特講A	講義	今尾 泰三	
デザインプレゼンテーション	講義	佐藤 直樹	

美術学部専門教育科目(アンケート後期実施)

授業科目	様式	担当	備考
日本画専攻			
日本画実技Ⅰ	実習	松村 公嗣	
日本画実技Ⅱ	実習	吉村 佳洋	
日本画実技Ⅳ	実習	角島 直樹	
彫刻専攻			
彫刻実技Ⅳ	実習	神田 每実	
芸術学専攻			
芸術学基礎実技ⅠB	実習	小西 信之	
芸術学基礎実技ⅡB	実習	小西 信之	
芸術学総合研究Ⅰ	実習	中 敬夫	
芸術学総合研究Ⅱ	実習	中 敬夫	
芸術学総合研究Ⅲ	実習	中 敬夫	
デザイン専攻			
デザイン実技Ⅰ	実習	柴崎 幸次	
デザイン実技Ⅱ	実習	佐藤 直樹	
デザイン実技Ⅲ	実習	今尾 泰三	
デザイン実技Ⅳ	実習	石井 晴雄	
デザイン・工芸論B	講義	梅本 孝征	
デザイン特講B	講義	今尾 泰三	
陶磁専攻			
陶磁実技Ⅰ	実習	佐藤 文子	
陶磁実技Ⅱ	実習	川村 秀樹	
陶磁実技Ⅲ(セラミックデザイン)	実習	長井 千春	
陶磁実技Ⅲ(陶芸)	実習	梅本 孝征	
陶磁実技Ⅳ(セラミックデザイン)	実習	友岡 秀秋	
陶磁実技Ⅳ(陶芸)	実習	太田 公典	

音楽学部専門教育科目(アンケート前期実施)

授業科目	様式	担当	備考
作曲専攻作曲コース			
楽式論A	講義	山本 裕之	
楽式論A	講義	小井 洋明	水2
楽式論A	講義	小井 洋明	水3
ソルフェージュM(前期)	講義	山本 裕之	M
ソルフェージュIA(前期)	講義	鈴木 宏司	IA1
ソルフェージュIA(前期)	講義	高山 葉子	IA2
ソルフェージュIA(前期)	講義	武野 晴久	IA3
ソルフェージュIA(前期)	講義	遠藤 秀安	IA4
ソルフェージュIA(前期)	講義	白井 稚佳子	IA5
ソルフェージュIA(前期)	講義	小島 千加子	IA6
ソルフェージュIA(前期)	講義	板倉 ひろみ	IA7
ソルフェージュIB(前期)	講義	白井 稚佳子	IB1
ソルフェージュIB(前期)	講義	小島 千加子	IB2
ソルフェージュIB(前期)	講義	鈴木 宏司	IB3
ソルフェージュIIA(前期)	講義	遠藤 秀安	IIA1

音楽学部専門教育科目(アンケート前期実施)

授業科目	様式	担当	備考
ソルフェージュIIA(前期)	講義	板倉 ひろみ	IIA2
ソルフェージュIIA(前期)	講義	武野 晴久	IIA3
ソルフェージュIIA(前期)	講義	山本 裕之	IIA4
ソルフェージュ特1(前期)	講義	高山 葉子	特1
対位法A	講義	鈴木 宏司	
対位法A	講義	遠藤 秀安	
対位法A	講義	岩本 渡	
対位法A	講義	柴田 恭男	
和声IA	講義	遠藤 秀安	
和声IA	講義	北浦 恒人	
和声IA	講義	柴田 恭男	
和声IA	講義	岩本 渡	
和声IA	講義	山本 裕之	
和声IIA	講義	小林 聡	
和声IIA	講義	遠藤 秀安	
和声IIA	講義	柴田 恭男	
和声IIA	講義	北浦 恒人	
和声IIA	講義	岩本 渡	
作曲専攻音楽学コース			
楽書講読(英)IA、IIA	講義	安原 雅之	
器楽専攻ピアノコース			
伴奏法・歌曲A	実習	加藤 美緒子	
伴奏法・器楽曲A	実習	牧野 纈	
ピアノ指導法A	実習	掛谷 勇三	
室内楽IA	実習	鈴木 謙一郎	
室内楽IA	実習	早川 幸余	
楽器研究(チェンバロ・フォルテピアノ)A	実習	安井 直子	
楽器研究(オルガン)A	実習	徳岡 めぐみ	
ピアノ合奏A	実習	掛谷 勇三	
器楽専攻管打楽器コース			
室内楽IA~IVA	実習	武内 安幸	

音楽学部専門教育科目(アンケート後期実施)

授業科目	様式	担当	備考
作曲専攻作曲コース			
ソルフェージュM(後期)	講義	山本 裕之	
ソルフェージュI B1(後期)	講義	鈴木 宏司	
ソルフェージュI B2(後期)	講義	白井 稚佳子	
ソルフェージュI B3(後期)	講義	高山 葉子	
ソルフェージュI B4(後期)	講義	遠藤 秀安	
ソルフェージュI B5(後期)	講義	武野 晴久	
ソルフェージュI B6(後期)	講義	板倉 ひろみ	
ソルフェージュI B7(後期)	講義	白井 稚佳子	
ソルフェージュI B8(後期)	講義	山本 裕之	
ソルフェージュI B9(後期)	講義	小島 千加子	
ソルフェージュII A1(後期)	講義	遠藤 秀安	
ソルフェージュII A2(後期)	講義	板倉 ひろみ	
ソルフェージュII A3(後期)	講義	武野 晴久	
特殊ソルフェージュ1(後期)	講義	高山 葉子	
特殊ソルフェージュ2(後期)	講義	小島 千加子	
特殊ソルフェージュ3(後期)	講義	北住 淳	
特殊ソルフェージュ4(後期)	講義	鈴木 宏司	
作曲専攻音楽学コース			
音楽学特講	講義	安原 雅之	
音楽史特講B	講義	小沢 優子	
楽書講読(英語) I B、II B	講義	安原 雅之	

音楽学部専門教育科目(アンケート後期実施)

声楽専攻			
オペラ研究B	実習	森川 栄子	
器楽専攻ピアノコース			
伴奏法・歌曲B	実習	掛谷 勇三	
伴奏法・器楽曲B	実習	鈴木 謙一郎	
ピアノ指導法B	実習	榊原 祐子	
楽器研究(チェンバロ・フォルテピアノ)B	実習	安井 直子	
楽器研究(オルガン)B	実習	徳岡 めぐみ	
器楽専攻弦楽器コース			
弦楽合奏	実習	福本、白石、桐山	

音楽研究科(博士前期課程)授業科目(アンケート前期実施)

授業科目	様式	担当	備考
オペラ総合演習II	実習	末吉 利行	
特殊研究(鍵盤楽器領域1)	実習	牧野 纈	

音楽研究科(博士前期課程)授業科目(アンケート前期実施)

授業科目	様式	担当	備考
特殊研究(複合領域3)	実習	森川 栄子	
特殊研究(鍵盤楽器領域2)	実習	加藤 美緒子	
特殊研究(鍵盤楽器領域3)	実習	熊谷 恵美子	

教職に関する科目(アンケート前期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
美術科教育法B	講義	礒部 洋司	
音楽科教育法A	講義	柴田 篤志	
音楽科教育法B	講義	柴田 篤志	
道德教育指導論	講義	松野 修	(美術)
道德教育指導論	講義	松野 修	(音楽)
生徒・進路指導論	講義	内藤 春彦	(美術)
教育相談	講義	内藤 春彦	(美術)
教育原理	講義	松野 修	(美術)
教育原理	講義	松野 修	(音楽)

教職に関する科目(アンケート後期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
教職入門	講義	不破 民由	(音楽)
教職入門	講義	不破 民由	(美術+ピアノ)
教育心理学	講義	三宮 敦生	(美術)
教育心理学	講義	三宮 敦生	(音楽)
美術科教育法A	講義	藤江 充	
音楽科教育法A	講義	柴田 篤志	
教育方法	講義	松野 修	
音楽科教育法C	講義	柴田 篤志	
生徒・進路指導論	講義	内藤 春彦	(音楽)
教育相談	講義	内藤 春彦	(音楽)

博物館に関する科目(アンケート前期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
博物館概論	講義	吉田 俊英	(隔週)

博物館に関する科目(アンケート後期実施) 美術学部・音楽学部

授業科目	様式	担当	備考
生涯学習概論	講義	松野 修	
博物館情報・メディア論	講義	西崎 紀衣	

美術学部・美術研究科

科目 日本画実技 I

授業コード 21201

担当 岩永 てるみ

教室 日本画 1 年アトリエ

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	3
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	5	9
4	ややそう思う	3	0
3	どちらともいえない	2	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	2	3	8	2	4	2	7	8
4	ややそう思う	3	1	1	7	5	3	3	1
3	どちらともいえない	4	3	1	1	1	1	0	1
2	あまりそう思わない	1	2	0	0	0	2	0	0
1	まったくそう思わない	0	1	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	日本画実技 I				担当者	岩永てるみ	
開講時期	通年	曜日	毎日	時限	1・2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

日本画の基本となる写生を基礎とする日本画の基礎的な技術を習得する。また、絵具、筆、膠、及び基底材としての雲肌麻紙、絹等の日本画材料を理解することを授業目的としており、下記の項目の到達を目指す。

- ・日本画の基礎的な技術を身につける。
- ・絵具、膠の使い方や和紙、絵絹に対する知識を学ぶと共に、使用する技術を身につける。
- ・写生の必要性を理解する。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

アンケートの集計でも真剣に取り組んだという回答がほとんどで、授業内容にも満足であったという回答が大半であった。専攻内での出席簿によるとほとんどの学生が80%以上の出席率であり、大方きちんと出席して課題をこなしているように感じる。

結果、全体として課題に対して意欲的に熱心に取り組んでいると思われる。

(2) 授業について

授業の内容や進め方、教員とのコミュニケーションにも大方満足しており、授業も分かり易かったと回答している学生が多かった。シラバスが授業選択に役立ったかという設問では、あまり活用されていないようであったが、実技授業では全員が同じ授業を選択しなければならないので、あまり意味のない設問であったかと思う。シラバス以外でも課題ごとに内容をプリントし掲示しているが、学生が活用出来るように更にシラバスを分かり易くするとともに、授業内でのフォローを強化していきたい。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「記述なし」

(4) 自由記述より学生からの要望について

毎年、毎回のアンケート結果でも同様に、施設に対する要望が強い。授業そのものに対する不満はほぼ無く、満足していることに対して、あまりにも不満が多い。日本画の材料の性質上、気温が20度以下になると接着として必ず使用する膠が固まってしまう、制作をすることが出来なくなってしまう。

単純に暑い、寒いとわがままを言うてのことはないので、法人側もこの点だけは改善する方向に努力して欲しい。これは、教員の努力ではどうにもならない問題である。公立大学で授業料が安いかもしれないが、学生には質の高い教育を提供するのは、教員だけでなく大学としての義務を負っていると考えるので、アトリエの環境の向上を強く要望する。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

前述のようにアンケートでの結果はありがたいものだったが、学生が何を望み、何を難しいと考えているかを問いながら、更に分かり易く、興味を引き、新たな発想に結びつくような授業を目指したい。その為にも教員の研究活動そのものを努力し、作家の背中を見せられるようにすると共に、新しい授業方法も探すよう努める。

4 その他、意見

科目 日本画実技Ⅱ

授業コード 21202

担当 吉村 佳洋

教室 日本画2年アトリエ

回答した学生 10名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	4
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	9	10
4	ややそう思う	1	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	5	4	7	7	7	2	7	7
4	ややそう思う	2	5	3	3	3	1	3	2
3	どちらともいえない	2	0	0	0	0	2	0	1
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	4	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

科目 日本画実技Ⅲ

授業コード 21203

担当 松村 公嗣

教室 日本画3年アトリエ

回答した学生 7名

受講登録者 12名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	2
4 90%くらい	4
3 80%くらい	0
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	6	5
4 ややそう思う	1	1
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	0	1	2	1	1	0	4	2
4 ややそう思う	0	2	1	1	0	0	1	1
3 どちらともいえない	4	3	4	4	5	1	2	3
2 あまりそう思わない	1	1	0	1	1	1	0	1
1 まったくそう思わない	2	0	0	0	0	5	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7	7

科目 日本画実技Ⅳ

授業コード 21204

担当 角島 直樹

教室 日本画4年アトリエ

回答した学生 11名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	6
3 80%くらい	2
2 70%くらい	1
1 60%以下	1
無回答	0
小計	11

設問	2	3
5 強くそう思う	5	7
4 ややそう思う	3	2
3 どちらともいえない	3	1
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	2	4	6	6	5	1	7	5
4 ややそう思う	3	2	3	4	4	1	1	3
3 どちらともいえない	3	5	2	1	2	4	2	3
2 あまりそう思わない	1	0	0	0	0	4	1	0
1 まったくそう思わない	2	0	0	0	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11	11

科目 彫刻実技 I

授業コード 23201

担当 (彫刻専攻教員)

教室 彫刻1年アトリエ

回答した学生 7名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	3
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	4	6
4 ややそう思う	3	0
3 どちらともいえない	0	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	1	1	3	2	4	2	5	5
4 ややそう思う	1	3	3	4	2	2	1	1
3 どちらともいえない	3	2	1	1	1	0	0	1
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	0	3	1	0
1 まったくそう思わない	2	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	彫刻実技 I			担当者	神田每実・森北伸		
開講時期	前期	曜日	時限	1・2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期には木彫 I ・塑造 I を行い、後期は石彫 I ・金属・樹脂などの各授業を通して、彫刻実技の基礎を学ぶ。また専門技術の習得とそのための機会及び道具の使い方と知識を学ぶ。 <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7名のアンケート結果を見る限り、おおむね良好と考えて良いと思う。 <p>(2) 授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問1・2・3での結果において授業への基本的な学生の取り組みが前向きな状況であり、後期への課題へ繋がるように展開していく。 <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生として大学で制作できる喜びが伺える。 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に対しての要望が多く、早い改善を望む。また、道具等の適切な対応に不備があり、対応への考慮が必要。 <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な授業内容が多いので、受講生が飽きないような授業運営をすること。 ・少人数制の利点を生かし、一人一人に合わせたディスカッションを大切にする。 ・シラバスの説明などに依然として、説明不足があり、非常勤講師を含め周知徹底していきたい。 <p>4 その他、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 							

科目 彫刻実技Ⅱ

授業コード 23202

担当 (彫刻専攻教員)

教室 彫刻2年アトリエ

回答した学生 9名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	3
3 80%くらい	3
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	9

設問	2	3
5 強くそう思う	3	6
4 ややそう思う	6	2
3 どちらともいえない	0	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	9	9

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	3	2	7	7	6	0	5	3
4 ややそう思う	0	3	2	2	2	4	3	6
3 どちらともいえない	5	3	0	0	1	3	1	0
2 あまりそう思わない	1	0	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	9	9	9	9	9	9	9	9

授業科目	彫刻実技Ⅱ			担当者	今井瑾郎・大塚道男		
開講時期	前期	曜日	時限	1・2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年生に引き続き基礎的な修練と彫刻素材、塑像Ⅱ・木彫Ⅱ・石彫Ⅱ・を前期に行い、後期にはテラコッタ・材料研究・キャストングの課題を通して技術向上を目的に授業展開している。 <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9名のアンケート結果を見る限り、おおむね良好と考えて良いと思う。一部の学生に授業時間・教室設備等に対するの不備の指摘があり、検証の必要がある。 <p>(2) 授業について</p> <p>1、2、3の質問での結果には出席率も少ない学生でも70パーセント以上あり、授業への取り組みも積極的である。</p> <p>授業内容への関心が高く、カリキュラム内容の充実がみられる。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に対するの要望が多く、早い改善を望む。 ・授業内容に伴いアトリエ空間の使用のルールの徹底。 <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題と制作空間の確保が大きな問題であり、特に塑造Ⅱにおいてのアトリエの使用に学生からの指摘が多かった。制作に支障をきたした。 ・基礎的な授業内容が多いので、受講生への関心を技術以外にも持てるように授業運営をすること。 ・少人数制の利点を生かし、一人一人に合わせたディスカッションを通しての指導を大切にする。 <p>4 その他、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 							

科目 彫刻実技Ⅳ

授業コード 23201

担当 (彫刻専攻教員)

教室 彫刻4年アトリエ

回答した学生 9名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	4
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		9

設問		2	3
5	強く思う	5	5
4	やや思う	3	3
3	どちらともいえない	0	1
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		9	9

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強く思う	4	6	7	4	5	2	5	7
4	やや思う	2	3	1	3	3	1	4	2
3	どちらともいえない	3	0	1	1	1	6	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	1	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		9	9	9	9	9	9	9	9

授業科目	彫刻実技Ⅳ			担当者	神田每実		
開講時期	後期	曜日	時限	1・2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

1年から3年時において、基礎・応用と段階を踏んで積み上げてきた学習と研究を、各自の定めた独自の研究テーマによる卒業制作として提示する。基本的に独力で行う過程において、造形家としての実力を養っていく事の特徴としている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

自身の制作に関しての計画力は未だ十分でないと思われるが、例年の制作等の経過と比べると（勿論十分ではないが）比較的スムーズであった。特に例年混乱を極める研究報告書に関して述べれば、仮提出の時点で、例年より整理され形で提出されている。この事は、個人が目指している創作の中から“意味”を探らせることが一定の効果を上げていることを意味している。但し、本来これは4年次までに行われていることが望ましく、4年次後期には、それを基盤にダイナミックな創作を展開してもらいたいと考える。

(2) 授業について

授業自体は、自由課題による制作であるための、目標、もしくは、造形のテーマがはっきりしていればそれほど難しいものではない。この点に関しては前期と全く変わらない。アンケートの結果は、前期のものとはほぼ変わらないが、教員とのコミュニケーションを初めてして評価が下がっているのは、後期は基本的に独力を前提としており、一定の距離を意図的においた結果が表れているのであろう。仮にそうであれば、個別指導や教員のサジェストが、重要な意味を持っていることを現す事例であると捉えることが出来る。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「授業で扱った内容に関して興味や関心が高まるのは、この授業が基本的には個人のテーマを重視するからであるため、至極当然なことであるから特に評価には値しない。」という見解に変わりはないが、“なにより自由がよい”との返答に関しては、なかなか意味深いものとして捉えることが必要であろう。特に個別指導の効果が認められるのであるから、各学生が前期から積み上げてきた創作に関する試行、思考を十分に租借し尊重した上で、“研究を共同して進める”とでも表現することが適当と思われる進め方を行う事が、現時点では必要であろうと考える。

(4) 自由記述より学生からの要望について

教員のスケジュールに関しては、「教員の毎週のスケジュールに関して何らかのアナウンスが必要であるとしても、昨今の過密スケジュールにより、オフィスアワー自体が設定できない状況を何らかの方法で打開することなしで事態の進展は見ないのではないかと考える。」との見解に変化はないが、毎回必ず挙げられるアトリエ等の環境に関しては、アンケートの集計が“どちらとも言えない”が多数であることを考えると、“単に新しいこと”が求められているのではなく、一定の“節度”をもった要求であることが覗かれる。例えば、水平な床、地震対策といったものがそれである。であれば、部分的な対応は可能ではないかと思われる。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

個別対応のメリットと重要性、効果はアンケートに観面に反映されている。表現の多様化に対応しながら、尚且つ、質の高い表現を目指すとなれば、限られた時間の中で如何に効率よく効果的な指導を行えるかについて考えることになるが、現在は、上の方法しかこれを満たす手段は無いと思われる。いずれにしても、ディスカッションを行う中でテーマ等の文字化等により目標を明確化しながら、集中した思考の時間と集中した制作の時間を生み出すことが重要だと考える。

4 その他、意見

「例えば資格に関わる授業の増大は、ゆったりとした学内での制作の時間の減少を生み出している。主に、3年次4年次の専門課程の展開が、応用に入るこの時期から起こり始めることについて、何らかの制度的な対応を必要とするように考える。例えば、かつての2年時までで一定以上の教養課程の単位の取得を義務化する等の制度の再考なども必要となってくるかもしれない。」との考えに変化はない。また、学生の経済的な問題を解決するためのアルバイトに関しては、これに規制を設けることは難しく、勉学に対する意識の高さを育てることに依存する他は無いと考える。

科目 美学特講 I

授業コード 24101

担当 中 敬夫

教室 芸術学棟 2階サロン

回答した学生 7名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	3
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強く思う	1	2
4	やや思う	0	3
3	どちらともいえない	4	2
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	1
3	どちらともいえない	2
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		7

設問		5
5	ほぼ時間どおり	7
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		7

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	7	4	3	7	4	3	5
4	やや思う	0	3	4	0	2	2	2
3	どちらともいえない	0	0	0	0	1	2	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7

授業科目	美学特講 I				担当者	中 敬夫	
開講時期	前期	曜日	水	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

本年度「美学特講 I」のテーマは、「メルロ＝ポンティの哲学と芸術論」である。まずフッサール現象学とメルロ＝ポンティの思想の全体について概観した後に、順にメルロ＝ポンティの『知覚の現象学』を中心とする前期思想と、『見えるものと見えないもの』を中核とする後期思想を辿っていき、最後に彼の美学上の主著『眼と精神』について、検討してゆく。

授業の工夫点として、毎回授業の内容を要約したプリントを配って、授業の効率化を図り、またそのプリントの裏には、関連するテキストからの抜粋をコピーして、学生が原典に関心が持てるようにしてある。

美学・芸術哲学系の授業だが、ときおり作品の写真や、そのコピー等、また自分で作成した説明図等を見せて、視覚的に理解できるような工夫も行なっている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席は 80%以上が大多数だった。意欲的に取り組んだかについては、「どちらともいえない」が一番多かった。関心が高まったかという問いに対しては、「強くそう思う」と「ややそう思う」がほとんどで、「どちらともいえない」が若干数、それ以下はなかった。

(2) 授業について

ほとんどすべての設問で、非常に評価する（「強くそう思う」）、やや評価する（「ややそう思う」）の回答が大多数だった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

特に記述がなかった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

特に記述がなかった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

何年か前に行なったメルロ＝ポンティの哲学と美学についての講義を、今回もほぼ同じかたちで行なったのだが、前回「受けた」箇所と今回「受けた」箇所が、全然違ったのが驚きだった。学生の「色」は毎年変わるし、クラスによっても微妙に異なる。一回一回が真剣勝負だという思いで、さらに評価されるよう取り組んでゆきたい。

4 その他、意見

もともと少人数なので、あまり「アンケート」には適さない授業だったかもしれない。「自由記述」が真っ白なのは、何かあれば、直接言えるからでもあろう……。

科目 日本美術史特講 I

授業コード 24102

担当 熊田 由美子

教室 芸術学修士棟

回答した学生 3名

受講登録者 5名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	1
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		3

設問		2	3
5	強く思う	2	3
4	やや思う	1	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		3	3

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	0
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		3

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		3

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	3	3	3	3	3	2	3
4	やや思う	0	0	0	0	0	0	0
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	1	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		3	3	3	3	3	3	3

科目 日本美術史概説A

授業コード 24103

担当 熊田 由美子

教室 新講義棟大教室

回答した学生 47名

受講登録者 71名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	15
4	90%くらい	21
3	80%くらい	7
2	70%くらい	3
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		47

設問		2	3
5	強く思う	6	14
4	やや思う	18	13
3	どちらともいえない	14	13
2	あまりそう思わない	6	5
1	まったくそう思わない	3	2
	無回答	0	0
小計		47	47

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	14
2	あまりそう思わない	9
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		47

設問		5
5	ほぼ時間どおり	21
4	延長することが多い	15
3	開始が遅いことが多い	7
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	3
	無回答	1
小計		47

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	10	7	17	6	18	9
4	やや思う	8	12	12	16	8	20	15
3	どちらともいえない	15	17	10	9	19	7	13
2	あまりそう思わない	7	4	13	2	6	1	7
1	まったくそう思わない	8	4	5	3	7	1	3
	無回答	0	0	0	0	1	0	0
小計		47	47	47	47	47	47	47

科目 日本美術史概説B

授業コード 24106

担当 熊田 由美子

教室 新講義棟大教室

回答した学生 38名

受講登録者 60名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	12
4	90%くらい	15
3	80%くらい	9
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		38

設問		2	3
5	強く思う	8	11
4	やや思う	13	13
3	どちらともいえない	13	11
2	あまりそう思わない	4	2
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	0
小計		38	38

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	17
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		38

設問		5
5	ほぼ時間どおり	15
4	延長することが多い	17
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		38

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	8	8	10	16	7	16	10
4	やや思う	10	9	6	11	5	11	12
3	どちらともいえない	11	13	12	7	12	10	13
2	あまりそう思わない	7	6	6	3	9	1	2
1	まったくそう思わない	2	2	4	1	5	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		38	38	38	38	38	38	38

授業科目	日本美術史概説B			担当者	熊田由美子		
開講時期	後期	曜日	火	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

自国の美術の歴史を、具体的な作品例を通して通時的、系統的、比較史的（東アジア内）に理解することができることと、傑作誕生の土壌や背景について知ることによって制作活動への省察力を培うことを目標としている。多様な作品例を良質な図版で示し、視覚的記憶を形成する手がかりとするとともに、自発的な作品鑑賞への意欲をひきだす。毎回、質問票を配布し、作品への感想や質問を記述させている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席率はほぼ80%以上90%台が最多。「意欲的取り組み」は70%が3～4評価でやや欠けるところがあるが、「興味・関心が高まった」は70%が4～5評価なので、学習の契機にはしていると思われる。

(2) 授業について

「よく準備し熱心に教えているか」については「強くそう思う」が最多であるが、プリント資料や話のわかりやすさには、なお改善の余地があると思われる。授業開始時のアンケートでは高校で「日本史」を選択していない学生も多く、自国の歴史への基礎知識が欠けているまま応用編に入ることの難しさを感じる。むしろ日本史入門としての美術史と位置づけるべきか。教室設備は適切が最多となった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「図版が多い」「プリントが良い」とあり、できるだけ多くの作品事例に接すること、自習の一助としてのプリント資料活用の意図は、理解されているようである。

(4) 自由記述より学生からの要望について

時間オーバーが多い、聞き取りにくい、図版についてノートする時間をもっと欲しい、史実を述べるより自身の作品論をもっと聞きたい、という要望があった。かなり多くの作品例やDVD映像を用いるので、いつも比較的早口で、時間いっぱいまで行っており、「概説」とはいえ、もう少し作品を厳選して作品論を語る余地をつくることとしたい。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

図版を多く、じっくり見せて語り、時間内に終わるために、レジュメに図版資料をもっと活用する。授業ではなるべく厳選した作例について語ることにし、図版資料にもとづく自習をもっとうながすようにする。レジュメをより平易な記述とし、むしろ美術史じたいから日本史の基礎知識を得られるように工夫する。

4 その他、意見

「前の授業で使ったピアノや黒板がよく邪魔な場所にあるので、終わったら片付けておいてほしい」との要望があり、講義専用教室ではない点で、設備上、若干、不具合は生じている。

科目 現代アート概説A

授業コード 24104

担当 小西 信之

教室 新講義棟大教室

回答した学生 76名

受講登録者 99名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	45
4	90%くらい	25
3	80%くらい	4
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		76

設問		2	3
5	強く思う	32	60
4	やや思う	38	15
3	どちらともいえない	6	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		76	76

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	23
4	やや思う	21
3	どちらともいえない	26
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		76

設問		5
5	ほぼ時間どおり	55
4	延長することが多い	6
3	開始が遅いことが多い	15
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		76

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	59	49	60	64	17	41	58
4	やや思う	11	22	12	9	17	11	16
3	どちらともいえない	4	4	3	3	32	17	2
2	あまりそう思わない	1	1	1	0	6	5	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	4	2	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		76	76	76	76	76	76	76

授業科目	現代アート概説 A			担当者	小西信之		
開講時期	2012 年前期	曜日	水曜	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙っている。概説 A では、19 世紀から 20 世紀中盤までを対象とする。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>出席も悪くなく（92%が、9 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 92%、関心が高まったと答えた学生が 99%であり、全体に非常に良いかたちで受講していると思われる。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>全体に高い評価を得ていると思う。総合評価（「よい授業か」）では「強くそう思う」が 76%、「ややそう思う」が 21%で「よい」の評価がトータル 97%となっている。100 人規模の授業では好結果といえる。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が面白く、とてもよい。 ・わかりやすい。話がどんどん頭に入ってくる。整理されていて聴きやすかった。 ・わかりやすい。 ・1 番ためになる授業でした。 ・授業面白すぎます。とても分かりやすく最高！ ・全体的におもしろかった。すごくいろんなテーマを学べて、毎回楽しかった。 ・映像を見ると楽しい気分になったので、よかった。 ・現代までのアートシーンのながれがとても理解しやすかった。 ・熱心に授業されている点 ・先生の雑談。とてもためになる！ ・話し方、説明がとても分かりやすかったです。 ・前期 1 番おもしろい授業だった。現代アートなんか判らんって思ってたけど、なるほどなと感じた。 ・全部。現代アートに全然興味がなかったが、この授業のおかげで中々興味深いものだと思えた。 ・絵画作品だけでなく作家のインタビューや映像作品など映像資料が多く、各作家の理論に触れた話が多かった点 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・開始が遅いのが気になった。 ・画家のプロフィールをもう少しプロジェクターの方で出してほしい。 ・プリント資料が欲しかったです。（作家名とか） ・ <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>学生は今すぐ役立つ今の情報をより多く欲しているが、基本的な流れを教えることをベースにすることは変わらない。基本そのものをもっと深め、また講義の仕方そのものをもっと工夫し、学生が自力で美術について考え始めるように、美術の奥深さを伝えられるようにしたい。とはいえ、時刻の最新の動向についてもっと時間を割いていくことも考えていきたい。またプリント資料なども考えたい。</p> <p>4 その他、意見</p>							

科目 現代アート概説B

授業コード 24105

担当 小西 信之

教室 新講義棟大教室

回答した学生 63名

受講登録者 100名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	21
4	90%くらい	28
3	80%くらい	11
2	70%くらい	1
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		63

設問		2	3
5	強く思う	30	40
4	やや思う	23	18
3	どちらともいえない	9	4
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		63	63

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	22
4	やや思う	17
3	どちらともいえない	20
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		63

設問		5
5	ほぼ時間どおり	42
4	延長することが多い	10
3	開始が遅いことが多い	11
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		63

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	40	45	43	50	19	35	42
4	やや思う	16	11	16	10	14	18	17
3	どちらともいえない	5	6	2	3	22	9	4
2	あまりそう思わない	1	1	2	0	2	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	6	1	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		63	63	63	63	63	63	63

授業科目	現代アート概説 B			担当者	小西信之		
開講時期	2012 年後期	曜日	水曜	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙いとしている。概説 B では、20 世紀中葉から 21 世紀頭までの欧米の美術と、日本の戦後現代美術を対象とする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席も悪くなく（82%が、9 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 85%、関心が高まったと答えた学生が 93%であり、全体に良いかたちで受講していると思われる。

(2) 授業について

全体に高い評価を得ていると思う。総合評価（「よい授業か」）では「強くそう思う」が 70%、「ややそう思う」が 25%で「よい」の評価がトータル 95%となっている。100 人規模の授業では好結果といえる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

- ・先生のお話は面白いし、自分の作品を考えるきっかけになる。
- ・たくさんのアーティストが知れてよかった。
- ・平生あまり見ることのできない映像や写真、小話がアートの歴史を説明していただく随所にあっただので、とても興味深く聞くことができた。
- ・映像等で実際の画家達の書いている様子等を見れたのは非常に良かった。（写真だけでは伝わらないようなことも伝わった。）
- ・先生の説明。
- ・ありがとうございます。
- ・先生が熱心。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・作家のリクエスト。
- ・先生と作家とのフリートーク式の授業も見たいです。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

学生は今すぐ役立つ今の情報をより多く欲しているが、基本的な流れを教えることをベースにすることは変わらない。基本そのものをもっと深め、また講義の仕方そのものをもっと工夫し、学生が自力で美術について考え始めるように、美術の奥深さを伝えられるようにしたい。とはいえ、時刻の最新の動向についてもっと時間を割いていくことも考えていきたい。またプリント資料なども考えたい。授業中の作家ゲスト投入は概説の授業では難しいか。

4 その他、意見

科目 現代アート論特講Ⅱ

授業コード 24104

担当 小西 信之

教室 芸術学修士棟

回答した学生 13名

受講登録者 28名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	4
3	80%くらい	2
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		13

設問		2	3
5	強く思う	4	6
4	やや思う	5	4
3	どちらともいえない	4	3
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		13	13

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	3
3	どちらともいえない	5
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		13

設問		5
5	ほぼ時間どおり	9
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		13

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	7	7	7	8	6	6	6
4	やや思う	2	3	1	0	2	2	4
3	どちらともいえない	4	3	4	4	4	3	2
2	あまり思わない	0	0	1	1	1	1	1
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		13	13	13	13	13	13	13

授業科目	現代アート特講 II			担当者	小西信之		
開講時期	2012 年後期	曜日	火曜	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。今年度はロバート・スミッソンの初期作品に絞って講義を行った。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>出席も悪くなく（85%が、8 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 69%、関心が高まったと答えた学生が 77%であり、比較的良いかたちで受講していると思われる。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>総合評価（「よい授業か」）では「よい」の評価がトータル 77%となっていて悪くはないと思うが、「強くそう思う」が 46%と半分を割っているため、一層の充実が必要かと思う。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった作家について、研究者としての顔でお話していただけて、とても面白い授業でした。 ・楽しい。 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>特講の授業は専門的な内容に絞って行っているが、内容（現代アート）の性格上、他専攻の学生（実技専攻）も多数履修するので全受講生の関心を強く引きながら進めるのが難しい。芸術学学生と実技学生の両方に益となるような講義の進め方を考えていきたい。</p> <p>4 その他、意見</p>							

科目 芸術学総合研究 I

授業コード 24101

担当 森田 義之

教室 芸術学修士棟

回答した学生 6名

受講登録者 7名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	2
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		6

設問		2	3
5	強く思う	5	5
4	やや思う	1	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	1
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		6

設問		5
5	ほぼ時間どおり	2
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		6

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	3	3	4	5	4	5
4	やや思う	2	3	3	2	1	2	1
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	6	6	6	6

授業科目	芸術学総合研究 I				担当者	芸術学専攻教員全員	
開講時期	通年	曜日	水	時限	6	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習
1 この授業における教育方法の特徴							
1) 本授業のねらい (授業の目的)							
<ul style="list-style-type: none"> ・前期は、芸術学専攻の1年生を対象に、美術史、文化財学、美学、現代アート論の学び方を指導するとともに、基礎文献のガイダンスを行う。 ・後期は、1～3年次共通の授業とし、各自の関心に応じて、芸術家を1人選び、その作品と芸術について口頭で発表する(レポート提出)。 							
(到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・美術史・美術理論についての初歩的全体像をつかむ。 ・関心ある美術家について調べ、作品を言語化する経験をつむ。 							
2) 本授業における教育方法の工夫点							
イ) 学生の口頭発表に際しては、教室に「デジタル・プロジェクター&プレゼンター」や「ビデオモニター」等の設備を揃え、学生が具体的に画像を示しながら発表し、聴講者も視覚的に理解できるように工夫している。							
ロ) ガイダンスに関しては、各教員がフェイス・トゥ・フェイスというかたちで、懇切丁寧に説明を行っている。研究発表に際しては、当該学生が発表内容に関するレジュメを作成して配布し、聴講する教員や学生の理解が容易になるよう工夫している。また学生が発表する前にも、教員が発表内容やそのレジュメに関して事前に相談を受け、具体的なアドバイスをを行っている。							
ハ) 研究発表自体、学生が自主的に選択したテーマに沿って行われている。また発表後にも、教員や学生が活発な質疑応答を行い、発表者のみならず学生全員が美術に対する関心を深め、さらには理路整然と自らの意見を述べる訓練ともなるように工夫している。							
2 アンケート結果の所見							
(1) 受講した学生自身について							
<ul style="list-style-type: none"> ・受講生6名の回答のうち、出席は100%くらいが4名、90%くらいが2名、取り組みは意欲的が5名、やや意欲的が1名、興味関心も強く高まったが5名、やや高まったが1名という回答だった。優良な態度であったと思う。 							
(2) 授業について							
<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが「強くそう思う」か「ややそう思う」という回答だったが、シラバスに関しては「どちらともいえない」が1名、授業時間に関して「延長することが多い」「開始が遅いことが多い」という回答が各2名あった。 							
(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて							
<ul style="list-style-type: none"> ・「教員と密にコミュニケーションがとれた気がする。専攻最初の一年としてとてもいいと思う」という回答があった。 							
(4) 自由記述より学生からの要望について							
<ul style="list-style-type: none"> ・「もう少し延長しないでほしい」という回答があった。 							
3 今後の授業の工夫・改善 (FD)							
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は1年生から3年生までの共通授業なので、芸術学総合研究のI、II、IIIに共通の問題を挙げておく。まず6限目だということに、学生の発表中心の授業なので、どうしても終了時間が遅くなってしまおうという問題点がある。教師を初め、質問時間を短縮するなど、工夫してゆきたい。 ・ただ終了時間が多少遅くなっても、すぐに暖房を切られるのは困る。大学の方で考えてほしい。 ・シラバスはやはり紙媒体で一人一人に配るべきだと思う。大学の方で考えてほしい。 ・教室・設備に関しては、専攻の予算が許すかぎり、少しずつ改善してゆきたい。 							
4 その他、意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数なので、それほどアンケートは有効でなかったかもしれない。 							

科目 芸術学総合研究Ⅱ

授業コード 24102

担当 森田 義之

教室 芸術学修士棟

回答した学生 1名

受講登録者 3名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	0
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		1

設問		2	3
5	強く思う	0	1
4	やや思う	1	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		1	1

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	0
4	やや思う	1
3	どちらともいえない	0
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		1

設問		5
5	ほぼ時間どおり	1
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		1

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	0	0	0	0	1	0	1
4	やや思う	1	1	1	1	0	1	0
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		1	1	1	1	1	1	1

授業科目	芸術学総合研究Ⅱ				担当者	芸術学専攻教員全員		
開講時期	通年	曜日	水	時限	6	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

1) 本授業のねらい

〈授業の目的〉

- ・前期は、芸術学専攻2年生を対象に、各学生の関心に応じて、芸術学の諸分野に関する基本文献の熟読を課し、その成果を提出させる。また芸術学専攻発行の研究雑誌の企画・執筆・編集作業にあてる。
- ・後期は、1～3年次共通の授業とし、各自の関心に応じて、芸術家を1人選び、その作品と芸術について口頭で発表する（レポート提出）。

〈到達目標〉

- ・美術史・美術理論に関する基本的な文献について幅広く見わたす能力を身につける。
- ・専門の書を精読する訓練をつみ、読解力を深める。
- ・文献の内容を的確に要約する能力を身につける。

2) 本授業における教育方法の工夫点

- イ) 学生の口頭発表に際しては、教室に「デジタル・プロジェクター&プレゼンター」や「ビデオモニター」等の設備を揃え、学生が具体的に画像を示しながら発表し、聴講者も視覚的に理解できるように工夫している。また研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、学生用のパソコンを配備している。
- ロ) 研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、教員も積極的に助言している。研究発表に際しては、当該学生が発表内容に関するレジュメを作成して配布し、聴講する教員や学生の理解が容易になるよう工夫している。また学生が発表する前にも、教員が発表内容やそのレジュメに関して事前に相談を受け、具体的なアドヴァイスを行っている。
- ハ) 研究雑誌に関する作業は、基本的には学生が自発的に企画・執筆・編集するものである。また研究発表自体、学生が自主的に選択したテーマに沿って行われている。発表後にも、教員や学生が活発な質疑応答を行い、発表者のみならず学生全員が美術に対する関心を深め、さらには理路整然と自らの意見を述べる訓練ともなるように工夫している。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

- ・受講生3名のうち回答は1名で、出席は80%くらい、取り組みはやや意欲的、興味関心は強く高まったという結果だった。穏当な回答であったと思われる。

(2) 授業について

- ・「強くそう思う」か「ややそう思う」のどちらかのみでの回答であった。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

- ・特になかった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・特になかった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

- ・この授業は1年生から3年生までの共通授業なので、芸術学総合研究のⅠ、Ⅱ、Ⅲに共通の問題を挙げておく。まず6限目だということに、学生の発表中心の授業なので、どうしても終了時間が遅くなってしまおうという問題点がある。教師を初め、質問時間を短縮するなど、工夫してゆきたい。
- ・ただ終了時間が多少遅くなくても、すぐに暖房を切られるのは困る。大学の方で考えてほしい。
- ・シラバスはやはり紙媒体で一人一人に配るべきだと思う。大学の方で考えてほしい。
- ・教室・設備に関しては、専攻の予算が許すかぎり、少しずつ改善してゆきたい。

4 その他、意見

- ・少人数（もともと3名で、アンケート実施当日出席していたのはたった1名！）なので、それほどアンケートは有効でなかったかもしれない。プライバシーの問題もあって、結果報告書を書くのも少し憚れるような気さえた。

科目 芸術学総合研究Ⅲ

授業コード 24103

担当 森田 義之

教室 芸術学修士棟

回答した学生 5名

受講登録者 5名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	0
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		5

設問		2	3
5	強く思う	4	3
4	やや思う	0	1
3	どちらともいえない	1	1
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		5	5

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	3
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		5

設問		5
5	ほぼ時間どおり	2
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		5

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	3	2	2	3	3	2	3
4	やや思う	0	0	0	0	0	0	0
3	どちらともいえない	2	2	3	2	2	2	2
2	あまり思わない	0	1	0	0	0	0	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		5	5	5	5	5	5	5

授業科目	芸術学総合研究Ⅲ				担当者	芸術学専攻教員全員	
開講時期	通年	曜日	水	時限	6	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>1) 本授業のねらい (授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期は、芸術学専攻発行の研究雑誌の企画・執筆・編集の作業にあてる。 ・後期は1～3年次共通授業とし、研究の内容を各自1回口頭発表する。 ・前期・後期を通して、文献課題研究（自由選択3冊以上）を行う。 <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究雑誌の編集と制作を通じて、文字による客観的な伝達と表現の方法を理解することができる。 ・幅広い読書を通じて、美術に関する知見を広げ、文献の内容を的確に要約する能力を身につけることができる。 <p>2) 本授業における教育方法の工夫点</p> <p>イ) 学生の口頭発表に際しては、教室に「デジタル・プロジェクター&プレゼンター」や「ビデオモニター」等の設備を揃え、学生が具体的に画像を示しながら発表し、聴講者も視覚的に理解できるように工夫している。また研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、学生用のパソコンを配備している。</p> <p>ロ) 研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、教員も積極的に助言している。研究発表に際しては、当該学生が発表内容に関するレジュメを作成して配布し、聴講する教員や学生の理解が容易になるよう工夫している。また学生が発表する前にも、指導教員が発表内容やそのレジュメに関して事前に相談を受け、具体的なアドバイスをを行っている。</p> <p>ハ) 研究雑誌に関する作業は、基本的には学生が自発的に企画・執筆・編集するものである。また研究発表自体、学生が自主的に選択したテーマに沿って行われている。発表後にも、教員や学生が活発な質疑応答を行い、発表者のみならず学生全員が美術に対する関心を深め、さらには理路整然と自らの意見を述べる訓練ともなるように工夫している。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生5名の回答のうち、出席は全員が100%、取り組みは意欲的が4名、どちらともいえないが1名、興味関心は強く高まったが3名、やや高まったが1名、どちらともいえないが1名という回答だった。穏当な回答であったと思われる。 <p>(2) 授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たいていが「強くそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」という回答だったが、板書・プリント・資料に関して「あまりそう思わない」が1名、教室・設備に関して「まったくそう思わない」が1名あった。また授業時間に関して「延長することが多い」が2名、「開始が遅いことが多い」が1名あった。 <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になかった。 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業の時間がおそい」という回答があった。 <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業は1年生から3年生までの共通授業なので、芸術学総合研究のⅠ、Ⅱ、Ⅲに共通の問題を挙げておく。まず6限目だということに、学生の発表中心の授業なので、どうしても終了時間が遅くなってしまいう問題点がある。教師を初め、質問時間を短縮するなど、工夫してゆきたい。 ・ただ終了時間が多少遅くなくても、すぐに暖房を切られるのは困る。大学の方で考えてほしい。 ・シラバスはやはり紙媒体で一人一人に配るべきだと思う。大学の方で考えてほしい。 ・教室・設備に関しては、専攻の予算が許すかぎり、少しずつ改善してゆきたい。 <p>4 その他、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数なので、それほどアンケートは有効でなかったかもしれない。 							

科目 芸術学基礎実技 I B

授業コード 24201

担当 森田 義之

教室 芸術学修士棟

回答した学生 6 名

受講登録者 7 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	3
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		6

設問		2	3
5	強くそう思う	5	5
4	ややそう思う	0	1
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	3	5	5	5	4	5	5	5
4	ややそう思う	1	0	0	0	1	0	0	0
3	どちらともいえない	2	1	1	1	1	1	1	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	6	6	6	6	6

科目 芸術学基礎実技ⅡB

授業コード 24202

担当 森田 義之

教室 芸術学修士棟

回答した学生 2名

受講登録者 3名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	1
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		2

設問		2	3
5	強く思う	2	2
4	やや思う	0	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		2	2

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強く思う	0	2	1	2	2	1	2	2
4	やや思う	0	0	1	0	0	1	0	0
3	どちらともいえない	1	0	0	0	0	0	0	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1	まったく思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		2	2	2	2	2	2	2	2

科目 デザイン・工芸論A

授業コード 25101

担当 デザイン専攻教員

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 45名

受講登録者 46名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	36
4	90%くらい	8
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		45

設問		2	3
5	強く思う	18	29
4	やや思う	20	10
3	どちらともいえない	5	5
2	あまりそう思わない	2	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		45	45

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	10
3	どちらともいえない	15
2	あまりそう思わない	7
1	まったくそう思わない	4
	無回答	0
小計		45

設問		5
5	ほぼ時間どおり	37
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	3
	無回答	0
小計		45

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	21	16	28	11	11	24
4	やや思う	12	14	22	14	16	12	17
3	どちらともいえない	7	6	7	3	12	10	3
2	あまりそう思わない	2	3	0	0	3	5	0
1	まったくそう思わない	0	1	0	0	2	6	0
	無回答	0	0	0	0	1	1	1
小計		45	45	45	45	45	45	45

授業科目	デザイン・工芸論				担当者	デザイン／陶磁専攻教員オムニバス		
開講時期	前期	曜日	金	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>デザイン・工芸全般と、他の領域におよぶ広い視野で、デザイン・工芸の社会的役割を理解し、プロフェッショナルとしての見識を養う。デザイン・工芸専攻の全教員がオムニバス形式で自己の専門分野を中心に制作活動や制作姿勢、教育方針などを講義する。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>おおむね学生の反応は良いと思われる。出席率は高いし積極的に取り組んでいる学生も総じて多い。それ以上に授業後の授業内容に対する高い評価が見受けられる。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>全体的に学生には良い評価をえられていると思われる。板書やプリント提示、資料、説明の仕方、わかりやすさについても総じて良い評価ではあるが、教員の更なる努力は不可欠である。</p> <p>シラバスの扱いに問題を感じる。学生が事前に授業の有用性を理解せずに受講している傾向がある。これはシラバスの情報に問題があるのか、利用の仕方の問題があるのか、今後、検討が必要だと思われる。</p> <p>教員とのコミュニケーションや教室および設備に不満の声がある。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>実技で指導を受けている教員の普段の仕事や創作に対する姿勢、視点の話が聞けて興味深い。デザイン論、工芸論を人間の生き様まで拡張した思考や理論は、深い内容で感銘をうけた。授業後、活力がわいた。</p> <p>表面的ではなく奥の深い話が聞ける授業もあり興味深い。</p> <p>他専攻の教員の話が聞けて興味深かった。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>授業時間をもっと長くしてほしい。</p> <p>楽しい授業なので、どうしても眠くなる昼食後3限目はやめてほしい。</p> <p>陶磁とデザインの教員の授業時間のバランスをとってほしい。</p> <p>週に二回ぐらい授業があってもよい。</p> <p>終了した先生の授業を再度聞きたい。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>陶磁とデザインの教員の授業時間のバランスについて検討をする。現在はデザイン、陶磁専攻全教員を対象にしており、二対一の割合でデザインの教員が多い。</p> <p>教室の老朽化が目立ち、学生にやや不満がある。</p> <p>4 その他、意見</p>								

科目 デザイン・工芸論B

授業コード 25101

担当 デザイン専攻教員

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 32名

受講登録者 49名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	17
4	90%くらい	11
3	80%くらい	3
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		32

設問		2	3
5	強く思う	15	17
4	やや思う	11	13
3	どちらともいえない	6	2
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		32	32

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	13
4	やや思う	6
3	どちらともいえない	11
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		32

設問		5
5	ほぼ時間どおり	19
4	延長することが多い	8
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		32

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	16	18	17	18	11	16	21
4	やや思う	7	6	11	12	9	6	9
3	どちらともいえない	9	8	3	2	9	7	2
2	あまりそう思わない	0	0	1	0	3	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		32	32	32	32	32	32	32

授業科目	デザイン・工芸論 B				担当者	デザイン／陶磁専攻教員オムニバス		
開講時期	後期	曜日	金	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>デザイン・工芸全般および他領域におよぶ広い視野で、デザイン・工芸の社会的役割を理解し、プロフェッショナルとしての見識を養う。デザイン・工芸専攻の全教員がオムニバス形式で自己の専門分野を中心に制作活動や制作姿勢、教育方針などを講義する。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>おおむね学生の反応は良いと思われる。出席率は高いし積極的に取り組んでいる学生も総じて多い。それ以上に授業後の授業内容に対する高い評価が見受けられる。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>全体的に学生には良い評価をえられていると思われる。板書やプリント提示、資料、説明の仕方、わかりやすさについても総じて良い評価ではあるが、教員の更なる努力は不可欠である。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>教員の作品が観賞できてよい。 教員の体験談が興味深かった。 他専攻の教員の話が聞けて興味深かった。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>専門的すぎる授業はついていけない。 先生の視点が一方的な授業もあり、もっとわかりやすく解説がほしい。 椅子、机をふくめて教室の設備を新しくしてほしい。 湿気対策をしてほしい。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>施設の改善が求められている。 授業内容の充実などさらなる改善努力は継続する。 理解しやすい話し方の工夫が必要。</p> <p>4 その他、意見</p>								

科目 デザイン特講A

授業コード 25102

担当 デザイン専攻教員

教室 新講義棟大教室

回答した学生 30名

受講登録者 41名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	20
3	80%くらい	2
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		30

設問		2	3
5	強く思う	7	15
4	やや思う	14	9
3	どちらともいえない	7	6
2	あまりそう思わない	2	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		30	30

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	13
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	4
	無回答	0
小計		30

設問		5
5	ほぼ時間どおり	12
4	延長することが多い	12
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	1
小計		30

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	10	7	13	16	3	5	13
4	やや思う	8	11	8	8	10	13	10
3	どちらともいえない	12	11	8	6	13	10	6
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	3	2	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	1	0	0	0	0
小計		30	30	30	30	30	30	30

授業科目	デザイン特講 A				担当者	デザイン専攻教員オムニバス		
開講時期	前期	曜日	水	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

多岐にわたるデザインの領域は互いに影響し合い、その相互の関わりは多様である。この講座はオムニバス形式で、毎週、第一線で活躍中のデザイナーを招聘し、デザインを人と人、人と情報、人とモノ、人と環境などの多様な視点から考察し、デザインについての理解を深めることを目的とする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

授業後、授業内容の関心や興味が高まるが、授業前の関心は特に高いとは言えない。この授業は専門性を特に重視しており、オムニバスですべての授業が異なる非常勤講師を招いておこなわれているため、授業当日まで授業内容の詳細がわかりにくいのが原因であろう。

(2) 授業について

全体的に学生には良い評価をえられていると思われるが、全員がなじみの薄い非常勤講師のためコミュニケーションがよくとれているとはいえない。

特にシラバスの扱いに問題を感じる。学生が事前に授業の有用性を理解せずに受講している傾向がある。これはシラバスの情報に問題があるのか、利用の仕方に問題があるのか、今後、検討が必要だと思われる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

さまざまな分野の話が聞けて、自分の専門分野以外のことを学ぶことができた。第一線で活躍しているデザイナーの話が聞けて良い刺激になったなど、授業後は授業内容に対する評価は高いと思われる。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業終了時間の厳守。一年に一度の授業のため講師自身も力が入り、終了時間が遅くなる傾向にある。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

授業終了時間の厳守。

シラバスの工夫が必要である。

授業前に授業内容の公開の方法を検討する。

4 その他、意見

科目 デザイン特講B

授業コード 25102

担当 デザイン専攻教員

教室 0

回答した学生 37名

受講登録者 45名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	13
3	80%くらい	16
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		37

設問		2	3
5	強く思う	6	10
4	やや思う	19	20
3	どちらともいえない	11	6
2	あまりそう思わない	1	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		37	37

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	17
2	あまりそう思わない	5
1	まったくそう思わない	5
	無回答	0
小計		37

設問		5
5	ほぼ時間どおり	14
4	延長することが多い	18
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		37

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	8	8	8	14	1	4	12
4	やや思う	17	19	19	17	12	9	14
3	どちらともいえない	11	9	10	6	19	15	11
2	あまりそう思わない	1	1	0	0	3	5	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	4	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		37	37	37	37	37	37	37

授業科目	デザイン特講 B				担当者	デザイン専攻教員オムニバス		
開講時期	後期	曜日	水	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

多岐にわたるデザインの領域は互いに影響し合い、その相互の関わりは多様である。この講座はオムニバス形式で、毎週、第一線で活躍中のデザイナーを招聘し、デザインを人と人、人と情報、人とモノ、人と環境などの多様な視点から考察し、デザインについての理解を深めることを目的とする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

授業後、授業内容の関心や興味が高まるが、授業前の関心は特に高いとは言えない。この授業は専門性を特に重視しており、オムニバスですべての授業が異なる非常勤講師を招いておこなわれているため、授業当日まで授業内容の詳細がわかりにくいのが原因であろう。

(2) 授業について

全体的に学生には良い評価をえられていると思われるが、全員がなじみの薄い非常勤講師のためコミュニケーションがよくとれているとは言いがたい。

特にシラバスの扱いに問題を感じる。学生が事前に授業の有用性を理解せずに受講している傾向がある。これはシラバスの情報に問題があるのか、利用の仕方に問題があるのか、今後、検討が必要だと思われる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

デザイン以外の別の分野で活躍する講師の話が聞けて良かった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

休講の連絡告知が遅い

同じ講師が同じ内容の授業をおこなった

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

休講についての対処の改善。

シラバスの工夫が必要である。

講師、授業内容について確認をする。

4 その他、意見

前期とほぼ同じ回答内容であると思われる。

科目 デザイン実技 I B

授業コード 25201

担当 デザイン専攻教員

教室 デザインアトリエ

回答した学生 21 名

受講登録者 36 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	2
4 90%くらい	14
3 80%くらい	5
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	21

設問	2	3
5 強くそう思う	14	19
4 ややそう思う	5	1
3 どちらともいえない	1	0
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	21	21

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	4	7	11	12	12	2	15	13
4 ややそう思う	3	11	8	7	8	1	4	7
3 どちらともいえない	8	1	2	2	0	8	1	1
2 あまりそう思わない	2	2	0	0	1	5	1	0
1 まったくそう思わない	3	0	0	0	0	5	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0
小計	21	21	21	21	21	21	21	21

授業科目	デザイン実技 I B				担当者	デザイン教員	
開講時期	後期	曜日	毎日	時限	1,2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>1年次と2年次前期までを、一連の基礎課程と捉え、専門領域の区別なくデザインを学ぶ学生が共通して身につけておくべき内容が学習出来るようになっている。</p> <p>基礎課程は大きく3つのステージ「基礎造形」、「デザイン基礎1」、「デザイン基礎2」となっており、デザイン実技 I は、この内の「デザイン基礎1」に相当する。デザイン基礎1「個から社会へ」デザインに取り組む際に、まずかたちのスタディから始めるのではなく、解決したい問題に正しく向き合う為の手順＝プロセスについて考える姿勢を学ぶ。前期で学んだ技術を社会にまで視点を広げて活用することに取り組む。「個から社会へ」という視点のもと、4つのキーワード「共同」「人体」「編集」「分析」に基づいた課題が展開される。デザインに取り組む一般的な手順を学ぶとともに、デザインに対して自分の方法論を持ってアプローチし、進めて行く為の姿勢を学ぶ。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>おおむね学生の反応は良い傾向にあると思われる。出席率は高く、意欲的、積極的に取り組んでいる学生も総じて多い。また授業効果も高い評価が見うけられる。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>全体的に学生には良い評価をえられていると思われる。教員の指導力向上、授業運営への更なる努力は不可欠である。</p> <p>エアコンの稼働時間など、施設への要望はある。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>授業が役立った評価がある。</p> <p>意欲的に取り組める課題内容である。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>6時以降のエアコンの使用希望 冷暖房設備の充実 休日使用の警備員への連絡の徹底をしてほしい。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>設備についてはできるかぎり善処する。 休日使用の運営について検討する。</p> <p>4 その他、意見</p>							

科目 デザイン実技ⅡB

授業コード 25202

担当 デザイン専攻教員

教室 デザインアトリエ

回答した学生 21名

受講登録者 35名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	10
3 80%くらい	6
2 70%くらい	1
1 60%以下	1
無回答	0
小計	21

設問	2	3
5 強くそう思う	12	14
4 ややそう思う	7	5
3 どちらともいえない	2	1
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	21	21

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	6	8	8	8	10	3	9	9
4 ややそう思う	5	7	8	6	5	3	8	6
3 どちらともいえない	5	6	5	7	5	4	4	6
2 あまりそう思わない	3	0	0	0	1	7	0	0
1 まったくそう思わない	2	0	0	0	0	4	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	21	21	21	21	21	21	21	21

授業科目	デザイン実技ⅡB				担当者	デザイン教員	
開講時期	後期	曜日	毎日	時限	1,2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 2年次前期までの基礎課程デザイン実技ⅡAを終え、後期のデザイン実技ⅡBでは学生各自が所属する専門領域を決めた上で各領域から提示される課題を自主的に選択し様々な専門的学習が出来るようになっている。</p> <p>2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 設備以外おおむね学生の反応は良い傾向にあると思われる。出席率は高いし積極的に取り組んでいる学生も総じて多い。</p> <p>(2) 授業について 全体的に学生には良い評価をえられていると思われるが、不満の声もある。教員の指導力向上、授業運営への更なる努力は不可欠である。 設備の老朽化やエアコンの稼働時間など、施設への要望は多くある。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 課題に適した講師を招請している 意欲的に取り組める課題内容である</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 指導時間が少ない課題がある 教員不足への不満 (Webの授業) 基礎からの指導ときいたが講義が不足している 機材の新規購入希望 暖房設備の充実 課題内容について教員と学生が懇談する機会がほしい。 アトリエの清掃は講評後にしてほしい。清掃のため作品を持ち帰ることになる。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 指導時間の充実をはかる。 教員の指導力の向上をはかる方策について検討する。 設備についてはできるかぎり善処する。 課題の指導運営について検討する。</p> <p>4 その他、意見</p>							

科目 デザイン実技ⅢB

授業コード 25203

担当 デザイン専攻教員

教室 デザインアトリエ

回答した学生 19名

受講登録者 40名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	4
4 90%くらい	6
3 80%くらい	4
2 70%くらい	5
1 60%以下	0
無回答	0
小計	19

設問	2	3
5 強くそう思う	9	10
4 ややそう思う	8	8
3 どちらともいえない	1	0
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	19	19

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	2	6	8	7	6	4	7	6
4 ややそう思う	5	6	7	8	10	2	9	11
3 どちらともいえない	8	5	3	2	1	5	2	1
2 あまりそう思わない	1	0	1	1	1	5	0	0
1 まったくそう思わない	3	1	0	1	1	3	1	1
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0
小計	19	19	19	19	19	19	19	19

授業科目	デザイン実技ⅢB				担当者	デザイン教員	
開講時期	後期	曜日	毎日	時限	1,2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

視覚伝達、プロダクト、環境、メディアの4つの領域から各課題群に課題が出され、学生は本人の将来目標に基づいて所属領域を決めた上で、課題を自由に選択することができる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

設備以外おおむね学生の反応は良いと思われる。出席率は高いし積極的に取り組んでいる学生も総じて多い。

(2) 授業について

全体的に学生には良い評価をえられていると思われるが、不満の声もある。教員の指導力向上への更なる努力は不可欠である。

設備の老朽化やエアコンの稼働時間など、施設への要望は多くある。

教員とのコミュニケーションや教室および設備に不満の声がある。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

記述なし

(4) 自由記述より学生からの要望について

指導時間が少ない課題がある

教員の指導力への不満

アトリエの使用時間の延長

暖房設備の充実

コンセントの断絶修理

警備員が威圧的で女子学生がおびえている。

課題内容について教員と学生が懇談する機会がほしい。

アトリエを清掃してほしい。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

指導時間の充実をはかる。

教員の指導力の向上について検討する。

課題制作のあり方を検討する。

設備についてはできるかぎり善処する。

学生とのコミュニケーションを密にする方策を検討する。

4 その他、意見

科目 デザイン実技ⅣB

授業コード 25204

担当 デザイン専攻教員

教室 デザインアトリエ

回答した学生 9名

受講登録者 30名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	2
3 80%くらい	3
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	9

設問	2	3
5 強くそう思う	6	6
4 ややそう思う	1	2
3 どちらともいえない	1	0
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	9	9

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	0	3	3	3	5	1	6	6
4 ややそう思う	2	4	4	5	3	2	2	2
3 どちらともいえない	4	1	1	1	0	1	0	0
2 あまりそう思わない	1	0	0	0	0	2	0	0
1 まったくそう思わない	2	1	1	0	1	3	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	9	9	9	9	9	9	9	9

授業科目	デザイン実技IVB				担当者	デザイン教員	
開講時期	後期	曜日	毎日	時限	1,2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

視覚伝達、プロダクト、環境、メディアの4つの領域から各課題群に課題が出され、学生は本人の将来目標に基づいて、自由に選択することができる。

選択課題の決定に際しては、関係教員からのアドバイスを受けることが望ましい。

卒業制作時には、領域に関わらず、自己の研究計画に基づいて指導教員を複数人（主担当1名、副担当1-2名）選択し指導を受けることとする。

(1) 受講した学生自身について

設備以外おおむね学生の反応は良い傾向にあると思われる。

(2) 授業について

全体的に学生には良い評価をえられていると思われるが、不満の声もある。授業運営への更なる努力は不可欠である。

設備の老朽化やエアコンの稼働時間など、施設への要望は多くある。

連絡の方法についての要望も見られる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

記述なし

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業内容に対する不満（とるだけの出席、意味のないチェック、教員の話はただの雑談）

卒制の査定日程やルールがわかりにくい

暖房設備の充実（とにかく寒い）

雨漏りの修繕

電力の増強

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

教員の指導力の向上をはかる方策について検討する。

設備についてはできるかぎり善処する。

課題の指導運営について検討する。

連絡の仕方について検討する。

卒制の査定スケジュールについて改善する。

4 その他、意見

アンケート回答者が9名で少数である。4年生の卒業制作締め切り日にアンケートを実施している点、学生が多忙で出席者が少ないことが要因だともまれる。アンケートをとるルールの柔軟な対応が求められる。

担当 デザイン専攻教員

回答した学生 33名

受講登録者 35名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	13
3	80%くらい	9
2	70%くらい	4
1	60%以下	0
	無回答	1
小計		33

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	9	12
4	やや思う	12	12
3	どちらともいえない	9	6
2	あまり思わない	1	1
1	まったく思わない	2	2
	無回答	0	0
小計		33	33

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	6
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	14
2	あまり思わない	6
1	まったく思わない	3
	無回答	0
小計		33

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	19
4	延長することが多い	5
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	2
	無回答	2
小計		33

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	12	12	13	19	13	16	14
4	やや思う	13	11	8	8	12	8	10
3	どちらともいえない	4	7	9	3	6	5	6
2	あまり思わない	1	2	1	1	1	2	2
1	まったく思わない	2	1	1	1	1	0	0
	無回答	1	0	1	1	0	2	1
小計		33	33	33	33	33	33	33

授業科目	デザインプレゼンテーション			担当者	デザイン専攻教員オムニバス		
開講時期	前期	曜日	水	時限	2	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

デザインのプレゼンテーションなどデザイン意図を理解してもらうための基礎技術の理論と演習。

図面、模型、説明図、説明手法などデザイン意図を正確に伝える理論と技術の習得を目的に、デザイン専攻の教員が専門の立場からオムニバス形式で毎週テーマを設定して授業をする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

おおむね学生の反応は良いと思われる。積極的に取り組んでいる学生も総じて多くあり、学生の意欲を感じる。ただ、興味関心のない学生も若干あり受講の有用性をもっと積極的に説明する必要も感じる。

(2) 授業について

全体的に学生には良い評価をえられていると思われる。板書やプリント提示、資料、説明の仕方、わかりやすさについても総じて良い評価ではあるが、教員の更なる努力は不可欠である。

シラバスの扱いに問題を感じる。学生が事前に授業の有用性を理解せずに受講している傾向がある。これはシラバスの情報に問題があるのか、利用の仕方の問題があるのか、今後、検討が必要だと思われる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

教室が涼しくよかった。

デザイン意図を伝えるいろいろな技術や知識の習得ができたことを評価している。

(4) 自由記述より学生からの要望について

専門性を重視してオムニバス形式で数人の教員によって授業がおこなわれるため、授業の展開方法や指導方法が異なる。そのような授業形態に対応しにくい学生があるようである。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

板書、資料、説明の仕方について悪い評価ではないが、教員個々の更なる努力は不可欠である。

シラバスの扱いについて、利用者の立場からの情報提供の改善が必要である。

授業の開始、終了の時間をさらに正確にすること。

受講の有用性をもっと積極的に説明する必要も感じる。

教員が相互に指導方法や授業の進め方等の情報交換が必要である。

4 その他、意見

科目 陶磁実技 I

授業コード 26201

担当 川村 秀樹

教室 陶磁実習棟

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	2
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強くそう思う	8	9
4	ややそう思う	2	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	1	1	6	3	4	5	9	6
4	ややそう思う	4	3	4	2	4	4	1	4
3	どちらともいえない	5	3	0	4	2	1	0	0
2	あまりそう思わない	0	1	0	1	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	2	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10	10

授業科目	陶磁実技 I				担当者	川村 秀樹	
開講時期	通年	曜日	毎日	時限	午後	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

○陶磁実技 I 授業評価アンケート報告書

陶磁実技 I においてアンケート内容から学生の授業への意欲を感じる。受講を繰り返しながら興味、関心は高まっている。シラバスからは授業内容が十分に理解できていない。もう一度シラバス内容について検討を要する。授業時間は不足しているという声が毎年あがる。より効率のよい指導が必要であるが時間的制約の中での制作も重要である。学生とのコミュニケーションは私大に比べとれていると思う。より自主性を育てるための指導方法を検討したい。その他指導内容、先日の改築により設備は良好であると思う。専門能力の向上に役立っているか、総合的な授業評価はおおむね良好であると思う。

科目 陶磁実技Ⅱ

授業コード 26202

担当 川村 秀樹

教室 陶磁実習棟

回答した学生 12名

受講登録者 12名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	2
4 90%くらい	7
3 80%くらい	3
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	12

設問	2	3
5 強くそう思う	11	6
4 ややそう思う	0	5
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	12	12

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	1	1	3	4	5	4	9	9
4 ややそう思う	3	8	7	6	5	7	2	2
3 どちらともいえない	3	2	1	1	2	0	1	1
2 あまりそう思わない	3	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	2	1	1	1	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12	12

授業科目	陶磁実技Ⅱ				担当者	陶磁専攻		
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1～2時限	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 陶磁制作における基本技術の修得と造形・描写力のさらなる研鑽に加え独創性・発想力・構想力を学ぶ。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 積極的に受講し意欲的に取り組む。</p> <p>(2) 授業について 授業全般について総合的評価が良いように概ね良好である。教員の指導姿勢、学生とのコミュニケーションが良好にとれていることに満足している。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 日頃から、学生が興味をもって授業に取り組めるようモチーフの選択、進行の工夫、丁寧な説明等を心がけている点が良い評価となっている。今後も継続していくことが望ましい。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 陶磁器の制作において室内湿度・温度と粘土の乾燥状態の関係を充分考慮し、暖房機器の可動時間と方法を勘考していく必要がある。 授業内容について要望があるが、個々の指導において必要な技術力と創造力が向上していけるように指導を行う。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD） 学生が授業に興味をもって臨めるよう指導をおこなっていく。</p> <p>4 その他、意見</p>								

科目 陶磁実技Ⅲ
(陶芸)

授業コード 26203

担当 太田 公典

教室 陶磁実習棟

回答した学生 1名

受講登録者 1名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	1
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		1

設問		2	3
5	強くそう思う	0	1
4	ややそう思う	1	0
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		1	1

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	0	1	1	1	1	0	1	1
4	ややそう思う	1	0	0	0	0	1	0	0
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		1	1	1	1	1	1	1	1

授業科目	陶磁実技Ⅲ（陶芸）			担当者	太田公典	
開講時期	通年	曜日	時限	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>1、2年生の陶磁器の基礎に加え、より陶磁の専門的な技術と高い技術の習得を目指す。前期には「器」・「大皿」・「壺」、後期には「花器」・「注器」といったロクロ成形での具体的課題を通じてその習得を目指す。また、陶器の成形・表現の研究のみならず、陶磁原料の研究、日本文化の研究、料理の研究、山野の植物スケッチ、美術館、博物館の見学等をおこない陶磁器の制作、研究に必要な技術と知識を横断的に習得する。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について アンケートの回答率は100%であった。 質問1、授業への出席については1名中1名が（4/90%くらい）、と回答している。また、質問2、授業への意欲的な取り組みについては、1名中1名が（4/ややそう思う）、質問3、その後の授業内容への興味・関心の高さについては、1名中1名が（5/強くそう思う）と回答しており、質問1、2については完全とはいかないまでも高い値を示し、質問3においては積極的の回答をしている。対象となる学生が陶磁実技Ⅲの授業に対して高い関心を示し、普通以上に意欲的に取り組んだことがわかる。</p> <p>(2) 授業について 質問4、「シラバス」は授業の選択に役立ったかでは、（4/ややそう思う）と答えている。本授業は必修であり選択の必要性は無いが、受講するうえで参考になったということだと思われる。質問5、授業時間が十分であったかでは、（5/強くそう思う）質問6、教員の話し方、話すスピードは適切であったかでは（5/強くそう思う）、質問7、教員とコミュニケーションはとれていたかでは、（5/強くそう思う）、質問8、自分にあった適切な指導を受けることができたかでは（5/ややそう思う）、質問10、授業が専門能力の向上に役立ちましたかでは、（5/強くそう思う）、質問11、授業全般の総合的評価では、（5/強くそう思う）と答えており、授業及び教員に対する評価では、全ての回答で5/強くそう思うと答えているところから授業内容には大変満足していると評価して良い。 質問9、教室、設備については適切でしたかでは（4/ややそう思う）とある。施設設備に関する要望欄にも特に記述がないところから、教室、設備についてはほぼ満足していると思われる。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 記述なし</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 記述なし</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD） 今回の授業評価では、良い評価であったが、今後も学生が毎日積極的、意欲的に本授業に取り組めるようにコミュニケーションを図り、学生の個性に応じた指導を心掛ける。</p> <p>4 その他、意見 特になし</p>						

科目 陶磁実技Ⅲ
(セラミックデザイン)

授業コード 26204

担当 川村 秀樹

教室 陶磁実習棟

回答した学生 7名

受講登録者 7名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	5
3 80%くらい	0
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	7

設問	2	3
5 強くそう思う	7	6
4 ややそう思う	0	1
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	1	0	5	4	6	4	6	5
4 ややそう思う	0	2	2	3	1	2	1	2
3 どちらともいえない	2	3	0	0	0	0	0	0
2 あまりそう思わない	2	1	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	2	1	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7	7

授業科目	陶磁実技Ⅲ（セラミックデザイン）				担当者	川村、友岡、長井	
開講時期	年間	曜日	毎日	時限	午前	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

計画から陶磁器制作までのデザインプロセスを学び、陶磁素材を生かしたデザインの基礎を身につける。成形技法としてタタラ成型、圧力成型技法、鑄込み成型技法の基本、加飾技法として上絵による装飾、絵付けの基礎表現、シルクスクリーン技法等の基本を習得する。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

年間を通じ、各課題ともハードスケジュールであるが全員の学生がしっかりと取組み、大変興味深く授業に取り組んだことが読み取れる。

(2) 授業について

アンケート質問に対する結果からこの授業に対する関心の高さと満足度がはっきり読み取れる。教員として大変良い励みになるが、次年度以降もよりきめの細かい授業を目指したい。シラバスと授業時間については多少問題点が残る結果が出たが、これは個々の能力に応じて感じられる結果であると思われる。しっかり検討して対処していきたい。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

記述なし

(4) 自由記述より学生からの要望について

施設設備についてはかなり改善された為、昨年の結果からすれば概ね満足していると判断して良いと思われる。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

授業内容の構成は成功していると判断しているが、さらに再考の必要性をあげるなら各課題のさらなる連携と関連性を追求しつつ、一貫した、デザインプロセスの確立を目指せばと考えている。

4 その他、意見

特になし

科目 陶磁実技Ⅳ
(陶芸)

授業コード 26205

担当 太田 公典

教室 陶磁実習棟

回答した学生 6名

受講登録者 6名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	4
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		6

設問		2	3
5	強くそう思う	4	5
4	ややそう思う	2	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	0	0	0	1	0	2	3	2
4	ややそう思う	1	2	3	3	4	1	2	3
3	どちらともいえない	3	2	3	2	2	2	1	1
2	あまりそう思わない	1	2	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	6	6	6	6	6

授業科目	陶磁実技IV				担当者	太田公典・梅本孝征・佐藤文子		
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1・2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 個人指導を中心に行っている。個人面談、学外研修・外部講師による講評など、幅広い視点に立って創作の方法を学生と共にガンガエる授業としている。</p> <p>2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 熱心に授業に取り組み、制作をおこなっている。</p> <p>(2) 授業について 各学生に対応した指導は出来ているが、学生自身が自分のテーマを見つけられない場合に、中間的な感想の回答になっていると考えられる。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 美術館の学芸員、評論家による講評はこれまでも実施してきたが、本年から年に3～4回アイデアから完成までの段階を踏んで、学生と学芸員と教員で共に考えながら完成に至る方法が評価されたと思う。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 記述なし</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 授業には問題は無いと思われるが、アンケート6の教員の話し方のところで、学生に伝わる話し方の工夫が必要と考えられる。</p> <p>4 その他、意見 シラバスについては、個人指導を中心としているので、学生によって予定した内容と変わってくる授業内容である。</p>								

科目 陶磁実技Ⅳ
(セラミックデザイン)

授業コード 26206

担当 川村 秀樹

教室 陶磁実習棟

回答した学生 3名

受講登録者 3名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	1
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	3

設問	2	3
5 強く思う	2	2
4 やや思う	1	1
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	3	3

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強く思う	1	0	1	0	0	1	2	1
4 やや思う	0	0	1	2	3	0	0	1
3 どちらともいえない	2	2	1	0	0	1	1	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	1	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	3	3	3	3	3	3	3	3

授業科目	陶磁実技IV				担当者	太田公典・梅本孝征・佐藤文子		
開講時期	通年	曜日	月～金	時限	1・2	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 個人指導を中心に行っている。個人面談、学外研修・外部講師による講評など、幅広い視点に立って創作の方法を学生と共に考える授業としている。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 熱心に授業に取り組み、制作をおこなっている。</p> <p>(2) 授業について 各学生に対応した指導は出来ているが、学生自身が自分のテーマを見つけられない場合に、中間的な感想の回答になっていると考えられる。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 美術館の学芸員、評論家による講評はこれまでも実施してきたが、本年から年に3～4回アイデアから完成までの段階を踏んで、学生と学芸員と教員で共に考えながら完成に至る方法が評価されたと思う。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 記述なし</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 授業には問題は無いと思われるが、アンケート6の教員の話し方のところで、学生に伝わる話し方の工夫が必要と考えられる。</p> <p>4 その他、意見 シラバスについては、個人指導を中心としているので、学生によって予定した内容と変わってくる授業内容である。</p>								

音樂學部・音樂研究科

科目 ソルフェージュA～D
移動ド

授業コード 31101

担当 山本 裕之

教室 小演奏室A

回答した学生 6名

受講登録者 6名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。
- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	3
4 やや思う	2	3
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	6	6

設問	3
5 適切だった	4
4 まあまあ適切だった	1
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	6

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。
- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	2
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	6

設問	5
5 ほぼ時間どおり	6
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	6

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	6	5	4	6	5	5	5
4 やや思う	0	1	1	0	1	1	1
3 どちらともいえない	0	0	1	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	6	6	6	6	6	6	6

科目 ソルフェージュA～D
基礎1

授業コード 31102

担当 鈴木 宏司

教室 小演奏室A

回答した学生 8名

受講登録者 9名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	7	5
4 やや思う	1	2
3 どちらともいえない	0	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	2
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	8

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	5
4 まあまあ役立つ	1
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	8
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	8

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	7	7	7	7	8	5	6
4 やや思う	1	1	1	1	0	2	2
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

科目 ソルフェージュA~D
基礎2

授業コード 31103

担当 成本 理香

教室 管打レッスン室

回答した学生 8名

受講登録者 9名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	5	6
4 やや思う	2	1
3 どちらともいえない	1	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	3
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	8

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	2
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	5
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	8

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思えますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	7	8	8	8	7	4	8
4 やや思う	1	0	0	0	0	3	0
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	1	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

科目 ソルフェージュA~D
基礎3

授業コード 31104

担当 遠藤 秀安

教室 合奏棟第2教室

回答した学生 12名

受講登録者 15名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	7	7
4 やや思う	4	5
3 どちらともいえない	1	0
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

設問	3
5 適切だった	11
4 まあまあ適切だった	1
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	12

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	9
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	0
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	12

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	12	12	11	12	12	12	12
4 やや思う	0	0	1	0	0	0	0
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

科目 ソルフェージュA~D
基礎4

授業コード 31105

担当 山本 裕之

教室 中演奏室

回答した学生 14名

受講登録者 14名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	7	6
4 やや思う	5	5
3 どちらともいえない	2	3
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	14	14

設問	3
5 適切だった	3
4 まあまあ適切だった	8
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	1
無回答	0
小計	14

● 授業についての質問

4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	4
4 まあまあ役立つ	7
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	14

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	14

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	13	11	11	11	10	7	11
4 やや思う	1	2	3	3	4	4	3
3 どちらともいえない	0	1	0	0	0	3	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	14	14	14	14	14	14	14

科目 ソルフェージュA~D
基礎5

授業コード 31106

担当 板倉 ひろみ

教室 奏楽堂第1教室

回答した学生 10名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	5	2
4 やや思う	3	5
3 どちらともいえない	2	1
2 あまり思わない	0	2
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	10	10

設問	3
5 適切だった	4
4 まあまあ適切だった	2
3 よくわからない	2
2 あまり適切でない	2
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	10

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	4
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	10

設問	5
5 ほぼ時間どおり	8
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	10

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	7	6	6	6	3	5	5
4 やや思う	1	3	2	3	3	3	2
3 どちらともいえない	2	1	0	1	3	2	1
2 あまり思わない	0	0	2	0	1	0	2
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	10	10	10	10	10	10	10

科目 ソルフェージュA~D
基礎6

授業コード 31107

担当 橋本 知久

教室 合奏棟第1教室

回答した学生 12名

受講登録者 15名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	6	6
4 やや思う	3	5
3 どちらともいえない	2	1
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	3
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	12

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	5
3 よくわからない	4
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	12

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	9	5	4	7	6	4	5
4 やや思う	2	6	6	5	5	4	6
3 どちらともいえない	1	1	1	0	1	4	1
2 あまり思わない	0	0	1	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

科目 ソルフェージュA~D
基礎7

授業コード 31108

担当 武野 晴久

教室 大演奏室

回答した学生 12名

受講登録者 14名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	6
4 やや思う	7	4
3 どちらともいえない	1	2
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

設問	3
5 適切だった	3
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	3
2 あまり適切でない	2
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	12

● 授業についての質問

4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	6
3 よくわからない	3
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	7
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	3
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	12

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	5	6	3	8	6	7	5
4 やや思う	5	3	5	2	4	3	6
3 どちらともいえない	2	3	4	2	2	1	1
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

科目 ソルフェージュA~D
基礎8

授業コード 31109

担当 小島 千加子

教室 奏楽堂第3教室

回答した学生 17名

受講登録者 17名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	14	12
4 やや思う	2	5
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	17	17

設問	3
5 適切だった	7
4 まあまあ適切だった	8
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	17

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	10
4 まあまあ役立つ	6
3 よくわからない	0
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	17

設問	5
5 ほぼ時間どおり	17
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	17

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	17	15	14	17	16	14	15
4 やや思う	0	2	3	0	1	2	2
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	1	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	17	17	17	17	17	17	17

科目 ソルフェージュA~D
基礎9

授業コード 31110

担当 橋本 知久

教室 合奏棟第1教室

回答した学生 15名

受講登録者 16名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。
- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	8	5
4 やや思う	6	5
3 どちらともいえない	1	5
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	15	15

設問	3
5 適切だった	7
4 まあまあ適切だった	3
3 よくわからない	3
2 あまり適切でない	2
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	15

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。
- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	6
4 まあまあ役立つ	4
3 よくわからない	4
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	15

設問	5
5 ほぼ時間どおり	13
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	15

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思えますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	11	9	8	11	6	8	6
4 やや思う	2	3	1	2	7	6	4
3 どちらともいえない	2	1	5	1	1	1	4
2 あまり思わない	0	2	1	1	1	0	1
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	15	15	15	15	15	15	15

科目 ソルフェージュA~D
応用1

授業コード 31111

担当 遠藤 秀安

教室 合奏棟第2教室

回答した学生 11名

受講登録者 18名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	4	5
4 やや思う	3	3
3 どちらともいえない	3	2
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	1
無回答	0	0
小計	11	11

設問	3
5 適切だった	4
4 まあまあ適切だった	1
3 よくわからない	4
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	1
無回答	0
小計	11

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	4
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	1
無回答	0
小計	11

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	11

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	8	9	7	10	7	7	8
4 やや思う	2	2	3	1	2	2	2
3 どちらともいえない	0	0	0	0	1	0	0
2 あまり思わない	1	0	0	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	1	0	1	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11

科目 ソルフェージュA～D
応用2

授業コード 31112

担当 成本 理香

教室 管打レッスン室

回答した学生 14名

受講登録者 18名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	6	8
4 やや思う	8	5
3 どちらともいえない	0	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	14	14

設問	3
5 適切だった	6
4 まあまあ適切だった	3
3 よくわからない	4
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	14

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	9
4 まあまあ役立つ	2
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	14

設問	5
5 ほぼ時間どおり	12
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	14

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	13	14	12	13	12	8	12
4 やや思う	1	0	2	1	2	3	2
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	1	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	2	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	14	14	14	14	14	14	14

科目 ソルフェージュA~D
応用3

授業コード 31113

担当 小島 千加子

教室 奏楽堂第3教室

回答した学生 15名

受講登録者 16名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	4	7
4 やや思う	5	6
3 どちらともいえない	5	2
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	15	15

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	8
3 よくわからない	2
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	15

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	8
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	1
無回答	0
小計	15

設問	5
5 ほぼ時間どおり	15
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	15

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	14	13	13	14	14	11	13
4 やや思う	1	2	2	0	1	3	2
3 どちらともいえない	0	0	0	1	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	15	15	15	15	15	15	15

科目 ソルフェージュA~D
応用4

授業コード 31114

担当 武野 晴久

教室 大演奏室

回答した学生 16名

受講登録者 18名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	7	7
4 やや思う	7	8
3 どちらともいえない	2	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	16	16

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	8
3 よくわからない	3
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	16

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	5
4 まあまあ役立つ	5
3 よくわからない	5
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	16

設問	5
5 ほぼ時間どおり	15
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	1
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	16

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	9	5	8	12	10	8	8
4 やや思う	7	9	6	3	6	8	7
3 どちらともいえない	0	1	2	1	0	0	1
2 あまり思わない	0	1	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	16	16	16	16	16	16	16

科目 ソルフェージュA~D
応用5

授業コード 31115

担当 板倉 ひろみ

教室 奏楽堂第1教室

回答した学生 10名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	2	4
4 やや思う	5	5
3 どちらともいえない	2	1
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	10	10

設問	3
5 適切だった	6
4 まあまあ適切だった	2
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	10

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	4
4 まあまあ役立つ	4
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	1
無回答	0
小計	10

設問	5
5 ほぼ時間どおり	8
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	10

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	6	6	7	6	8	4	6
4 やや思う	4	4	2	4	2	3	3
3 どちらともいえない	0	0	1	0	0	3	1
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	10	10	10	10	10	10	10

科目 ソルフェージュA~D
応用6

授業コード 31116

担当 鈴木 宏司

教室 中演奏室

回答した学生 10名

受講登録者 12名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思われましたか。

設問	1	2
5 強く思う	5	4
4 やや思う	1	3
3 どちらともいえない	3	3
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	10	10

設問	3
5 適切だった	4
4 まあまあ適切だった	3
3 よくわからない	3
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	10

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	5
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	10

設問	5
5 ほぼ時間どおり	10
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	10

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	6	7	7	8	9	4	8
4 やや思う	3	3	2	2	0	3	1
3 どちらともいえない	1	0	1	0	1	2	1
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	10	10	10	10	10	10	10

科目 ソルフェージュ
(基礎1)

授業コード 31101

担当 鈴木 宏司

教室 小演奏室A

回答した学生 6名

受講登録者 7名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	3
4 やや思う	3	1
3 どちらともいえない	0	2
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	6	6

設問	3
5 適切だった	3
4 まあまあ適切だった	1
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	6

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	1
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	1
小計	6

設問	5
5 ほぼ時間どおり	5
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	6

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	5	5	5	4	5	4	4
4 やや思う	1	1	1	2	1	1	1
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1
小計	6	6	6	6	6	6	6

科目 ソルフェージュ
(基礎2)

授業コード 31102

担当 遠藤 秀安

教室 合奏棟第1教室

回答した学生 6名

受講登録者 7名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	4	4
4 やや思う	2	2
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	6	6

設問	3
5 適切だった	3
4 まあまあ適切だった	2
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	6

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	1
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	6

設問	5
5 ほぼ時間どおり	6
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	6

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	5	5	5	6	5	1	5
4 やや思う	1	1	1	0	1	2	1
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	2	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	6	6	6	6	6	6	6

科目 ソルフェージュ
(基礎3)

授業コード 31103

担当 橋本 知久

教室 奏楽堂第3教室

回答した学生 6名

受講登録者 8名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	2	1
4 やや思う	3	4
3 どちらともいえない	0	1
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	6	6

設問	3
5 適切だった	0
4 まあまあ適切だった	6
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	6

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	2
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	6

設問	5
5 ほぼ時間どおり	6
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	6

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	5	5	4	4	4	4	3
4 やや思う	1	1	2	2	1	2	3
3 どちらともいえない	0	0	0	0	1	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	6	6	6	6	6	6	6

科目 ソルフェージュ
(基礎4)

授業コード 31104

担当 成本 理香

教室 合奏棟第2教室

回答した学生 9名

受講登録者 9名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	5	7
4 やや思う	4	1
3 どちらともいえない	0	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	9	9

設問	3
5 適切だった	3
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	2
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	9

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	6
4 まあまあ役立つ	2
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	9

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	9

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	8	9	8	8	8	4	8
4 やや思う	1	0	1	1	1	2	1
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	2	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	9	9	9	9	9	9	9

科目 ソルフェージュ
(基礎5)

授業コード 31105

担当 山本 裕之

教室 中演奏室

回答した学生 8名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	6
4 やや思う	4	1
3 どちらともいえない	1	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	2
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	8

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	4
4 まあまあ役立つ	2
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	5
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	8

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	7	7	7	7	6	4	7
4 やや思う	1	0	0	1	1	1	0
3 どちらともいえない	0	1	1	0	1	3	1
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

授業科目	ソルフェージュ（基礎5）			担当者	山本裕之		
開講時期	後期	曜日	月	時限	1	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

音楽の基礎能力であるソルフェージュを、昨年度からの授業改革（平成23年度理事長特別研究費報告書参照）の中で実践した。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

多くの学生が真面目に授業を受けていた。

（2）授業について

おおむね評価がよいので特に気になる点はない。

（3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

自由記述がないのでコメントしようがない。

（4）自由記述より学生からの要望について

自由記述がないのでコメントしようがない。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

評価が高かったのでこれだけでは特に改善する点はない。ただし学期ごとに構成される学生は全く異なるので、そのつど対応すれば良いと考えている。

4 その他、意見

設備に関しては相変わらず他の項目より評価が低いですが、それでも今回は悪くなかったのは意外である。

科目 ソルフェージュ
(基礎6)

授業コード 31106

担当 小島 千加子

教室 管打レッスン室

回答した学生 9名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	7	6
4 やや思う	2	3
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	9	9

設問	3
5 適切だった	6
4 まあまあ適切だった	2
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	9

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	5
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	9

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	9

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	9	8	8	9	8	4	9
4 やや思う	0	1	1	0	1	3	0
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	2	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	9	9	9	9	9	9	9

科目 ソルフェージュ
(基礎7)

授業コード 31107

担当 板倉 ひろみ

教室 奏楽堂第1教室

回答した学生 11名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	7	8
4 やや思う	3	2
3 どちらともいえない	1	1
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

設問	3
5 適切だった	7
4 まあまあ適切だった	1
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	2
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	11

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	7
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	0
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	11

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	11

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	10	10	10	10	9	8	10
4 やや思う	1	1	1	1	2	1	1
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	2	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11

科目 ソルフェージュ
(基礎8)

授業コード 31108

担当 武野 晴久

教室 大演奏室

回答した学生 12名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	6
4 やや思う	8	4
3 どちらともいえない	1	2
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	12	12

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	3
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	12

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	5
4 まあまあ役立つ	5
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	12

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	12

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	9	8	8	9	9	3	9
4 やや思う	3	4	2	2	2	3	3
3 どちらともいえない	0	0	2	1	1	3	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	2	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	12	12	12	12	12	12	12

科目 ソルフェージュ
(基礎9)

授業コード 31109

担当 成本 理香

教室 合奏棟第2教室

回答した学生 11名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	6	7
4 やや思う	4	1
3 どちらともいえない	1	3
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

設問	3
5 適切だった	6
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	11

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	4
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	3
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	1
無回答	0
小計	11

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	11

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	8	9	8	8	7	3	9
4 やや思う	3	2	3	3	4	3	2
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	4	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11

科目 ソルフェージュ
(基礎10)

授業コード 31110

担当 遠藤 秀安

教室 合奏棟第1教室

回答した学生 11名

受講登録者 14名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	4	5
4 やや思う	4	3
3 どちらともいえない	1	2
2 あまり思わない	2	1
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

設問	3
5 適切だった	6
4 まあまあ適切だった	0
3 よくわからない	2
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	2
無回答	0
小計	11

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	4
4 まあまあ役立つ	4
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	11

設問	5
5 ほぼ時間どおり	11
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	11

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	9	8	8	8	7	8	8
4 やや思う	1	1	0	2	4	1	1
3 どちらともいえない	0	2	2	1	0	1	2
2 あまり思わない	1	0	1	0	0	1	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11

科目 ソルフェージュ
(応用1)

授業コード 31111

担当 板倉 ひろみ

教室 奏楽堂第3教室

回答した学生 8名

受講登録者 9名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	5
4 やや思う	5	1
3 どちらともいえない	0	2
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

設問	3
5 適切だった	2
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	2
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	8

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	1
4 まあまあ役立つ	5
3 よくわからない	2
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	8
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	8

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	7	6	6	7	7	7	6
4 やや思う	1	1	2	1	0	1	0
3 どちらともいえない	0	1	0	0	1	0	2
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

科目 ソルフェージュ
(応用2)

授業コード 31112

担当 橋本 知久

教室 奏楽堂第1教室

回答した学生 8名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。
- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	2	4
4 やや思う	5	4
3 どちらともいえない	1	0
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	8	8

設問	3
5 適切だった	3
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	8

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。
- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	5
4 まあまあ役立つ	2
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	8

設問	5
5 ほぼ時間どおり	8
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	8

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	6	6	6	7	6	6	7
4 やや思う	2	1	2	1	2	1	1
3 どちらともいえない	0	1	0	0	0	1	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	8	8	8	8	8	8	8

科目 ソルフェージュ
(応用3)

授業コード 31113

担当 武野 晴久

教室 大演奏室

回答した学生 7名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	2	3
4 やや思う	3	4
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	2	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	7	7

設問	3
5 適切だった	1
4 まあまあ適切だった	4
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	1
無回答	0
小計	7

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	3
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	7

設問	5
5 ほぼ時間どおり	7
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	7

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	6	5	6	7	5	2	5
4 やや思う	1	2	0	0	2	0	2
3 どちらともいえない	0	0	1	0	0	1	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	4	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	7	7	7	7	7	7	7

科目 ソルフェージュ
(応用4)

授業コード 31114

担当 鈴木 宏司

教室 中演奏室

回答した学生 4名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	3	4
4 やや思う	0	0
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	4	4

設問	3
5 適切だった	2
4 まあまあ適切だった	1
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	1
無回答	0
小計	4

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	2
4 まあまあ役立つ	1
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	4

設問	5
5 ほぼ時間どおり	3
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	4

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思えますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	4	4	4	3	4	4	4
4 やや思う	0	0	0	1	0	0	0
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	4	4	4	4	4	4	4

科目 ソルフェージュ
(応用5)

授業コード 31115

担当 小島 千加子

教室 管打レッスン室

回答した学生 10名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	6	5
4 やや思う	4	5
3 どちらともいえない	0	0
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	10	10

設問	3
5 適切だった	5
4 まあまあ適切だった	3
3 よくわからない	1
2 あまり適切でない	1
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	10

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	5
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	1
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	10

設問	5
5 ほぼ時間どおり	9
4 延長することが多い	1
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	10

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	8	6	5	7	7	2	5
4 やや思う	2	4	3	3	2	5	3
3 どちらともいえない	0	0	2	0	0	2	1
2 あまり思わない	0	0	0	0	1	1	1
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	10	10	10	10	10	10	10

科目 ソルフェージュ
(移動ド)

授業コード 31117

担当 山本 裕之

教室 小演奏室 A

回答した学生 4 名

受講登録者 4 名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
2 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

- 3 配属されたクラスは自分にとって適切な難易度だと思えましたか。

設問	1	2
5 強く思う	1	3
4 やや思う	1	1
3 どちらともいえない	1	0
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	4	4

設問	3
5 適切だった	4
4 まあまあ適切だった	0
3 よくわからない	0
2 あまり適切でない	0
1 まったく適切でない	0
無回答	0
小計	4

● 授業についての質問

- 4 授業の内容が自分の演奏（作曲、研究）に役立つと思えますか。

- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 大いに役立つ	3
4 まあまあ役立つ	0
3 よくわからない	1
2 あまり役立たない	0
1 まったく役立たない	0
無回答	0
小計	4

設問	5
5 ほぼ時間どおり	4
4 延長することが多い	0
3 開始が遅いことが多い	0
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	4

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思えますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	4	4	4	4	4	4	4
4 やや思う	0	0	0	0	0	0	0
3 どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	4	4	4	4	4	4	4

授業科目	ソルフェージュ（移動ド）			担当者	山本裕之		
開講時期	後期	曜日	月	時限	1	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 音楽の基礎能力であるソルフェージュを、昨年度からの授業改革（平成 23 年度理事長特別研究費報告書参照）の中で実践した。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 4人中3人の学生が真面目に授業を受けていた。1人は欠席と遅刻が多かった（不可となった）。</p> <p>(2) 授業について 評価がすこぶるよいので特に気になる点はない。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 移動ドがいかにかは毎時間のように説明しているので、学生達が素直な分これらのような肯定的な意見となるのは不思議ではない。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 移動ド唱法は特殊な訓練が必要であるため、移動ド音感の学生が通常クラスで学ぶ場合は能力の獲得が望みにくいどころか、かえって混乱してしまうケースがある。そのため移動ドクラスの解説は必須であるが、対象となる学生はとても少ない。音楽大学の基礎教育ではその様な少数の学生にも対応が必要であるため、人数が少なくても移動ドクラスの開設は必要と考えられる。そのためには他のクラスの配置人数が多すぎないようにするため、教員の増員が必要である。是非ご検討いただきたい。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD） 評価がとても高かったのでこれだけでは特に改善する点はない。ただし学期ごとに構成される学生は全く異なるので、そのつど対応すれば良いと考えている。</p> <p>4 その他、意見 特にない。</p>							

科目 西洋音楽史概説A

授業コード 32102

担当 森本 頼子

教室 新講義棟大教室

回答した学生 104 名

受講登録者 109 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	74
4	90%くらい	24
3	80%くらい	6
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		104

設問		2	3
5	強く思う	33	37
4	やや思う	48	47
3	どちらともいえない	22	17
2	あまりそう思わない	1	1
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	1
小計		104	104

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	28
4	やや思う	27
3	どちらともいえない	32
2	あまりそう思わない	10
1	まったくそう思わない	6
	無回答	1
小計		104

設問		5
5	ほぼ時間どおり	88
4	延長することが多い	7
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	3
	無回答	0
小計		104

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	79	67	73	80	24	62	63
4	やや思う	18	21	15	17	30	27	30
3	どちらともいえない	3	9	9	4	30	12	9
2	あまりそう思わない	2	6	5	2	13	2	1
1	まったくそう思わない	1	1	2	1	7	0	1
	無回答	1	0	0	0	0	1	0
小計		104	104	104	104	104	104	104

科目 西洋音楽史概説B

授業コード 32101

担当 小沢 優子

教室 新講義棟大教室

回答した学生 102名

受講登録者 111名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	47
4	90%くらい	35
3	80%くらい	19
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		102

設問		2	3
5	強く思う	29	35
4	やや思う	35	20
3	どちらともいえない	22	26
2	あまりそう思わない	7	13
1	まったくそう思わない	9	8
	無回答	0	0
小計		102	102

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	24
4	やや思う	18
3	どちらともいえない	37
2	あまりそう思わない	10
1	まったくそう思わない	13
	無回答	0
小計		102

設問		5
5	ほぼ時間どおり	82
4	延長することが多い	9
3	開始が遅いことが多い	9
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		102

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	30	24	30	38	15	42	24
4	やや思う	28	27	13	14	20	32	22
3	どちらともいえない	24	10	20	34	22	23	29
2	あまりそう思わない	11	18	16	5	16	3	15
1	まったくそう思わない	9	23	23	10	29	2	12
	無回答	0	0	0	1	0	0	0
小計		102	102	102	102	102	102	102

科目 音楽学概説

授業コード 32103

担当 安原 雅之

教室 新講義棟大教室

回答した学生 39名

受講登録者 93名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	14
4	90%くらい	18
3	80%くらい	6
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		39

設問		2	3
5	強く思う	13	19
4	やや思う	14	12
3	どちらともいえない	11	8
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		39	39

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	9
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		39

設問		5
5	ほぼ時間どおり	24
4	延長することが多い	6
3	開始が遅いことが多い	8
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		39

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	21	21	22	23	18	19	23
4	やや思う	10	13	12	12	11	13	11
3	どちらともいえない	8	4	4	3	9	5	4
2	あまりそう思わない	0	1	1	1	1	1	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		39	39	39	39	39	39	39

科目 楽書講読（英）IB・II B

授業コード 32102

担当 安原 雅之

教室 合奏棟第2教室

回答した学生 7名

受講登録者 12名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	4
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強く思う	4	6
4	やや思う	3	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	3
3	どちらともいえない	1
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		7

設問		5
5	ほぼ時間どおり	7
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		7

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	6	6	6	4	6	4	6
4	やや思う	1	1	1	3	1	3	1
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7

授業科目	楽書講読（英） I B・II B			担当者	安原雅之		
開講時期	2012年度後期	曜日	水	時限	1	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業は、受講生による予習（訳）～授業での訳の確認～復習～期末テストという流れを重視している点の特徴であると言えよう。極めて普通のことではあるが、この流れを徹底することで、受講生の学習意欲を高め、また、最終的にはその成果を期末テストで評価することができる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

ほとんどの学生は、とても意欲的であった。1限の授業で、どうしても休みがちになる学生もいた。

(2) 授業について

シラバス、授業の開始時間および終了時間、話し方等、配布資料等、教え方など、授業については問題はなかった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

特になし。

(4) 自由記述より学生からの要望について

特になし。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

配布資料の準備が間にあわない場合があった。来年度から、英語のテキスト（教科書）を使用することにしたので、この問題は改善されよう。

4 その他、意見

特になし。

科目 特殊研究(音楽学領域6) 授業コード 32103

担当 安原 雅之 教室 0

回答した学生 16名

受講登録者 22名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	5
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		16

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	9	7
4	やや思う	3	5
3	どちらともいえない	3	3
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		16	16

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	4
2	あまり思わない	2
1	まったく思わない	1
	無回答	0
小計		16

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	13
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		16

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	10	9	10	10	9	2	8
4	やや思う	2	3	1	1	0	1	3
3	どちらともいえない	3	4	4	5	6	6	4
2	あまり思わない	1	0	1	0	1	3	1
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	4	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		16	16	16	16	16	16	16

授業科目	特殊研究（音楽学領域 6）			担当者	安原雅之		
開講時期	2012 年度後期	曜日	火	時限	2	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

論文執筆のための指導を、講義形式で行なっている点が特徴である。講義形式で行なうことによって、書式その他のノウハウを効率的に教えることができる一方、論文執筆に必要な個人指導の時間が少ないという欠点を有している。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

22名の受講者のうち、16名が回答した。その16名のうち1名を除き、80%以上授業に出席し、また、「授業である買われた内容への興味・関心が高まりましたか」という設問に対して、9名が「強くそう思う」と言っている。

(2) 授業について

シラバス、授業の開始時間および終了時間、話し方等、配布資料等、教え方など、授業については、ほぼ全体に渡って良い評価を受けている。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

個人指導の時間を最大限に確保した点がよかったようだ。

(4) 自由記述より学生からの要望について

教室が寒いことが多く、苦情が寄せられた。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

授業の内容を整備して、無駄を省くよう務める。

この授業の内容と目的等について、より明確に説明する（各自の論文の執筆は、各自が独自にやらなければならないという事実を自覚させる必要がある。

4 その他、意見

授業形式で論文指導を行なうことには、多々無理が生じることは明らかだが、概ね成功していると言えよう。しかしアンケートを見て気になるのは、ごく一部であるが、否定的な意見がある点ことである。

たとえば、今回のTAは、非常に献身的に指導にあたり、提出直前の時期には時間を延長して（無給）で指導してくれた。それに対して、学生たちは大いに感謝しているが、恐らく相談にも来なかったであろう学生が否定的なコメントを寄せていると思われるが、それに対して、授業の担当教員としては、断固として反対し、TAの献身的な指導と、それを頼りに努力した受講生たちのがんばりを称賛したい。

科目 特殊研究（声楽領域5）

授業コード 33201

担当 二神 二郎

教室 中リハーサル室

回答した学生 14名

受講登録者 15名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	6
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	14

設問	2	3
5 強くそう思う	13	13
4 ややそう思う	1	1
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	14	14

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	5	12	11	10	11	9	12	13
4 ややそう思う	4	1	2	3	3	1	2	1
3 どちらともいえない	4	1	1	1	0	1	0	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	2	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0
小計	14	14	14	14	14	14	14	14

授業科目	特殊研究（声楽領域5）			担当者	二神二郎		
開講時期	前期	曜日	水	時限	4	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

イタリア・オペラのアリアを題材としてとりあげ、演奏するために必要な、歌詞の解釈、ディクシオンを学習し演奏させる。オペラのシチュエーション、人物像、作曲家の意図などを理解した上で、音楽性の高い演奏をめざす。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

学生は出席率も大変良く、真剣に授業に取り組んでいた。

(2) 授業について

イタリア・オペラへの関心がとても高いことが、アンケートからもわかる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

アーティスト・イン・レジデンスで招聘した Uccello 氏のレッスンをとても好評だったこと。

(4) 自由記述より学生からの要望について

中リハーサル室のエアコン等、環境の整備。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

特になし。

4 その他、意見

科目 オペラ重唱B

授業コード 33201

担当 井原 義則

教室 大演奏室

回答した学生 26名

受講登録者 29名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	16
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		26

設問		2	3
5	強くそう思う	19	23
4	ややそう思う	7	3
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		26	26

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	15	15	22	23	21	16	23	21
4	ややそう思う	5	1	3	2	3	5	3	5
3	どちらともいえない	5	4	1	1	2	4	0	0
2	あまりそう思わない	1	4	0	0	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	0	2	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		26	26	26	26	26	26	26	26

科目 オペラ研究B

授業コード 33202

担当 森川 栄子

教室 複数教室

回答した学生 20名

受講登録者 27名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	14
4 90%くらい	4
3 80%くらい	2
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	20

設問	2	3
5 強く思う	16	16
4 やや思う	1	1
3 どちらともいえない	3	3
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	20	20

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強く思う	2	10	11	11	8	1	14	10
4 やや思う	3	7	5	6	7	1	3	7
3 どちらともいえない	11	1	3	2	4	5	3	3
2 あまりそう思わない	1	2	1	0	0	4	0	0
1 まったくそう思わない	3	0	0	1	1	9	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	20	20	20	20	20	20	20

授業科目	オペラ研究B			担当者	森川栄子 他計5名		
開講時期	H24 後期	曜日	木	時限	3,4	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 歌手としてのオペラへの取り組み方の基礎を、オペラを実際に体験することを通して身につける。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について ほとんどの学生が積極的・自主的に取り組んだ。</p> <p>(2) 授業について 前期より引き続きの授業の成果を、試演会において非常にレベルの高い上演という形で発表することができた。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 限られた設備の中でかなり良いものができたこと。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について ・もっと声楽面の指導をしてほしい → 限られた時間数の中で、実技担当教員との意見の相違が生じると学生側も困るので、どこまで踏み込んで良いのかという問題がある。 ・演出を先生方の間である程度統一しておいてほしい → 基本的に演出家の意見に従うべきだが、違う考え方もあるのだということを知った上で自分の動きを考える習慣を身につけて欲しい。 ・担当教員の先生がもっと授業に顔を出してほしい → 大学運営の仕事と授業とが重なってしまう現状を改善するには大幅な予算の措置が必要であろう。 ・集中練習の時冷房をつけてほしい → 点けてもらっていたはずである。利きが悪かっただけ。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 出来る限りの指導をしたいと考える。 設備については新校舎への移転により今後は大幅に改善されるはずである。</p> <p>4 その他、意見</p>							

科目 合唱 I B～ⅢB
(女)

授業コード 33203

担当 長谷 順二

教室 中リハーサル室

回答した学生 53 名

受講登録者 72 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	21
4 90%くらい	25
3 80%くらい	7
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	53

設問	2	3
5 強くそう思う	25	27
4 ややそう思う	20	20
3 どちらともいえない	7	6
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	53	53

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	28	40	37	34	33	40	33	38
4 ややそう思う	11	7	12	9	13	9	16	9
3 どちらともいえない	10	4	3	9	6	4	3	5
2 あまりそう思わない	2	2	1	1	0	0	0	1
1 まったくそう思わない	2	0	0	0	1	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	53	53	53	53	53	53	53	53

科目 合唱 I B～ⅢB
(男)

授業コード 33204

担当 佐藤 正浩

教室 大演奏室

回答した学生 16 名

受講登録者 16 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	2
3 80%くらい	5
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	16

設問	2	3
5 強くそう思う	9	13
4 ややそう思う	6	3
3 どちらともいえない	1	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	16	16

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	7	12	15	13	13	9	13	14
4 ややそう思う	2	2	1	2	1	0	2	1
3 どちらともいえない	6	1	0	1	2	5	1	1
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	1	0	0	0	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	16	16	16	16	16	16	16	16

科目 特殊研究（複合領域3） 授業コード 33205

担当 森川 栄子 教室 0

回答した学生 11名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	8
3 80%くらい	1
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	11

設問	2	3
5 強くそう思う	7	9
4 ややそう思う	4	2
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	11	11

● 授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	5	8	10	8	8	8	8	9
4 ややそう思う	4	3	1	3	3	2	3	2
3 どちらともいえない	2	0	0	0	0	0	0	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	11	11	11	11	11	11	11	11

授業科目	特殊研究（複合領域 3）			担当者	北住淳、森川栄子		
開講時期	H24	曜日	水	時限	4	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

作曲者の国籍や言語を問わず、20世紀以降、私たちの同時代までの声楽作品を採り上げる。ことに新ウィーン楽派とその関連作曲家の声楽作品に重点を置く。歌手とピアニストを組み合わせ、それぞれの声楽領域受講生の声質にふさわしい作品を選定し、声楽およびピアノの2人の教員がアドヴァイスする。他の受講生もそれを全員で聴き学ぶ。

2 アンケート結果の所見

（1）受講した学生自身について

ほとんどの学生が、積極的に取り組んでいた。

（2）授業について

学生の視野を広げ新たな分野への取り組みのきっかけとすることができた。

（3）自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

これまで取り組んだことのなかった時代の作品に取り組ませる機会とすることができた。

（4）自由記述より学生からの要望について

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

次年度はもう1名担当教員を増員して開講し、同時代の作品に関心を持って積極的に取り組む学生を増やしていきたい。

4 その他、意見

科目 オペラ総合演習2

授業コード 33206

担当 末吉 利行

教室 0

回答した学生 16名

受講登録者 16名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	9
4 90%くらい	6
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	16

設問	2	3
5 強くそう思う	14	14
4 ややそう思う	1	2
3 どちらともいえない	1	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	16	16

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	8	12	13	12	12	4	12	13
4 ややそう思う	6	2	2	2	3	4	3	3
3 どちらともいえない	2	1	1	1	1	3	1	0
2 あまりそう思わない	0	1	0	1	0	3	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	16	16	16	16	16	16	16	16

科目 伴奏法・歌曲A

授業コード 34201

担当 加藤 美緒子

教室 大演奏室・中演奏室

回答した学生 24名

受講登録者 25名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	20
4 90%くらい	2
3 80%くらい	1
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	24

設問	2	3
5 強くそう思う	17	23
4 ややそう思う	6	0
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	1	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	24	24

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	18	23	23	17	23	20	23	23
4 ややそう思う	4	0	0	6	0	2	0	0
3 どちらともいえない	1	0	0	0	0	1	0	0
2 あまりそう思わない	1	1	1	1	1	1	1	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	24	24	24	24	24	24	24	24

科目 伴奏法・器楽曲A

授業コード 34202

担当 鈴木 謙一郎

教室 大演奏室・中演奏室

回答した学生 24名

受講登録者 25名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	3
4 90%くらい	4
3 80%くらい	5
2 70%くらい	10
1 60%以下	2
無回答	0
小計	24

設問	2	3
5 強くそう思う	10	21
4 ややそう思う	7	2
3 どちらともいえない	7	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	24	24

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	14	20	23	20	20	18	22	21
4 ややそう思う	7	2	0	3	2	3	1	2
3 どちらともいえない	3	2	1	1	2	3	1	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	24	24	24	24	24	24	24	24

科目 伴奏法・歌曲B

授業コード 34201

担当 掛谷 勇三

教室 大合奏室、中演奏室

回答した学生 25名

受講登録者 25名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	18
4	90%くらい	7
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		25

設問		2	3
5	強く思う	23	24
4	やや思う	2	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強く思う	14	21	18	18	21	20	23	24
4	やや思う	5	4	7	6	4	5	2	1
3	どちらともいえない	4	0	0	1	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25	25

授業科目	伴奏法・歌曲B			担当者	掛谷勇三		
開講時期	後期	曜日	火	時限	4	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

声楽の伴奏についてピアノパートの譜読みにとどまらず、歌詞のイントネーションや歌パートの音域変化によるピアノの音色の対応の仕方、和声上の留意点、歌詞の中の重要な単語の意味、などについて調べさせ、ピアノ演奏との関連に注意を喚起する。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

全体に非常に熱心であった。

(2) 授業について

毎回優秀な声楽学生の助けを借りて実践的な内容となった。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

記述なし。

(4) 自由記述より学生からの要望について

記述なし。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

学期を通じて扱う作品を事前に提示できるような工夫ができないか検討する。

歌詞のイントネーションや歌詞中の要となる単語と音楽との関係についてよりわかりやすく説明する。

実演を担当する際、より積極的に下準備にとりかかるよう工夫をする。

4 その他、意見

科目 伴奏法・器楽曲B

授業コード 34202

担当 内本 久美

教室 大演奏室、中演奏室

回答した学生 19名

受講登録者 25名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	8
4 90%くらい	6
3 80%くらい	2
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	19

設問	2	3
5 強くそう思う	11	17
4 ややそう思う	6	2
3 どちらともいえない	2	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	19	19

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	14	15	16	14	17	13	18	18
4 ややそう思う	3	2	3	3	2	3	1	1
3 どちらともいえない	2	1	0	0	0	2	0	0
2 あまりそう思わない	0	1	0	1	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0
小計	19	19	19	19	19	19	19	19

授業科目	伴奏法・器楽曲B			担当者	内本 久美		
開講時期	平成 24 年後期	曜日	水	時限	1	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>学生自身の選んだ楽曲を他楽器と共に演奏させ、問題点及び改善すべき点を気づかせる。聴衆として、楽譜を見ながら問題点について考え、意見を述べる。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>非常に真面目に曲を準備し、授業前に合わせを済ませてくる姿勢は大変好ましいと思う。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>時間をより多く割いて、より深く学ぶべき曲と、それほど必要のない曲の差があり、どのように参加する学生に不公平の生じないよう限られた時間を区切るか、というところが難しい。今期は一律一人につき 30 分と定めたが、検討の必要があると感じた。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>個人的な評価については嬉しいが、授業と関係がない。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>楽譜を一人一部ずつ希望云々については、(2) と併せて検討したい。一曲のページ数が 10 枚を超す場合、持ち時間 30 分のために 250 枚のコピーが必要となる。(2) に記述したように、「必要のない曲」のために 250 枚の紙を使うのは無駄である。かつ一授業の間に 3 人参加すると、500 枚をゆうに超え、現実的にも無理がある。事前に曲の申請を義務付け、メール等を使って学生各自でプリントアウトさせる方向で検討したい。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の配布について ・楽曲の選択について ・時間の配分について <p>4 その他、意見</p> <p>25 人の学生が小演に詰まると、演奏者と聴衆との距離は全く存在しない。故に伴奏の良し悪しを判断する一材料となる楽器同士のバランス、というものが聞き取りにくい。新校舎での部屋配分の折、参考として頂ければ有難い。</p>							

科目 ピアノ指導法A

授業コード 34203

担当 掛谷 勇三

教室 中演奏室

回答した学生 18名

受講登録者 24名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	5
4 90%くらい	6
3 80%くらい	5
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	18

設問	2	3
5 強くそう思う	7	11
4 ややそう思う	7	4
3 どちらともいえない	3	3
2 あまりそう思わない	1	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	18	18

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	10	13	13	14	13	10	13	14
4 ややそう思う	5	4	4	4	4	3	4	2
3 どちらともいえない	3	1	1	0	1	3	1	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	18	18	18	18	18	18	18	18

科目 ピアノ指導法B

授業コード 34203

担当 榑原 祐子

教室 中演奏室

回答した学生 21名

受講登録者 26名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	1
4 90%くらい	15
3 80%くらい	3
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	21

設問	2	3
5 強くそう思う	10	15
4 ややそう思う	8	4
3 どちらともいえない	3	2
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	21	21

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	13	17	20	18	18	8	15	18
4 ややそう思う	3	3	1	2	2	1	5	3
3 どちらともいえない	4	1	0	1	1	12	1	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0
小計	21	21	21	21	21	21	21	21

科目 室内楽（ピアノ） I A

授業コード 34204

担当 内本 久美

教室 小演奏室 A

回答した学生 12 名

受講登録者 18 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	3
3	80%くらい	5
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		12

設問		2	3
5	強くそう思う	10	11
4	ややそう思う	1	1
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		12	12

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	7	5	10	11	9	4	11	9
4	ややそう思う	2	3	2	0	3	4	1	3
3	どちらともいえない	3	2	0	1	0	1	0	0
2	あまりそう思わない	0	2	0	0	0	3	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		12	12	12	12	12	12	12	12

授業科目	室内楽 I A			担当者	小林、内本		
開講時期	2012 年前期	曜日	木	時限	2 限	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

組み合わせ楽器に関する制約は与えず、各人の自由選択に任せる。
異なる楽器との合奏に必要な留意点に関する説明を行う。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

各自 用意した曲でパートナーとの合わせ等を行ってから授業に出席するなど
一般的に真面目である。

(2) 授業について

履修登録した学生の割合に対し、全員へ授業の割り振りできる時間は相対的に少ないと思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

ピアノ以外の楽器と演奏の機会を与える、またそれにより他の楽器に対する興味に繋がっていくと
良いと感じた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

部屋が狭いという要望に対し、できるだけ小演室有効に活用する方法を考えてゆきたいと思う。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

後期の早い段階で試演会の日程を発表し、より大きな作品にチャレンジさせたいと思う。

4 その他、意見

特になし

科目 ピアノ合奏A

授業コード 34207

担当 鈴木 謙一郎

教室 0

回答した学生 25名

受講登録者 25名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	21
4	90%くらい	1
3	80%くらい	1
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		25

設問		2	3
5	強くそう思う	18	23
4	ややそう思う	5	2
3	どちらともいえない	2	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	17	19	23	21	23	20	24	22
4	ややそう思う	5	3	1	2	0	3	0	2
3	どちらともいえない	2	3	1	2	1	1	1	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	1	0	0	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25	25

科目 鍵盤楽器B (チェンバロ・フォルテピアノ) 授業コード 34204

担当 安井 直子 教室 0

回答した学生 7名

受講登録者 7名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	5
3	80%くらい	1
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強くそう思う	2	5
4	ややそう思う	4	2
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	5	2	6	6	5	4	6	6
4	ややそう思う	1	2	1	1	2	3	1	1
3	どちらともいえない	1	3	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7	7

科目 室内楽（弦） I A～IVA

授業コード 35201

担当 (弦楽器コース教員)

教室 奏楽堂他

回答した学生 16名

受講登録者 49名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	15
4 90%くらい	1
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	16

設問	2	3
5 強くそう思う	15	14
4 ややそう思う	1	2
3 どちらともいえない	0	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	16	16

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	2	5	13	10	13	4	15	15
4 ややそう思う	3	4	2	5	3	9	1	1
3 どちらともいえない	5	3	1	1	0	3	0	0
2 あまりそう思わない	2	2	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	4	1	0	0	0	0	0	0
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0
小計	16	16	16	16	16	16	16	16

科目 オーケストラ I B~IVB、B
(弦楽器)

授業コード 35201

担当 百武 由紀

教室 奏楽堂ステージ、大合奏室

回答した学生 37 名

受講登録者 54 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	30
4 90%くらい	7
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	37

設問	2	3
5 強くそう思う	21	31
4 ややそう思う	13	6
3 どちらともいえない	3	0
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	37	37

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	17	33	25	16	23	15	31	26
4 ややそう思う	8	2	6	12	10	7	5	11
3 どちらともいえない	4	2	6	7	4	6	1	0
2 あまりそう思わない	0	0	0	1	0	5	0	0
1 まったくそう思わない	8	0	0	1	0	4	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	37	37	37	37	37	37	37	37

授業科目	オーケストラ I B～IVB、B				担当者	百武 由紀	
開講時期	後期	曜日	金	時限	3・4・5 限	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

管弦楽に於ける演奏法、表現法について研究・実践し、各演奏会で組まれた楽曲を限られた時間内で高度に仕上げていく。

様々な楽曲に触れ、オーケストレーションの多様性について学ぶ。

合奏に於ける柔軟な奏法を身につける。

2 アンケート結果の所見

オーケストラ授業とは実践に結びついている＝実社会に結びついている授業であると再認識した。

(1) 受講した学生自身について

出席率は非常に良いが生徒により先に繋がる授業になるか否か大きく違ってくる。

(2) 授業について

シラバスが余り見られていないようだ。シラバスの内容により受講するかどうか決めていないようだ。

「指揮者と生徒」と言う特殊な立場であるのでなかなか率直な答えは難しいと思えた。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

現役のオーケストラ・プレイヤーである教官（実社会で活躍している教官）の指導が功を奏している。

(4) 自由記述より学生からの要望について

奏楽堂の様々な不具合

楽器搬入時の危険、空調の音の巨大さと冷暖房の効きの悪さを感じ、異常と思える舞台上の虫の発生に悩まされ、(本年は工事の音もあったが) 周りの雑音にも悩まされたようだ。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

教官の助言を与えるタイミング、回数、方法を考え直す必要がある。

指導者の言動についても改善すべき所に来ている。

4 その他、意見

今の状態では「受け身の姿勢のみ」の授業になっており、自発性を促せるよりよい授業方法を模索する必要がある。

科目 管打学基礎 I A

授業コード 36201

担当 深町 浩司

教室 管打レッスン室

回答した学生 20 名

受講登録者 22 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	19
4 90%くらい	1
3 80%くらい	0
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	20

設問	2	3
5 強くそう思う	17	18
4 ややそう思う	3	1
3 どちらともいえない	0	1
2 あまりそう思わない	0	0
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	20	20

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	5	15	17	13	15	12	17	18
4 ややそう思う	6	5	2	7	4	8	2	1
3 どちらともいえない	8	0	1	0	1	0	1	1
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	1	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	20	20	20	20	20	20	20

科目 管打学基礎ⅡA

授業コード 36202

担当 菰田 勝

教室 大合奏室

回答した学生 23名

受講登録者 18名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	8
4	90%くらい	10
3	80%くらい	5
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		23

設問		2	3
5	強くそう思う	9	12
4	ややそう思う	12	9
3	どちらともいえない	2	2
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		23	23

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		4	5	6	7	8	9	10	11
5	強くそう思う	9	11	12	12	12	11	11	13
4	ややそう思う	6	9	6	7	7	6	9	8
3	どちらともいえない	5	3	5	4	4	5	3	2
2	あまりそう思わない	1	0	0	0	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	2	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		23	23	23	23	23	23	23	23

科目 管楽合奏ⅠB～ⅣB、B

授業コード 36201

担当 武内 安幸

教室 奏楽堂ステージ、大合奏室

回答した学生 94名

受講登録者 93名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	84
4 90%くらい	9
3 80%くらい	1
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	94

設問	2	3
5 強くそう思う	71	68
4 ややそう思う	16	13
3 どちらともいえない	7	11
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	94	94

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業時間は十分だと感じましたか。

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。

9 教室・設備については適切でしたか。

10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。

11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	4	5	6	7	8	9	10	11
5 強くそう思う	40	59	54	52	53	48	60	58
4 ややそう思う	12	14	15	17	19	12	13	16
3 どちらともいえない	23	16	15	14	14	21	14	10
2 あまりそう思わない	5	2	6	5	4	11	4	5
1 まったくそう思わない	12	2	4	6	4	2	2	5
無回答	2	1	0	0	0	0	1	0
小計	94	94	94	94	94	94	94	94

授業科目	管楽合奏			担当者	武内安幸、竹村淳司		
開講時期	通年	曜日	水曜	時限	4,5	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 ウインドオーケストラのためのオリジナル作品・管弦楽の編曲作品を取り上げ、オーケストレーションについて考察する。またウインドオーケストラにおける演奏法を研究し実践する。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 出席日数、授業に意欲的に取り組めたか、授業の内容への関心が高まったかの3項目について、80パーセント以上の回答がポジティブな回答となっている。</p> <p>(2) 授業について ここでは回答にかなりのばらつきが見られる。特にシラバスが授業の選択に役立ったか、教室・設備について適切であったかの2項目は「強く思う」が50パーセントを切っている。次年度にむけて改善が必要である。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 「定期演奏会では楽しく演奏できた」「演奏の機会が増えてよかった」などがあげられる。しかしながら中には教員を嫌う学生もいたのも事実。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 「がんばる」などの前向きな意見もある中、名指しでの教員への不満がことのほか多く見られる。「指導能力に問題がある」「練習や演奏会を後から増やさないでほしい、増えるのなら事前に知らせてほしい」「指導があらゆる面で劣悪である、音楽的に全く関係ない指導、仲の良い学生との馴れ合い、えこひいき。気に入らない学生への個人的な中傷攻撃など」というような意見も事実として出てきている。アンケートでは教員の実名を挙げて記述しているものがほとんどであった。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD） 長期的なりハーサルスケジュールを打ち出し、それに沿って指導をしていく必要性、そして毎週の授業での明確な目的、進め方など、これはもちろん指導に対する学生の反応ということも十分にあるがそれさえも考慮した指導スケジュールの確定、そして教員、学生が一体となった授業を推し進めていく必要性を痛切に感じる。これからの大きな課題である。</p> <p>4 その他、意見 大方の意見は前向きな回答が多かったが中には小さいとは言えない学生の指導者に対する不満が表れている結果であった。 われわれ教員はこのことをしっかりと受け止め、今何が必要か、学生が何を求めているかということに敏感にキャッチして指導に反映させていく必要があると感じた。</p>							

科目 音楽芸術言語（伊語）IA 授業コード 30101

担当 山本アルド・パローネ 教室 図書館視覚室

回答した学生 10名

受講登録者 19名

● 受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	5
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強く思う	3	4
4	やや思う	4	3
3	どちらともいえない	3	3
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

● 授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	1
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		10

設問		5
5	ほぼ時間どおり	10
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		10

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	7	7	8	7	7	7
4	やや思う	1	2	2	1	1	1	2
3	どちらともいえない	0	1	1	1	1	1	1
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	1	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10

教 養 教 育 科 目

科目 哲学A

授業コード 10101

担当 中 敬夫

教室 第5講義室

回答した学生 44名

受講登録者 88名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	16
4	90%くらい	16
3	80%くらい	7
2	70%くらい	4
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		44

設問		2	3
5	強く思う	4	7
4	やや思う	13	16
3	どちらともいえない	16	7
2	あまりそう思わない	6	7
1	まったくそう思わない	5	7
	無回答	0	0
小計		44	44

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	12
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	13
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		44

設問		5
5	ほぼ時間どおり	39
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		44

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	13	14	25	7	19	13
4	やや思う	16	16	13	12	8	8	13
3	どちらともいえない	10	7	6	6	13	13	13
2	あまりそう思わない	6	6	5	1	7	3	1
1	まったくそう思わない	3	2	6	0	9	1	4
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		44	44	44	44	44	44	44

授業科目	哲学 A				担当者	中 敬夫	
開講時期	前期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

本年度前期「哲学 A」のテーマは、「身体論 —— その(1)」である。まず近世哲学の祖と言われる 17 世紀のデカルトの主著『省察』を紹介しながら、「心身問題」をその中心課題の一つとする近世哲学の根本諸問題を検討しつつ、同時にこれに「哲学入門」の役割を担わせる。その後スピノザ、ライプニッツにおける「心身問題」を概観し、最後にマルブランシュにおける「心身問題」と、それに対するメヌ・ド・ビランの批判を見ることによって、後期「哲学 B」への橋渡しとする。

授業の工夫点として、毎回授業の内容を要約したプリントを配って、授業の効率化を図り、またそのプリントの裏には、関連するテキストからの抜粋をコピーして、学生が原典に関心が持てるようにしてある。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席は 80%以上が大多数だった。意欲的に取り組んだかについては、「強くそう思う」と「ややそう思う」の合計が、「どちらともいえない」を若干上回る程度で、それ以下の回答は、両者を少し下回る程度だった。関心が高まったかという問いに対しては、「強くそう思う」と「ややそう思う」の合計が半数以上だった。

(2) 授業について

ほとんどすべての設問で、非常に評価する（「強くそう思う」）、やや評価する（「ややそう思う」）の回答が多かった。評価の低い回答が最も目立ったのは、「コミュニケーション」の設問だった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

哲学に対する興味が深まった、プリントが分かりやすくまとめてあった、授業空間が静かに保たれていた、先生独自の視点等で解説があつてよかった、先生が熱心だった、例が分かりやすかった、等々。

(4) 自由記述より学生からの要望について

7 月に入るまで熱い、人数が多くて座れないことがある、教室が狭い、等々の施設設備に関する苦情が多かった。また、なかには教師の説明が難しいという意見もあった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

「分かりやすい」という意見もあれば「分かりにくい」という意見もあるのは、当然のことかもしれないし、いまのところ評価する意見の方が多様なのだが、改善の余地はありそうで、たとえば問題点をもう少し絞って、少数の論点を集中して説明するなどの工夫をしてみる方がよいかもしれない。

講義系の授業はいつも「コミュニケーション」の問題が出てくるが、昨年も後期の方が、授業中に学生と直接話す機会も増えたようなので、その点もさらに努力したい。

4 その他、意見

いずれ大学の改築・改修あるいは増築(?)が進んだなら、もう少し広い講義室で授業したい。じっさい一時間(90分)の、しかも「哲学」の授業を、ずっと立ったまま聴いていても、集中力が途切れて、疲れてしまうだけだろう……。

具体的な話になるが、デカルトはよく理解して貰えたよう思う。しかしマルブランシュは、専門家以外にはそれほど知られていないせいか、全般に学生には難しかったようだった。アンケートで「分かりにくい」という回答があつたのは、そのせいもあったかもしれない。しかし最後にレポート試験を課すと、今年は例年以上にしっかりしたレポートが多かったので、一定の成果はあつたように思う。意欲が高いときほど要求も高くなる傾向があるようなので、その意味ではアンケート結果それ自身の理解の仕方にも、学ぶべきところはまだあるのかもしれない。

科目 哲学B

授業コード 10101

担当 中 敬夫

教室 講義棟第5教室

回答した学生 17名

受講登録者 55名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	8
3	80%くらい	6
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		17

設問		2	3
5	強く思う	3	5
4	やや思う	5	8
3	どちらともいえない	7	2
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	2	1
	無回答	0	0
小計		17	17

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	6
3	どちらともいえない	1
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		17

設問		5
5	ほぼ時間どおり	16
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		17

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	5	7	10	2	5	7
4	やや思う	4	7	5	7	5	5	6
3	どちらともいえない	2	3	3	0	8	5	4
2	あまりそう思わない	2	2	2	0	1	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		17	17	17	17	17	17	17

授業科目	哲学 B				担当者	中 敬夫	
開講時期	後期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

本年度後期「哲学 B」のテーマは、「身体論 —— その(2)」である。前期「哲学 A」の後を受けて、19 世紀の哲学者メヌ・ド・ビランにおける「身体論」を検討することから始め、その後、20 世紀の哲学者（現象学者）ミシェル・アンリの前期思想におけるビラン解釈を概観し、さらには同じく 20 世紀の哲学者（現象学者）メルロ＝ポンティの「身体論」を紹介して、最後にミシェル・アンリの後期思想における彼自身の「身体論」を検討してゆく。

授業の工夫点として、毎回授業の内容を要約したプリントを配って、授業の効率化を図り、またそのプリントの裏には、関連するテキストからの抜粋をコピーして、学生が原典に関心を持てるようにしてある

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

- ・出席に関しては 100%が 1 名、90%くらいが 8 名、80%くらいが 6 名、70%くらいが 1 名、60%以下が 1 名という結果。意欲に関しては意欲的が 3 名、やや意欲的が 5 名、どちらともいえないが 7 名、まったく意欲的でないが 2 名。興味関心に関してはおおいに高まったが 5 名、やや高まったが 8 名、どちらともいえないが 2 名、あまり高まらなかった、まったく高まらなかったが各 1 名だった。回答した学生のなかでは真面目な者が多かったといえる。

(2) 授業について

- ・全体に「強くそう思う」「ややそう思う」の回答が大多数で、「あまりそう思わない」や「まったくそう思わない」はほとんどが少数意見（2 名以下）だった。そのなかで唯一不満が 3 名を数えたのが、「シラバス」に関する回答だった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・「内容が充実しており難しくも毎回興味深い授業でした」という回答があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・特になかった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

- ・今回は、特に担当教員が現在研究中の問題（＝心身問題）を——もちろんやさしくかみ砕いてではあるが——講義したので、やはり全般的には学生たちには難しかったかもしれない。来年度は「美学」の順番なので、いっそう平易で芸術系大学の学生に馴染みやすい授業を心掛けたいと思う。
- ・シラバスに関する不満があるのは、インターネットを用いては見づらいからという面もあったろう。シラバスは授業の看板のようなものだから、やはり紙媒体で一人一人に配るべきだと思う。大学の方で考えてほしい。

4 その他、意見

- ・いつも思うことだが、今回回答した学生の意見より、途中から出席しなくなった学生の声なき声のことも、考えてゆかなければならないだろう。

科目 日本文化史A

授業コード 10102

担当 二瓶 浩明

教室 第4講義室

回答した学生 42名

受講登録者 56名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	19
3	80%くらい	15
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		42

設問		2	3
5	強く思う	7	8
4	やや思う	16	18
3	どちらともいえない	11	12
2	あまりそう思わない	6	3
1	まったくそう思わない	2	1
	無回答	0	0
小計		42	42

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	13
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		42

設問		5
5	ほぼ時間どおり	34
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	6
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		42

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	25	22	20	25	15	18	22
4	やや思う	9	14	13	11	9	11	13
3	どちらともいえない	6	5	8	4	15	9	5
2	あまりそう思わない	0	1	0	1	0	1	0
1	まったくそう思わない	1	0	1	0	1	1	1
	無回答	1	0	0	1	2	2	1
小計		42	42	42	42	42	42	42

授業科目	日本文化史 A			担当者	二瓶 浩明		
開講時期	2012年度 前期	曜日	金	時限	4	授業様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

今年度のテーマは「外国人の目から見た日本文化」というもので、C・レヴィ＝ストロース、ロラン・バルト、ドナルド・キーン、アルバン・ベルク、モーリス・パンゲ、ルース・ベネディクト、李御寧、C・ダグラス・スミス等を取り上げた。

景気の減退や人口減という理由や、また、さまざまな災厄に襲われたり、実効力ある政治もすることができずに、日本人は自分の国の将来に悲観し、苦しんでいる。一体、日本という国は、日本の文化は外からどのように見られ、評価されているのか？そのことを知ることは、先へ進むためにとても重要なことだ。自分の国の長所と短所を知り、自信を取り戻すきっかけになることを信じている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

授業中にケータイをいじったり、雑談をする学生は、格別珍しくもないし、毎回存在すると言ってもよいのだが、今年は何度注意しても、話をやめない者が、何人かいたのには閉口した。質の悪い困った連中が受講者のなかに紛れ込んでしまったようだ。もちろん、注意を与え、授業はそれなりに遂行したのであるが、微妙に雰囲気良くないままだ。こうしたことが数回あった。これはおそらく私の方に原因があるのではなく、知的な意欲にも乏しく、精神的にも弛緩している何人かの学生の側に問題があるのだろう。問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」に対し、42名の回答中「あまりそう思わない」が3名、「まったくそう思わない」が1名いて、ゲンナリ。こういう連中も、中にはいるということ、これは仕方のないことだ。数年に1度くらい、こういうイヤな目にあう。

(2) 授業について

「悪貨は良貨を駆逐する」、良くない態度の者を放っておけば、授業は成立しない。ちゃんと注意をして、こちらに興味を持たせることが大切なのだが、教員の話なんぞ聞かずに、ほとんどの学生が寝ていたり、お喋りしていたりする授業は、案外に多いのではないかと思われる。私にとっては、今年はこの授業だけ（と言っても、数回だけだが）イヤ～な感じに襲われた。案の定、いましたよ。問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、42名中、「強くそう思う」が23名、「ややそう思う」が13名、「どちらともいえない」が5名、「あまりそう思わない」0名、「まったくそう思わない」1名、という具合。いやはや、こういうこともあると納得しようか。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「話が分かりやすく、面白かったです」「先生がとってもおもしろいです」「日本人であること、外国人から見た日本人、ということについて興味深いお話を伺えてよかったです」「個人的には、実技の授業の方にも、ヒントをえてフィードバックできたのでたいへんたすかります」「授業内容、プリントが興味深い」「授業に引き込まれます」「貴重な先生だと思います」「先生のジェスチャーが面白かった」

こういう風に言ってくれて、私は嬉しい！全員に好かれようと思うのは、やはり無理があるよね～。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「あつい」そうだ。

私も暑い。

本学の施設、設備については、もはやどんな言うべき言葉もない。

「もう少し広い教室を用意して頂けるといいなあと思います（後期の抽選が不安です・・・）」

後期には、アホが来ないと良いのだが。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

これからもちゃんとするつもり。

4 その他、意見

格別なし。

科目 日本文化史B

授業コード 10102

担当 二瓶 浩明

教室 講義棟第4教室

回答した学生 37名

受講登録者 71名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	11
4	90%くらい	7
3	80%くらい	12
2	70%くらい	6
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		37

設問		2	3
5	強く思う	7	15
4	やや思う	16	13
3	どちらともいえない	9	7
2	あまりそう思わない	2	1
1	まったくそう思わない	3	1
	無回答	0	0
小計		37	37

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	17
4	やや思う	10
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		37

設問		5
5	ほぼ時間どおり	33
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		37

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	28	26	27	31	20	20	24
4	やや思う	5	7	8	4	10	8	10
3	どちらともいえない	4	3	2	2	7	8	3
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		37	37	37	37	37	37	37

授業科目	日本文化史 B				担当者	二瓶 浩明		
開講時期	2012年度 後期	曜日	金	時限	4	授業様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	
1 この授業における教育方法の特徴								
<p>今年度のテーマは「日本人の目から見た日本文化」というもので、前期の「外国人の目から見た日本文化」というテーマと対応し、複眼的、総合的な思考方法を育成することを目標としている。和辻哲郎「風土」、九鬼周造「「いき」の構造」、岡倉天心「茶の本」、鈴木大拙「禅と日本文化」、柳田国男「木綿以前の事」、坂口安吾「日本文化私観」、柳宗悦「民芸四十年」、谷崎潤一郎「陰翳礼讃」、加藤周一「日本社会・文化の基本的特徴」、多田道太郎「しぐさの日本文化」、土居健郎「甘えの構造」、丸山真男「日本の思想」等を取り上げた。</p> <p>私たちが生きている日本とはどのような国なのか。その文化的特質は何なのか。美点、欠点について考えることにより、あらためて世界的な規模で、自国の文化を問い直そうとする試みであるが、学生たちはそれぞれに十分な問題意識をもって思考してくれたようで嬉しく思っている。</p>								
2 アンケート結果の所見								
(1) 受講した学生自身について								
<p>回答者37名中、問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」という問いに対して、「強くそう思う」が15名、「ややそう思う」が13名、「どちらともいえない」が7名いて、「あまりそう思わない」1名、「まったくそう思わない」1名を除けば、まあ、こんなところだろう、と、ほぼ推測通りの結果が返ってきており、とりあえずはホッとしている。とはいえ、この結果については、格別の喜びも感慨も持っていないというのが実情に近い。今年前期の授業ではちょっとゲンナリするところがあったが、後期は静かに聞く態度が多少高まったかもしれないと思う。</p>								
(2) 授業について								
<p>回答者37名中、問5「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対し、「強くそう思う」28名、問6「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対し、「強くそう思う」26名、問8「教員の説明の仕方はわかりやすかったですか」は「強くそう思う」27名、問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対し、「強くそう思う」が31名いた。問10ならびに問11は省略するが、問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」に対しては「強くそう思う」が24名、「ややそう思う」が10名、「どちらともいえない」が3名おり、まあ、良い授業だったのであろうと、学生たちの評価からは判断されることに安堵している。</p>								
(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて								
<p>「先生がいろんな表現を交えて授業をしてくださるのでとても楽しいです。」「日本人であること、普段気付かない日本ならではの習慣やくせ等、あらためて気付くことができ、良かったです。」「いろいろな作家やその人たちの意見、考えがわかって良かったです。」</p> <p>以上が、3件すべての自由記述。</p>								
(4) 自由記述より学生からの要望について								
<p>授業への改善要望、施設設備への要望については、記述がなかった。</p>								
3 今後の授業の工夫・改善 (FD)								
<p>これからもちゃんとするつもり。</p>								
4 その他、意見								
<p>格別なし。</p>								

科目 外国文学A

授業コード 10103

担当 内田 善孝

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 29名

受講登録者 44名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	14
4	90%くらい	9
3	80%くらい	3
2	70%くらい	3
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		29

設問		2	3
5	強く思う	5	12
4	やや思う	16	14
3	どちらともいえない	7	2
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	0
小計		29	29

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	10
4	やや思う	12
3	どちらともいえない	5
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		29

設問		5
5	ほぼ時間どおり	22
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	2
	無回答	0
小計		29

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	19	11	18	19	10	4	13
4	やや思う	8	13	8	8	11	9	14
3	どちらともいえない	2	5	3	2	6	10	2
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	2	5	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		29	29	29	29	29	29	29

授業科目	外国文学 A				担当者	内田善孝		
開講時期	前期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

福音書を読みながらキリスト教美術を鑑賞していく中で、これまでの常識と異なることもあり得るということ学ぶ。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

一度も休まなかった学生が 48%、8 割以上の出席が 42%と、ほとんどの学生が意欲的にこの授業に参加しているのが分かる。「意欲的に取り組んだか」については、「強く思う」、「ややそう思う」が 82%を占め、積極的に授業に出席していたことが分かる。

(2) 授業について

授業後の関心の高まりについても、「強く思う」、「ややそう思う」で 89%を占め、ほとんどの学生が福音書やキリスト教美術に今後興味を持ちたいと思っているのが分かる。「教員の話し方」、「説明の仕方」、「よく準備がされていたか」については、「強く思う」、「ややそう思う」で、それぞれ 93%、90%、93%です。授業形式は講義となっていますが、毎回学生に質問をして、考える授業をめざしました。学生に疑問を抱かせ、常識にとらわれず、疑うことの大切さを教えようとしてしました。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・本当に基礎的なところから、キリスト教について学べて、とてもわかりやすかった。こういう授業を望んでいた。
- ・講義を開いた後に、それにまつわる宗教絵画を見せてもらえるため、理解も深まったし、わらに興味がました。
- ・分かりやすい授業で今までまったく知らなかったことを知ることができたし、関心を持つことができた。
- ・たくさん絵がみれる！！
- ・授業の最後にいつも関連のある絵画を見れるのが良い。先生の説明も分かりやすくて良い。
- ・毎回たくさんスライドを見せてもらったので、授業の内容がより印象深く残り興味ももてた。特に重要なことを線引くように言ってくれるから後から見直しやすい。先生も優しくて好き！
- ・最初は外国文学って名前前の授業なのに聖書と聖画オンリー！？と思ったけど、外国文学を読んでゆく上で聖書って絶対ふまえておくほうが理解が深まるので（西洋のベースっぽいところがあるので）基礎として学ぶ機会があったことはよかったなと思います。
- ・分かりやすいし、楽しいです。
- ・話は分かり易く、スライドもおもしろかった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・もっと映画みたかった。
- ・外国文学→新約聖書学
- ・左ききなので机がつかいにくい。
- ・この部屋のイスは座りづらい。
- ・教室の湿気、においのこもり方がすごい。むし暑い。だから換気せんをつけてほしい。
- ・大勢の人数が入ると空気がこもって息苦しいので換気できるようにしてほしいです。とっても必要だと思います。
- ・湿度が凄いです。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

4 その他、意見

来年 2103 年 3 月で退任です。常識や流行にとらわれないうで、学生が「幻」を見れるようになり、「幻視者」となれば、この授業の意味がありました。

科目 外国文学B

授業コード 10103

担当 内田 善孝

教室 講義棟第5教室

回答した学生 19名

受講登録者 28名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	8
3	80%くらい	5
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		19

設問		2	3
5	強く思う	6	8
4	やや思う	9	7
3	どちらともいえない	4	4
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		19	19

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		19

設問		5
5	ほぼ時間どおり	13
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		19

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	13	14	15	14	12	2	12
4	やや思う	3	4	3	4	3	6	6
3	どちらともいえない	2	1	1	1	4	3	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	5	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		19	19	19	19	19	19	19

授業科目	外国文学 B				担当者	内田善孝		
開講時期	後期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

ボードレールの『悪の花』の数編の詩を読む授業です。芸術大学の学生が対象なので、詩と関連する美術作品を準備し、視覚的に詩を説明するよう工夫しています。

もうひとつの工夫は、参加型の授業です。私が詩の解釈をする前に、学生に質問の用紙を配布し、きちんと問題の詩を読み、質問に答え、ある程度自分の考えを整理する時間をとってあります。そのあとで学生に質問をしながら、解釈を進めます。こうすれば学生は聞くだけの受け身的な授業ではなく、考える授業になります。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

90%以上出席した学生がほとんどで、それに続き 80%以上出席した学生が少しいます。コンサート出演など、学校の行事で欠席せざるを得ない場合があることを考慮すると、出席状況はとっても良いと思います。

(2) 授業について

授業を受けた後の授業への関心は 79%が「強く・ややそう思う」となっています。さらに「授業をよく準備しているかどうか」、「資料は見やすいか」、「教員の説明」の設問に対し、ほとんどが「強くそう思う」を選んでいます。ということは授業が分かりやすく準備され、説明されているので、学生は関心を持って授業に参加しているのだと思います。「授業全体の評価」は 95%が「強く・ややそう思う」で、学生が満足しているのが分かります。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

たくさん絵の写真を見せてもらいながら、その時代の説明などもしていただいて、わかりやすく、より興味をもった。

- ・文学作中の中でもとてもレベルの高いものに触れられたこと。
- ・資料が多いこと。特に写真。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・冬、暖房がつくまでの間、とても寒かった。
- ・一時期、暖房がつかなくてとても寒かった。使っている教室はちゃんと把握してほしい。
- ・5時間目が始まると、エアコンがきれる時があつて寒かった。
- ・暖房が入らなかった時は本当に死んでしまうかと思いました。
- ・寒かった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

4 その他、意見

科目 言語学A

授業コード 10104

担当 井土 慎二

教室 第3講義室

回答した学生 19名

受講登録者 26名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	11
4	90%くらい	5
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		19

設問		2	3
5	強く思う	1	4
4	やや思う	11	10
3	どちらともいえない	5	5
2	あまりそう思わない	2	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		19	19

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		19

設問		5
5	ほぼ時間どおり	17
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		19

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	10	4	7	11	6	9	8
4	やや思う	7	8	7	6	9	5	9
3	どちらともいえない	1	5	4	2	2	3	2
2	あまりそう思わない	1	2	1	0	2	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	1	0
小計		19	19	19	19	19	19	19

授業科目	言語学 A				担当者	井土慎二	
開講時期	前期	曜日	月	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

言語学の基本概念を理解し、個別の言語の理解や習得に資する。
言語学の基本概念(音素、形態素、句、等)を理解する

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

科目に関心が無いまま履修登録をした学生の割合が二年前と比べて少し多いと感じた。

(2) 授業について

(1)での所見に記した内容にもかかわらず高評価である。これは講師が興味がないにもかかわらず履修をした学生にも、面白くそして分かりやすく受けられるような講義の準備に多大な労力及び時間と努力を払っているためであると感じる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

「良かった点」が多岐にわたっており、多くの面に特長がある講義であることを示していると感じる。

(4) 自由記述より学生からの要望について

言語変化について知りたいとの要望があったが、言語変化はシラバスに記してあるとおり、言語学 B で扱う内容である。

テストが気になるようである。授業に（出席ではなく）参加していればできる問題しかテストには出ないので、それを伝えることにする。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

自由記述にも指摘があったが、本科目の講義内容は、講師が分かりやすくする努力をしても、本学の一年生の半分にとっては理解に困難が伴うようだと感じた。対象年次を二年次以降に戻すことで対処する。

4 その他、意見

特になし。

科目 言語学B

授業コード 10104

担当 井土 慎二

教室 講義棟第3教室

回答した学生 12名

受講登録者 17名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	8
3	80%くらい	4
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		12

設問		2	3
5	強く思う	2	7
4	やや思う	7	4
3	どちらともいえない	2	1
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		12	12

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	1
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	4
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		12

設問		5
5	ほぼ時間どおり	12
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		12

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	8	5	7	8	8	6	8
4	やや思う	3	4	3	3	4	3	3
3	どちらともいえない	1	2	2	1	0	1	1
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	0	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		12	12	12	12	12	12	12

授業科目	言語学 B			担当者	井土慎二		
開講時期	後期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

言語学内の様々な分野を概観し、個別の言語の理解に資することを目的とし、言語学の言語学の各分野がどのような問題に取り組んでいるかを理解することを目標とする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

言語学Aを受講済みでない学生の参加があった。受講生登録者には言語学が自然科学的な興味と手法をもって言語を探求する分野であることが了解できるようにオリエンテーションを行った。このため、出席する学生には言語学A開講時のように文学的な興味を持って受講を決めたように見える学生が少なく、興味を持って受講をする学生が相対的に多かった。ただし、まったく興味を持たないように見え、授業に参加しないが何らかの理由で出席している学生もいた。

(2) 授業について

全般的に評価が高く、教員の授業改善の努力が評価に反映されたと感じる。また、教室や設備はテレビ設置後かなり使いやすくなったとはいえ、音声や映像を多用するこの講義には講師のラップトップやその周辺機器の更新が必要だと感じた。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

受講人数が比較的少ないために授業の質が大きく高まったと感じる。

(4) 自由記述より学生からの要望について

A4プリントに内容や本来A2やA1サイズの表などを詰め込みすぎているとは感じる。これは講師のプリンターがA4であるため、A3以上の大きさで配布物を作成できない所為である。これには講師もストレスを感じているので、数年内に教育環境の整備として大型のプリンターを準備したい。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

説明の補助となる音声や映像関連の機器の充実を図る。言語学がどのような分野であるかをオリエンテーションで分かりやすく説明する。

4 その他、意見

特になし。

科目 仏教学A

授業コード 10105

担当 高井 恭子

教室 第6講義室

回答した学生 41名

受講登録者 51名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	13
4	90%くらい	18
3	80%くらい	5
2	70%くらい	4
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		41

設問		2	3
5	強く思う	14	26
4	やや思う	12	13
3	どちらともいえない	14	2
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		41	41

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	11
4	やや思う	16
3	どちらともいえない	14
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		41

設問		5
5	ほぼ時間どおり	39
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		41

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	37	23	33	39	23	27	34
4	やや思う	3	12	7	2	9	9	7
3	どちらともいえない	0	5	1	0	7	4	0
2	あまりそう思わない	1	0	0	0	1	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	1	0	0	0	0	0
小計		41	41	41	41	41	41	41

科目 仏教学B

授業コード 10105

担当 高井 恭子

教室 講義棟第6教室

回答した学生 32名

受講登録者 41名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	9
4	90%くらい	15
3	80%くらい	6
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		32

設問		2	3
5	強く思う	16	25
4	やや思う	11	5
3	どちらともいえない	4	2
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		32	32

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	14
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	7
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		32

設問		5
5	ほぼ時間どおり	32
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		32

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	31	21	25	29	20	14	29
4	やや思う	1	8	5	2	5	9	2
3	どちらともいえない	0	2	2	1	4	8	1
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	2	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		32	32	32	32	32	32	32

科目 日本史A

授業コード 10106

担当 勝亦 貴之

教室 第6講義室

回答した学生 30名

受講登録者 51名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	8
4	90%くらい	14
3	80%くらい	4
2	70%くらい	4
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		30

設問		2	3
5	強く思う	6	10
4	やや思う	13	12
3	どちらともいえない	6	5
2	あまりそう思わない	3	2
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	1	0
小計		30	30

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	13
4	やや思う	9
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		30

設問		5
5	ほぼ時間どおり	26
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		30

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	19	16	18	21	11	16	18
4	やや思う	6	10	7	5	6	8	6
3	どちらともいえない	4	4	4	4	5	5	6
2	あまりそう思わない	1	0	1	0	3	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	5	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		30	30	30	30	30	30	30

科目 日本史B

授業コード 10106

担当 勝亦 貴之

教室 講義棟第6教室

回答した学生 25名

受講登録者 46名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	9
3	80%くらい	10
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		25

設問		2	3
5	強く思う	4	9
4	やや思う	13	12
3	どちらともいえない	8	4
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		25

設問		5
5	ほぼ時間どおり	17
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		25

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	14	13	14	13	7	6	12
4	やや思う	4	8	6	5	7	8	8
3	どちらともいえない	7	4	5	7	11	9	4
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	2	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25

科目 日本国憲法
(美術)

授業コード 10107

担当 築山 欣央

教室 新講義棟大教室

回答した学生 52名

受講登録者 58名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	17
4	90%くらい	23
3	80%くらい	10
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		52

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	11	6
4	やや思う	20	17
3	どちらともいえない	14	19
2	あまりそう思わない	4	6
1	まったくそう思わない	3	4
	無回答	0	0
小計		52	52

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	10
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	23
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		52

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	37
4	延長することが多い	12
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		52

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	23	22	21	26	6	25	17
4	やや思う	17	19	18	17	11	14	22
3	どちらともいえない	8	8	11	7	29	11	13
2	あまりそう思わない	4	3	2	2	4	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		52	52	52	52	52	52	52

科目 日本国憲法

授業コード 10107

担当 築山 欣央

教室 新講義棟大教室

回答した学生 86名

受講登録者 109名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	24
4	90%くらい	43
3	80%くらい	17
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		86

設問		2	3
5	強く思う	25	26
4	やや思う	34	25
3	どちらともいえない	21	22
2	あまりそう思わない	4	9
1	まったくそう思わない	2	4
	無回答	0	0
小計		86	86

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	29
4	やや思う	21
3	どちらともいえない	26
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	6
	無回答	0
小計		86

設問		5
5	ほぼ時間どおり	71
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	8
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		86

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	44	42	35	53	26	47	37
4	やや思う	20	23	24	18	18	19	26
3	どちらともいえない	14	13	17	14	31	18	16
2	あまりそう思わない	5	4	7	1	5	2	5
1	まったくそう思わない	2	4	3	0	6	0	2
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		86	86	86	86	86	86	86

科目 心理学A

授業コード 10108

担当 三宮 敦生

教室 第1講義室

回答した学生 76名

受講登録者 92名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	32
4	90%くらい	26
3	80%くらい	11
2	70%くらい	5
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		76

設問		2	3
5	強く思う	35	42
4	やや思う	21	29
3	どちらともいえない	18	4
2	あまりそう思わない	2	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		76	76

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	31
4	やや思う	25
3	どちらともいえない	17
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		76

設問		5
5	ほぼ時間どおり	65
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	7
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		76

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	69	55	64	65	38	54	58
4	やや思う	6	18	9	8	15	15	12
3	どちらともいえない	1	2	2	3	16	5	6
2	あまりそう思わない	0	1	1	0	4	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	3	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		76	76	76	76	76	76	76

授業科目	心理学 A				担当者	三宮敦生		
開講時期	前期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技・実習

1 この授業における教育方法の特徴

本授業の目標は、メンタルヘルスをめぐる諸問題について理解し、その知見を日常生活に活かすことができることである。到達目標は以下の5点である。1)ビッグファイブ理論を利用して、性格とメンタルヘルスの関連を理解する。2)ストレスの概要について、心理学的観点から理解する。3)精神病理の概要を述べることができる。4)認知行動療法について述べるができる。5)いくつかの簡単な心理テストを通して、自分への理解が深まる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について(回答者 69 名、出席率 80%未満の者を除いた結果に基づく)

- ・出席率 90%以上の受講者が 82%であった。全体的に出席率は良好であったと思われる。
- ・「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」に対して、「強くそう思う」が 48%、「ややそう思う」が 29%であった。両者を加えると 77%ということで、かなり意欲的な受講態度であったと思われる。
- ・「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」に対して、「強くそう思う」が 57%、「ややそう思う」が 38%であった。この授業は受講者の興味・関心を高めるのに成功したと言えると思われる。

(2) 授業について

- ・「シラバスは授業の選択に役立ちましたか」に対して、「強くそう思う」が 41%、「ややそう思う」が 32%、「どちらともいえない」が 23%であった。約三分の二強の受講者にシラバスは役立っていたようである。
- ・「授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか」に対して、「ほぼ時間どおり」が 87%であった。
- ・「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 91%、「ややそう思う」が 9%であった。話し方やスピードは十分適切だったと思われる。
- ・「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 73%、「ややそう思う」が 25%であった。大人数の授業の割には板書への不満は少なかった。
- ・「教員の説明の仕方は分かりやすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 86%、「ややそう思う」が 12%であった。受講者はこの授業をよく理解していたといえる結果である。
- ・「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対して、「強くそう思う」が 87%、「ややそう思う」が 10%であった。教員の熱意が受講者に十分伝わっていたといえる結果である。
- ・「教員とコミュニケーションはとれていましたか」に対して、「強くそう思う」が 48%、「ややそう思う」が 22%、「どちらともいえない」が 20%であった。大人数の講義にしては、健闘している結果だと思われる。
- ・「教室・設備については適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 73%、「ややそう思う」が 20%であった。昨年度より机と椅子が一新されたことのよい影響が見て取れる。
- ・「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」に対して、「強くそう思う」が 77%、「ややそう思う」が 16%であった。両者を併せて 93%ということでまずまずの結果だと思われる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・「いろいろな心理療法などが勉強できてよかったです」、「心理テストがたくさんあっておもしろかったです」、「毎回、前回のプリントを休んだ人のために再配布してもらえた点が非常に有難かった」等の声が寄せられた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・「もう少し広い教室で授業して欲しい」という意見が 1 件寄せられた。しかし、同じ時間帯に新講義棟大教室は使われており、講義棟第 1 教室で授業をするほかなかった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

- ・今年度の心理学 A はまずまず狙いどおりの授業ができたし、学生の評価もそれを反映していると思われる。今後への課題をあげるとすれば、論理療法や認知療法についての話題をもう少し増やしたい。そうすることで学生のセルフヘルプに役立つ内容としていきたい。

4 その他、意見

- ・特になし。

科目 心理学B

授業コード 10108

担当 三宮 敦生

教室 講義棟第1教室

回答した学生 56名

受講登録者 76名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	23
4	90%くらい	22
3	80%くらい	10
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		56

設問		2	3
5	強く思う	39	45
4	やや思う	12	8
3	どちらともいえない	5	1
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	1
小計		56	56

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	32
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	12
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		56

設問		5
5	ほぼ時間どおり	50
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		56

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	53	49	51	52	38	38	48
4	やや思う	3	5	5	4	9	12	8
3	どちらともいえない	0	2	0	0	5	6	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	2	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		56	56	56	56	56	56	56

授業科目	心理学 B			担当者	三宮敦生		
開講時期	後期	曜日	水	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴							
この授業では、主として社会心理学における対人関係分野を扱った。その内容を具体的に述べると援助行動、攻撃行動、印象形成、自己、ノンバーバル・コミュニケーション、説得的コミュニケーション、対人魅力、青年期の人間関係などである。授業形態は典型的な講義形式であるが、毎時間簡単な心理テストを課して、自分自身を知る助けとした。また、理論的な内容は徹底的に図解して解説することにより、理解の促進と定着を図った。							
2 アンケート結果の所見(回答者 55 名、出席率 80%未満の者を除いた結果に基づく)							
(1) 受講した学生自身について							
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 90%以上の受講者は 82%であった。後期の 5 限の授業としては、出席率はまずまずかと思われる。 ・「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」に対して、「強くそう思う」が 69%、「ややそう思う」が 22%であった。まずは意欲的な受講態度であったと思われる。 ・「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」に対して、「強くそう思う」が 80%、「ややそう思う」が 14%であった。受講者は授業内容に興味・関心を十分示してくれたと思われる。 							
(2) 授業について							
<ul style="list-style-type: none"> ・「シラバスは授業の選択に役立ちましたか」に対して、「強くそう思う」が 56%、「ややそう思う」が 15%、「どちらともいえない」が 22%であった。この質問は、「シラバスどおりに授業は行われましたか」といったものに変更する方がよいと思われる。 ・「授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか」に対して、「ほぼ時間どおり」が 89%であった。この授業は、前の時間の教育心理学と連続であるため、3 分程度遅刻することが多かった。この点を次年度は気をつけたい。 ・「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 95%、「ややそう思う」が 5%であった。話し方とスピードは十分に適切であったと思われる。 ・「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 87%、「ややそう思う」が 9%であった。板書中心の授業であるが、その点で黒板の小ささが気になることが多かった。できれば、上下二段式の黒板が有難い。 ・「教員の説明の仕方は分かりやすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 91%、「ややそう思う」が 9%であった。この授業はまずまず分かりやすい授業であったといえる。 ・「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対して、「強くそう思う」が 93%、「ややそう思う」が 7%であった。教員側の熱意は十分に伝わったと思われる。 ・「教員とコミュニケーションはとれていましたか」に対して、「強くそう思う」が 67%、「ややそう思う」が 18%であった。講義形式の授業としては、これはまずまずの結果であると思われる。授業冒頭で、前回の授業のコメントペーパーに対するレスポンスをするように心がけたことが一定の評価を得たものと思われる。 ・「教室・設備については適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 67%、「ややそう思う」が 22%であった。授業をする側としては、教室・設備が適切とは思えないが、「強くそう思う」が 67%もいることは驚きである。 ・「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」に対して、「強くそう思う」が 85%、「ややそう思う」が 15%であった。この結果はまずまずであったと思われる。 							
(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて							
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業中の私語がなかった」、「心理テストが楽しかった」、「テーマに関心を持てた」といった感想が寄せられた。学生にとって身近なトピックスを扱うことを心がけたが、その狙いはある程度成功したようである。 							
(4) 自由記述より学生からの要望について							
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントが少し見にくいという声が 1 件あった。 							
3 今後の授業の工夫・改善 (FD)							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の精選にさらに工夫を加えていきたい。例えば進化心理学の知見などもう少し加えたい。 							
4 その他、意見 特になし							

科目 数学A

授業コード 10109

担当 加納 成男

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 23名

受講登録者 56名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	12
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	1
小計		23

設問		2	3
5	強く思う	0	2
4	やや思う	5	3
3	どちらともいえない	6	5
2	あまりそう思わない	4	4
1	まったくそう思わない	8	9
	無回答	0	0
小計		23	23

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	5
	無回答	0
小計		23

設問		5
5	ほぼ時間どおり	14
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	8
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		23

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	5	2	6	0	4	2
4	やや思う	7	5	4	5	8	5	7
3	どちらともいえない	10	5	8	7	5	8	5
2	あまりそう思わない	2	5	5	4	2	5	6
1	まったくそう思わない	0	2	4	0	8	1	3
	無回答	0	1	0	1	0	0	0
小計		23	23	23	23	23	23	23

科目 数学B

授業コード 10109

担当 加納 成男

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 36名

受講登録者 60名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	12
3	80%くらい	15
2	70%くらい	2
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		36

設問		2	3
5	強く思う	2	2
4	やや思う	11	12
3	どちらともいえない	16	14
2	あまりそう思わない	3	3
1	まったくそう思わない	4	5
	無回答	0	0
小計		36	36

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	10
3	どちらともいえない	14
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	6
	無回答	0
小計		36

設問		5
5	ほぼ時間どおり	23
4	延長することが多い	5
3	開始が遅いことが多い	7
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		36

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	10	9	10	13	5	5	7
4	やや思う	12	10	7	9	9	9	10
3	どちらともいえない	10	12	9	9	12	16	13
2	あまりそう思わない	1	2	6	2	3	3	3
1	まったくそう思わない	3	3	4	3	7	3	3
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		36	36	36	36	36	36	36

科目 自然科学史A

授業コード 10110

担当 吉山 青翔

教室 第3講義室

回答した学生 7名

受講登録者 15名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	5
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強く思う	2	2
4	やや思う	1	1
3	どちらともいえない	2	3
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	1
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	2
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		7

設問		5
5	ほぼ時間どおり	5
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		7

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	2	2	3	5	2	2	1
4	やや思う	4	3	2	1	0	0	4
3	どちらともいえない	0	1	0	1	4	4	1
2	あまりそう思わない	1	1	2	0	0	0	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7

科目 自然科学史B

授業コード 10110

担当 吉山 青翔

教室 講義棟第3教室

回答した学生 4名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	3
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		4

設問		2	3
5	強く思う	2	3
4	やや思う	2	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		4	4

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	1
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		4

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		4

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	3	4	3	4	3	3	3
4	やや思う	1	0	1	0	0	1	1
3	どちらともいえない	0	0	0	0	1	0	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		4	4	4	4	4	4	4

科目 基礎物理学A

授業コード 10111

担当 馬宮 孝好

教室 物理化学実験室

回答した学生 17名

受講登録者 40名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	5
3	80%くらい	6
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		17

設問		2	3
5	強く思う	2	1
4	やや思う	6	6
3	どちらともいえない	7	6
2	あまりそう思わない	1	2
1	まったくそう思わない	1	2
	無回答	0	0
小計		17	17

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	1
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	5
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		17

設問		5
5	ほぼ時間どおり	12
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		17

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	1	1	2	4	2	3	2
4	やや思う	5	3	5	6	3	3	4
3	どちらともいえない	7	8	4	5	10	6	8
2	あまりそう思わない	2	2	2	0	0	4	0
1	まったくそう思わない	2	3	4	1	2	1	3
	無回答	0	0	0	1	0	0	0
小計		17	17	17	17	17	17	17

科目 基礎物理学B

授業コード 10111

担当 馬宮 孝好

教室 物理化学実験室

回答した学生 18名

受講登録者 49名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	9
3	80%くらい	3
2	70%くらい	3
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		18

設問		2	3
5	強く思う	5	5
4	やや思う	8	10
3	どちらともいえない	4	2
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	1	0
小計		18	18

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		18

設問		5
5	ほぼ時間どおり	13
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	1
小計		18

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	5	3	3	3	2	1	3
4	やや思う	6	4	4	10	9	0	6
3	どちらともいえない	4	8	8	4	6	8	8
2	あまりそう思わない	2	2	2	0	0	5	1
1	まったくそう思わない	1	1	1	0	0	4	0
	無回答	0	0	0	1	1	0	0
小計		18	18	18	18	18	18	18

科目 基礎化学A

授業コード 10112

担当 清道 正嗣

教室 物理化学実験室

回答した学生 6名

受講登録者 10名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	1
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		6

設問		2	3
5	強く思う	2	2
4	やや思う	1	2
3	どちらともいえない	3	2
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	1
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		6

設問		5
5	ほぼ時間どおり	5
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		6

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	4	3	5	4	3	3
4	やや思う	2	2	2	0	2	3	2
3	どちらともいえない	0	0	0	1	0	0	1
2	あまりそう思わない	0	0	1	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	6	6	6	6

授業科目	基礎化学 A				担当者	清道 正嗣	
開講時期	前期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

化学の知識の伝達ではなく、科学的な見方・考え方を身につけることを目指した。小学校から高等学校の間に理科・算数で学んだ知識のうちいくつか取り上げ、それらの意味を再確認するとともに使い方を体験させることによって、科学的な見方に学生がなじめるようにした。また実験レポートを通じて、事実（根拠）と主張を区別して、自分の意見を書けるように訓練した。

2 アンケート結果の所見

以下の文中の数字は、アンケート回答選択肢を点数化したものの平均値である。ただアンケートに回答した受講生が6人しかいなかったため、数値はあまりあてにならない。

(1) 受講した学生自身について

設問2「意欲的な取り組み」は3.8（ややそう思う）程度であった。実際、少人数であるにもかかわらず、皆勤の学生は50%以下であった。設問3「興味関心が高まったか」が4（ややそう思う）であり、可もなく不可もない平均的な受講生であった。

(2) 授業について

設問6-10の平均が4.6、このうち設問8の「説明の仕方がわかりやすかったか」が4.2と最低値であった。設問12は4.3であった。受講生の数が少ないので一名の意見で値が大きく変わるが、学生にとっては、全体として普通の講義であったらしい。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

人数が少なかつたせいか、肯定的な感想が5つ書かれていた。前半の科学的な見方用の内容を、「興味を引く」「おもしろい」と評価していた。「図説が見やすくわかりやすかった」という意見もあった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

(3)に挙げた例に反対の「もう少し簡単に説明してほしい」という意見があった。扱っている内容からこれ以上簡単にはならないと思う。ただ講義中に聞いたところ、指数・対数を習っていないということであったので、この点に関しては説明を加えることが可能である。

「もっといっぱい実験をしたい」という意見があったが、この授業が「講義」であることと授業回数から考えて無理である。

「全体的に広く浅くという印象でした」という意見があった。そういうことを目指している授業なので、これは問題点と言うより、計画通りである。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

受講者を増やすための工夫として、来年度開講時間を変えてみる。「美学・哲学」が開かれなかった年は、受講生があふれたので、開講時間帯によっては、もう少し多くの学生に科学リテラシーの初歩を教育できるのではないかと思う。

4 その他、意見

「シラバスは役に立ったか」ではなく、「なぜこの授業をとったか」という質問を作ってほしい。その方が上記2のアンケート結果を理解する助けになると思う。

科目 基礎化学B

授業コード 10112

担当 清道 正嗣

教室 物理化学実験室

回答した学生 4名

受講登録者 14名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	1
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		4

設問		2	3
5	強く思う	2	2
4	やや思う	1	1
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		4	4

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	0
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	2
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		4

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		4

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	1	2	1	2	2	0	2
4	やや思う	2	1	2	1	1	0	1
3	どちらともいえない	1	1	1	1	1	4	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		4	4	4	4	4	4	4

授業科目	基礎化学 B				担当者	清道 正嗣	
開講時期	後期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>美術系学生に関係のある科学分析や物性と、社会生活に大切である薬理効果を題材に、化学・科学に興味を持たせることを目指して行っている。特に物性についてはガラス工作を実際に行わせ、化学結合・三態と相の概念に興味を持たせることを目指している。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>アンケート回答者が4名と極めて少ないので、平均的な評価をアンケートから得ることはできなかった。以下では、ほとんどの回答が「強くそう思う」「ややそう思う」であり、なにもアンケートから得られたとは言えない。</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>音楽学部所属学生が多い割には、興味を持ってもらえたようである。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>設備（空調）以外には低評価がなかった。受講生が少なすぎて、教師に遠慮しているのかもしれない。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>「ガラス細工が楽しかった」「可視光線の話は、とても自分の分野に関係しており大変興味がわきました。バイトをヴェネチアンガラスの雑貨店にするきっかけになりました」。というように受講人数が極めて少ないためか教員に阿ったように見える意見があった。</p> <p>前者は実習が含まれる場合によく見られる感想であり、後者は無理矢理ではあるが好意的な感想ではないかと思う。よって今回の講義は、科学教育としては失敗であるが、理科教育としては成功と言えるかもしれない。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>「寒い」という暖房への要望しかなかった。対策にガスストーブを持ち込んではいるが焼け石に水である。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>受講者を増やすための工夫として、来年度開講時間を変えてみる。「美学・哲学」が開かれなかった年は、受講生があふれたので、開講時間帯によっては、もう少し多くの学生に化学の初歩を教育できるのではないかと思う。</p> <p>4 その他、意見</p>							

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10113
(木4)

担当 幸田 律 教室 体育館

回答した学生 25名

受講登録者 30名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	10
4	90%くらい	9
3	80%くらい	5
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		25

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	17	16
4	やや思う	5	6
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	1	1
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	13
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		25

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	20
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	2
	無回答	0
小計		25

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	19	19	21	20	20	14	21
4	やや思う	3	0	2	2	3	9	2
3	どちらともいえない	2	6	1	2	0	1	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	1	0	0	2
1	まったくそう思わない	0	0	1	0	2	1	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10114
(木5)

担当 岡本 浄実 教室 体育館

回答した学生 41名

受講登録者 58名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	15
4	90%くらい	16
3	80%くらい	10
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		41

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	29	26
4	やや思う	8	8
3	どちらともいえない	4	7
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		41	41

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	14
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	1
小計		41

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	20
4	延長することが多い	6
3	開始が遅いことが多い	6
2	早く終わることが多い	7
1	よくわからない	1
	無回答	1
小計		41

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	20	23	29	28	24	28
4	やや思う	6	9	9	8	9	9	10
3	どちらともいえない	8	12	8	3	4	4	3
2	あまりそう思わない	1	0	1	1	0	2	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	0	2	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		41	41	41	41	41	41	41

科目 身体運動演習 I A
(木3)

授業コード 10115

担当 山本 祐実

教室 体育館

回答した学生 15名

受講登録者 16名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	10
4	90%くらい	3
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		15

設問		2	3
5	強く思う	10	4
4	やや思う	4	7
3	どちらともいえない	1	4
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		15	15

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		15

設問		5
5	ほぼ時間どおり	10
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	0
	無回答	1
小計		15

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	12	6	13	12	6	4	9
4	やや思う	1	2	0	1	6	4	4
3	どちらともいえない	2	7	2	2	3	5	2
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		15	15	15	15	15	15	15

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10116
(火5)

担当 小野 昌子 教室 体育館

回答した学生 34名

受講登録者 40名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	20
4	90%くらい	12
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		34

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	26	26
4	やや思う	7	7
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		34	34

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	12
4	やや思う	12
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		34

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	32
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		34

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	31	25	32	33	31	20	32
4	やや思う	3	5	2	1	2	10	2
3	どちらともいえない	0	3	0	0	1	2	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
1	まったくそう思わない	0	1	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		34	34	34	34	34	34	34

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10113
(木5)

担当 岡本 浄実 教室 体育館

回答した学生 25名

受講登録者 34名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	9
3	80%くらい	12
2	70%くらい	0
1	60%以下	3
	無回答	0
小計		25

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	16	13
4	やや思う	7	9
3	どちらともいえない	2	2
2	あまり思わない	0	1
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	11
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	3
2	あまり思わない	2
1	まったく思わない	1
	無回答	0
小計		25

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	11
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	8
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		25

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	19	16	19	19	20	14	21
4	やや思う	5	4	4	5	4	6	3
3	どちらともいえない	0	4	2	1	1	3	1
2	あまり思わない	0	1	0	0	0	2	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10114
(木4)

担当 幸田 律 教室 体育館

回答した学生 14名

受講登録者 23名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	8
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		14

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	11	13
4	やや思う	2	0
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		14	14

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	5
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		14

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	14
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		14

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	13	11	12	13	13	6	13
4	やや思う	0	1	1	0	0	2	0
3	どちらともいえない	1	2	1	1	1	4	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		14	14	14	14	14	14	14

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10115
(火5)

担当 小野 昌子 教室 体育館

回答した学生 14名

受講登録者 20名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	10
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		14

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	10	8
4	やや思う	3	4
3	どちらともいえない	1	2
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		14	14

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	6
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		14

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	10
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		14

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	7	9	10	11	3	9
4	やや思う	4	4	4	4	3	2	4
3	どちらともいえない	1	3	1	0	0	3	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	4	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		14	14	14	14	14	14	14

科目 身体運動演習ⅠA・B、ⅡA・B 授業コード 10158
(火5)

担当 山本 祐実 教室 体育館

回答した学生 4名

受講登録者 6名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	2
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		4

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	3	3
4	やや思う	1	1
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		4	4

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	1
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		4

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		4

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	1	4	4	4	3	4
4	やや思う	0	1	0	0	0	1	0
3	どちらともいえない	0	2	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		4	4	4	4	4	4	4

科目 自由研究ゼミナール I

授業コード 10117

担当 山本 浩一

教室 奏楽堂第1・2教室

回答した学生 14名

受講登録者 27名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	6
3	80%くらい	7
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		14

設問		2	3
5	強く思う	6	9
4	やや思う	7	4
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		14	14

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	3
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	2
	無回答	1
小計		14

設問		5
5	ほぼ時間どおり	4
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	1
小計		14

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	7	5	10	10	9	1	8
4	やや思う	3	4	1	3	4	5	6
3	どちらともいえない	3	2	1	1	1	4	0
2	あまりそう思わない	0	1	1	0	0	2	0
1	まったくそう思わない	0	1	0	0	0	1	0
	無回答	1	1	1	0	0	1	0
小計		14	14	14	14	14	14	14

科目 自由研究ゼミナールⅡ

授業コード 10118

担当 ハッペッテ・マシミアノ

教室 新講義棟大教室

回答した学生 6名

受講登録者 12名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	1
3	80%くらい	1
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	1
小計		6

設問		2	3
5	強く思う	3	3
4	やや思う	2	3
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	0
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	2
小計		6

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		6

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	4	3	3	5	3	4
4	やや思う	0	0	1	2	1	0	2
3	どちらともいえない	0	1	1	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	2	1	1	1	0	2	0
小計		6	6	6	6	6	6	6

科目 外国文化史

授業コード 10119

担当 水野 留規

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 52名

受講登録者 60名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	17
4	90%くらい	20
3	80%くらい	11
2	70%くらい	3
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		52

設問		2	3
5	強く思う	14	27
4	やや思う	22	15
3	どちらともいえない	13	9
2	あまりそう思わない	2	1
1	まったくそう思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		52	52

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	15
3	どちらともいえない	13
2	あまりそう思わない	6
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		52

設問		5
5	ほぼ時間どおり	36
4	延長することが多い	10
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		52

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	36	24	32	31	19	19	29
4	やや思う	9	14	9	12	10	12	14
3	どちらともいえない	5	12	9	9	16	14	9
2	あまりそう思わない	1	2	2	0	4	5	0
1	まったくそう思わない	1	0	0	0	3	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		52	52	52	52	52	52	52

授業科目	外国文化史				担当者	水野留規	
開講時期	前期	曜日	火曜	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

映像、画像などを見せながら、ヨーロッパの中世～ルネサンスの文化・社会について解説し、現代日本の身近な現実との比較なども試みる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

比較的軽い気持ちで履修している者が多い。授業を受けて内容への興味・関心が深まったと答えた者が大半であり、これは担当者としては嬉しい。内容に関しては前回と少し変えており、今回は前回より難しい内容だった。それにも拘らず、熱心に聴いてくれた学生もいたので、難易度を上げたことは間違いではなかったと思う。

(2) 授業について

授業の進め方については、まずまずの回答を得た。説明の仕方、話し方、資料の見やすさなど、長年の経験もあるので、基本的なことは承知しているつもりである。履修する学生が美術と音楽のいずれの学部に属しているかを考えて話すようにもしている。コミュニケーションが必ずしも全員ととれていたとは言えないが、これは人数が多かったからでもある。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

真面目に解説したことに好印象をもつ者がいた。芸術との関連で歴史・文化の話をしたこと。AV 資料が充実していたこと。

(4) 自由記述より学生からの要望について

教室がカビ臭い。机が小さいなど設備面での苦情があった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

教材が少し古くなっているのを改訂するようにしたい。
設備面での充実を試みたい (来年度予算がつくことを願う)。
自由読書の報告、内容に関連するイラスト制作などを課題として出していきたい。

4 その他、意見

科目 日本文学

授業コード 10120

担当 二瓶 浩明

教室 第4講義室

回答した学生 39名

受講登録者 52名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	16
3	80%くらい	10
2	70%くらい	5
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		39

設問		2	3
5	強く思う	5	15
4	やや思う	17	16
3	どちらともいえない	15	4
2	あまりそう思わない	2	3
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	1
小計		39	39

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	20
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		39

設問		5
5	ほぼ時間どおり	33
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	3
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		39

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	17	26	30	7	17	20
4	やや思う	11	17	9	9	12	11	16
3	どちらともいえない	3	5	4	0	13	6	3
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	5	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	1	0
	無回答	1	0	0	0	0	3	0
小計		39	39	39	39	39	39	39

授業科目	日本文学			担当者	二瓶 浩明		
開講時期	2012年度 前期	曜日	月	時限	5	授業様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

今年度は「日本近代文学と旅」というテーマで、森鷗外『舞姫』、夏目漱石『草枕』、泉鏡花『高野聖』、宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、横光利一『上海』、川端康成『伊豆の踊子』『雪国』、永井荷風『墨東綺譚』、太宰治『津軽』等を取り上げた。

いずれも、日本近代を代表する作家の代表的な作品であるが、もはや多くの学生たちにとっては、その名は知っているものの読んだことはない、というものが大部分であるかもしれない。本授業は、これらの作品、作家における、そして文学史をつらぬく「旅」という観点から、文学の構造と発想のあり方を検討する試みである。

本授業は、1回の講義に作品1話という、量的にも過大ではなく、手ごろな分量の教材を用い、実習や研修旅行、演奏会などのために休まざるを得ない学生たちのために、オムニバス形式の授業をしているが、それらをつらぬく、前述のような普遍的な問題を追及している。フランスの作家、M・ビュートルの哲学的エッセイ「旅とエクリチュール」を援用し、理論的な問題にも関心を持つべく配慮した。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席状況はかなり良く、欠席が多くて試験レポートを出す権利がないものは、52名中、5名であった。問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」という問いに対しては、回答学生39名中、「強くそう思う」「ややそう思う」が計32名もいたことに、安堵している。

(2) 授業について

問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」については、「強くそう思う」「ややそう思う」が、39名の回答者全員の答えであり、私の授業が決して手を抜いていないことが広く理解されていて、とても嬉しい。問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、「強くそう思う」「ややそう思う」が39名中、36名もいたことは、やはり教員としての自信につながるものであろう。私としては、だからといって、学生にこびているつもりは一切ないし、テーマや教材の選択、授業の方法についても、十分な考慮をしたうえで行なっているつもりであるが、ここの学生たちの大部分はかなり健全であると言うことができようか。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「強弱のついた教え方をしてくださり、とてもわかりやすかった」「とても面白かったです。「旅」がどういふものなのか、いろいろと考えられて楽しかったです」「小説を読む楽しさを知った」「オムニバス形式でいろいろな作品を知ることができるのが良かったです」「先生が、教材を読んでから説明するのがおもしろかった」「先生の話し方がおもしろくてとても良かった」「先生の演技力がすごいと思いました。ただ女性を読むとき、皆同じ人物像に感じました「先生の作品への感情移入ぶりがおもしろいです」

こういう意見は、実に教師冥利に尽きるものだ。

(4) 自由記述より学生からの要望について

毎年、受講希望者の3分の1程度しか収容できず、もっと広い教室にして欲しい、という要望があったが、これは難しい。月曜日のこの時間は、他の授業も多く開かれており、講義系教室はすべて埋まっている。他授業の客を奪いたくないし、学生たちは、広くさまざまな授業を選択すべきであると私は考えている。この程度の人数だからこそ、親密感のある授業をすることが可能なのであり、大教室でマイクを使って、眠りかけている学生たちに対し「講演」をするというのは私のやり方ではない。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

今後とも、ちゃんとするつもり。

4 その他、意見

格別なし。

科目 日本演劇論

授業コード 10121

担当 二瓶 浩明

教室 第4講義室

回答した学生 33名

受講登録者 47名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	9
4	90%くらい	13
3	80%くらい	8
2	70%くらい	2
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		33

設問		2	3
5	強く思う	9	17
4	やや思う	17	12
3	どちらともいえない	5	3
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		33	33

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	11
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		33

設問		5
5	ほぼ時間どおり	16
4	延長することが多い	11
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		33

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	21	10	23	29	9	13	23
4 やや思う	11	16	8	4	12	14	10
3 どちらともいえない	1	5	2	0	8	4	0
2 あまりそう思わない	0	2	0	0	2	2	0
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	2	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	33	33	33	33	33	33	33

授業科目	日本演劇論			担当者	二瓶 浩明		
開講時期	2012年度 前期	曜日	金	時限	5	授業様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業は、日本演劇に関する全般的な問題について考察することを目的としている。日本演劇の歴史と特質について説明し、能、狂言、歌舞伎、文楽等の古典芸能と、近現代演劇のあり方について考える。学生たちに「能」を見たことがあるか？「歌舞伎」は？「文楽」は？とたずねると、それぞれに2、3名くらいしか挙手しないのが普通であるが、これではマズイ。芸術大学の学生にとって、自分が携わる主ジャンル以外に、まったく興味がない、知るところがないとすれば、作家として、演奏家として、実に貧しいと言うほかはないだろう。自身の芸術活動の展開のためにも、また海外で活動するためにも、自国の芸術についての理解と見識が必要であるのは間違いないし、本授業は多くの学生が受講を希望している。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」については、33名の回答中、「強くそう思う」17名、「ややそう思う」12名、「どちらともいえない」3名、という結果であった。まあ、こんなものであろう。

それにしても、問1～3は、そろそろ質問内容を変えた方が良さそうだ。学生たちにとっては、ほとんどすべての授業は、取るべくして取る、つまり単位化されているから（きわめて少ない選択の範囲の中から）取るのであって、初めから意欲がある、とかという問いは、あまり意味あるものでもないだろう。

(2) 授業について

問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」は、回答者33名中、「強くそう思う」が29名、「ややそう思う」が4名であった。また、問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、33名の回答中「強くそう思う」が23名、「ややそう思う」が10名であり、こういう風に評価されると嬉しいものだ。

授業を積極的に、意欲的に受けるためには、モチベーションの問題が重要だ。これらの学生たちは本授業を取りたくて取ったものであり、その興味や意欲に、この授業が応え得たという結果がよくあらわれていると言えようか

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「実際に作品を見せていただけるのでとてもわかりやすい」「先生の説明がたのしい」「しゃべりかたがおもしろかった」「実際に様々な演劇が見られたこと」「演劇に興味をわきました。いろいろな作品を観せてくださったので」「日本の伝統演劇について知ることができましたし、現代演劇にいたる過程を学べたこと」「演劇をDVDで見れるのがよかったです」「質問にも詳しくていねいに答えて頂けるので、勉強中の身としては大変ありがたいです」「授業すごく楽しいです！来年も受けたい！」「先生の立ち振る舞いが面白い」「先生の話は聞きやすくて分かりやすいです」「貧乏学生にとって、演劇のDVDが見れるというのが非常にうれしい。暗黒舞踏を知れてよかった」「能や歌舞伎を見に行くようになり、好きなことが増えた。芸術の現実的な面の言葉あり、気がひきしまる」

嬉しいもんです。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「もっと大きな画面で見たい」。

そうだね～。すべての教室に、ちゃんとした設備があると良いのですが。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

これからも頑張ります。

4 その他、意見

格別なし。

科目 西洋の古典文芸

授業コード 10117

担当 水野 留規

教室 新講義棟大教室

回答した学生 28名

受講登録者 52名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	8
4	90%くらい	13
3	80%くらい	7
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		28

設問		2	3
5	強く思う	11	14
4	やや思う	7	10
3	どちらともいえない	8	4
2	あまりそう思わない	2	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		28	28

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	11
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		28

設問		5
5	ほぼ時間どおり	15
4	延長することが多い	7
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	2
	無回答	0
小計		28

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	14	14	16	18	11	11	15
4	やや思う	4	7	3	4	4	6	5
3	どちらともいえない	7	7	6	6	9	11	8
2	あまりそう思わない	3	0	3	0	3	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		28	28	28	28	28	28	28

授業科目	西洋の古典文芸			担当者	水野留規		
開講時期	後期	曜日	火	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

映像、演技、音楽、イラストなどを交えて、文学作品を多面的に解説し、文芸の世界を体験させる。今期は10月に学外のホールで「ピノッキオの冒険」を受講生のみならず、県民にも披露した。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

後期は例年、前期ほど出席率が良くない。その傾向は今年もあったが、意欲ある学生は何名かいた。

(2) 授業について

かなり準備をして授業に臨んだ。学生にも教師の熱意は伝わったと思われる（9の質問は28人中18人が「強くそう思う」と回答した）。しかし紹介した作品自体が現代の若者にはいまひとつ難しかったり、面白くなかったりして、紹介する側の教師としてはそのあたりが苦労の種であった。「説明がわかりやすかったか」の問いに、若干の者がやや「わかりにくい」と答えたのは、そうした理由からと思われ、これは仕方がないのかなとも思う。総合的評価に否定的な答えはなかったが、扱う作品や提示の仕方については今後さらに工夫の余地があると思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

やはり学外での公演に対する評価が非常に高かった。公演に来たのは一部の受講生のみだったが、「予想以上のクオリティの高さだった」という声もあり、教育的成果も大きかった。

平常の授業で取り上げた作品についても面白かったと答えた者がいた。どの作品のことかは不明であるが、教師としてはいずれの作品に学生が興味を抱くのか注意深く観察していきたい。

(4) 自由記述より学生からの要望について

開始を早くするように努めたが、前の授業があり、準備に時間が要り、開始が遅れるのはやむを得ない。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

言うまでもないが、講義で扱う作品、その時代背景などを分かりやすく、面白く話す。そのための工夫、資料作成、映像編集などが大切であると考えている。

4 その他、意見

科目 日本の古典文芸

授業コード 10118

担当 二瓶 浩明

教室 講義棟第4教室

回答した学生 28名

受講登録者 47名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	14
3	80%くらい	6
2	70%くらい	4
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		28

設問		2	3
5	強く思う	5	10
4	やや思う	7	8
3	どちらともいえない	11	8
2	あまりそう思わない	5	2
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		28	28

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	10
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		28

設問		5
5	ほぼ時間どおり	21
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		28

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	22	17	16	23	14	15	19
4	やや思う	4	6	11	4	3	4	6
3	どちらともいえない	1	5	1	1	8	6	3
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	3	3	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		28	28	28	28	28	28	28

授業科目	日本の古典文芸			担当者	二瓶 浩明		
開講時期	2012年度 後期	曜日	月	時限	5	授業様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

今年度は『伊勢物語』を読む」というテーマで、日本古典文学の代表作のひとつ、平安期の「歌物語」『伊勢物語』を取り上げた。

そこに描かれた「みやび」とか「色好み」という美意識は、当代貴族たちのみならず、広く後代、そして今に至るまで、日本文学、日本文化のなかに息づき、なおかつ、我々を支配していると言うことが可能であるが、その特質やあり方を考えることによって、今と昔、往古と現代を結びつけようと試みたものである。

本学の学生たちの大部分は、中学・高校時代に接した教科としての「古典」に対し、苦手意識を持っており、日本の古典文学・古文に触れるという機会は、これが最後のものとなるかもしれない。文法や正確な読解よりも、その魅力、物語の面白さという点に主眼を置き、現代にも通ずる恋愛のあり方や、青年たちの生き方について考えることを中心に講義を行なった。興味を示してくれた学生たちが数多く存在したことに喜んでいる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

回答者28名中、問3「この授業を受けた後で、授業で取り扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」とい設問に対して、「強くそう思う」が10名、「ややそう思う」が8名、「どちらともいえない」が8名という結果であった。「あまりそうは思わない」という学生が2名いたが、この科目は選択科目であって、そうならば初めから取らなければ良いと思うのであるが、こういう存在はわずかながらも常に存在する。まあ、仕方ないとはいえ、どんな授業にも存在する、モチベーションが低く、受け身の学生たちをどれだけ少なくするかが重要となるに違いない。学生たちの勉学意欲や志向を問い、これを啓発する丁寧な作業が必要であろう。学生たちへのアンケートの実施方法・設問の仕方については、教員評価のみならず、こうした点からも再考すべきであると思われる。

(2) 授業について

問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」については、28名の回答中、「強くそう思う」「ややそう思う」が、27名。「どちらともいえない」が1名いて、かなり多くの学生たちが私の授業を肯定的に評価しているのは嬉しいことだ。問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、「強くそう思う」「ややそう思う」が28名中、25名もいたことは、やはり教員としての自信につながるものであろう。今後とも研鑽を重ねてゆきたいと思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「人生の勉強になりました。とても楽しかったし、古典にさらに興味を持つてました。素晴らしい授業を有り難うございました。」「先生の説明の仕方、話し方。」「先生のキャラが好きなので、皆勤賞でした。」という3件の記述があった。こういう意見は、実に教師冥利に尽きるものだ。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業に対する改善要望はなかったが、施設設備に関する要望が1件、「どの授業に関しても空調だけは改善していただきたいです。先生も生徒も震えながら授業をうけていました。」という意見があった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

今後とも、ちゃんとするつもり。

4 その他、意見

格別なし。

科目 日本の近現代演劇

授業コード 10119

担当 二瓶 浩明

教室 講義棟第4教室

回答した学生 25名

受講登録者 47名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	5
3	80%くらい	9
2	70%くらい	1
1	60%以下	3
	無回答	0
小計		25

設問		2	3
5	強く思う	8	15
4	やや思う	8	3
3	どちらともいえない	9	6
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		25

設問		5
5	ほぼ時間どおり	15
4	延長することが多い	7
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		25

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	18	16	18	20	11	6	17
4	やや思う	2	4	2	3	7	6	4
3	どちらともいえない	5	5	5	2	5	8	4
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	2	3	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25

授業科目	日本の近現代演劇				担当者	二瓶 浩明		
開講時期	2012年度 後期	曜日	金	時限	5	授業様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	

1 この授業における教育方法の特徴

今年のテーマは「近現代戯曲を読む」というもの。菊池寛「父帰る」、長谷川伸「瞼の母」、木下順二「夕鶴」、別役実「象」、三島由紀夫「卒塔婆小町」、つかこうへい「熱海殺人事件」、井上ひさし「父と暮せば」等、日本近現代の名作戯曲を取り上げ、その構造や魅力、さらには上演方法等について考察した。学生たちは、芝居の台本、戯曲などを、ほとんど読んだことがないなかで、演劇とはどんなジャンルなのか、それを成立させるために何が必要なのか。台本、戯曲を丁寧に読み解くことにより、さまざまな角度から演劇が成り立つための要件について考える試み。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

問3「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」については、25名の回答中、「強くそう思う」15名、「ややそう思う」3名、「どちらともいえない」6名、という結果であった。まあ、こんなものであろう。

前期アンケート報告でも述べたことであるが、問1～3は、そろそろ質問内容を変えた方が良さそうだ。教授者たる教員にとって、自らを省みるためのアンケートであるべきはずが、問1「あなたはこの授業にどの程度出席しましたか」とか、問2「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」という設問は、学生自らに問いかけるかたちになっていて、彼らの受講の態度を知る資料となり得るかもしれないが、教員にとっては、それほど有益なものとは思えないものだ。教員を評価するためにのみ使うのではなく、学生たちが自らを省みる資料としても使われる性格を持つべきだ。無反省で場当たりの回答を避けるためにも、彼ら自身の志向や興味、授業の意義について問うアンケートを開発し、フィードバックする必要があるだろう。点検評価のあり方、方法は、もう第2ステージへと移るべき時期を迎えていると言えるだろう。

(2) 授業について

回答者25名中、問6「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が18名、問7「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対して、「強くそう思う」が16名、問8「教員の説明の仕方はわかりやすかったですか」に対して、「強くそう思う」が18名、問9「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対して、「強くそう思う」が20名という結果であった。問10ならびに問11は省略。問12「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」については、25名の回答中「強くそう思う」が17名、「ややそう思う」が4名、「どちらともいえない」が4名であった。まあ、高評価であろう。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「いろいろな演劇作品を見ることができた。」「先生の表現」。これら2件の記述があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「寒い」「5時にエアコンが消えてしまうのでとても寒い思いをしました。延長をお願いします。」「17時で暖房を消す(学務?)のはどうかと思う。」などの意見があった。授業については改善の要望はなかった。

施設設備に関する学生たちの意見は、私も常日頃そう思っていることだ。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

これからも頑張ります。

4 その他、意見

格別なし。

科目 コンピューター基礎 I a

授業コード 10122

担当 清道 正嗣

教室 コンピュータ室

回答した学生 27 名

受講登録者 38 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	16
4	90%くらい	8
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		27

設問		2	3
5	強く思う	8	6
4	やや思う	9	11
3	どちらともいえない	8	10
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	1	0
小計		27	27

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	9
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		27

設問		5
5	ほぼ時間どおり	25
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		27

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	10	10	7	14	4	11	7
4	やや思う	9	7	13	8	6	11	16
3	どちらともいえない	6	7	5	5	12	4	3
2	あまりそう思わない	1	2	1	0	1	0	1
1	まったくそう思わない	0	1	1	0	3	1	0
	無回答	1	0	0	0	1	0	0
小計		27	27	27	27	27	27	27

授業科目	コンピューター基礎 I a			担当者	清道 正嗣		
開講時期	前期	曜日	月	時限	5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 この授業はいわゆるコンピューターリテラシーを扱うものであるが、本学学生特有のニーズに応えた題材（演奏会・展覧会のビラづくり・論文作成・譜面記述）を取り入れている。</p> <p>2 アンケート結果の所見 以下の文中の数字は、アンケート回答選択肢を点数化したものの平均値である。</p> <p>(1) 受講した学生自身について アンケート回答者のこの授業への出席率は 95%であった。「意欲的な取り組み」が平均 3.9、「事後の興味関心の上昇」が 3.9 であった。また不合格者は 2 名（38 人中、5%）と、昨年度より格段にまじめな学生であった。</p> <p>(2) 授業について 質問 4・10 の平均が 3.9、質問 12 が 4.1 と平均的な授業であったといえる。この中で低得点なものは、質問 10（コミュニケーション）の 3.2 であった。話し方・スピード・説明は 4.1-3.9 であるので、なぜこの質問だけ低得点になったのか不明である。この質問に対する回答に「どちらともいえない」が 44%いることが低得点の理由なので、特に良かった（and/or 悪かった）体験・印象がこの項目についてないということであろう。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて 「word・excel が中高の時以上によく分かった」「楽譜作成を学べるのがよい」など、内容が学生のニーズに合っていることが確認できる意見が書かれていた。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 例年同様に「Finale が全 PC にないのは困る」という意見があった。予算がないのでどうしようもない。いっその内容部分は、やめた方がよいのかもしれない</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD） 特にない。</p> <p>4 その他、意見 「スリッパが非常に汚い」「ホワイトボードが汚れてグレーボードになっている」「机の縁のゴムが腕に痛い」「机の落書きが不愉快」など、設備に関する苦情が多かった。定期的な掃除と什器のメンテナンス、スリッパの短いサイクルでの入れ替え（または紫外線殺菌靴箱の設置）をお願いしたい。</p>							

科目 コンピューター基礎 I a
(木4)

授業コード 10120

担当 渡邊 裕司

教室 コンピュータ室

回答した学生 24 名

受講登録者 33 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問	1
5 100%	9
4 90%くらい	8
3 80%くらい	7
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	24

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

設問	2	3
5 強く思う	12	12
4 やや思う	7	8
3 どちらともいえない	4	3
2 あまり思わない	1	0
1 まったく思わない	0	1
無回答	0	0
小計	24	24

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問	4
5 強く思う	10
4 やや思う	7
3 どちらともいえない	7
2 あまり思わない	0
1 まったく思わない	0
無回答	0
小計	24

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	5
5 ほぼ時間どおり	17
4 延長することが多い	6
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	24

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	17	17	18	18	12	14	15
4 やや思う	5	4	3	2	9	5	5
3 どちらともいえない	2	3	3	4	2	4	3
2 あまり思わない	0	0	0	0	1	1	1
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	24	24	24	24	24	24	24

科目 コンピューター基礎 I a
(木5)

授業コード 10121

担当 渡邊 裕司

教室 コンピュータ室

回答した学生 19名

受講登録者 32名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	4
3	80%くらい	6
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		19

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	10	10
4	やや思う	5	5
3	どちらともいえない	3	4
2	あまり思わない	1	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		19	19

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	7
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		19

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	15
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		19

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	12	10	11	11	7	8	12
4	やや思う	5	6	6	6	6	5	5
3	どちらともいえない	2	2	2	2	4	4	2
2	あまり思わない	0	1	0	0	2	0	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		19	19	19	19	19	19	19

科目 コンピューター基礎Ⅱ a

授業コード 10123

担当 清道 正嗣

教室 コンピュータ室

回答した学生 28名

受講登録者 40名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	13
4	90%くらい	9
3	80%くらい	4
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		28

設問		2	3
5	強く思う	9	12
4	やや思う	13	10
3	どちらともいえない	4	4
2	あまりそう思わない	2	2
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		28	28

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	6
4	やや思う	12
3	どちらともいえない	4
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	2
	無回答	2
小計		28

設問		5
5	ほぼ時間どおり	26
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		28

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	7	5	10	14	8	9	12
4	やや思う	7	11	9	9	2	10	6
3	どちらともいえない	11	9	6	5	11	7	7
2	あまりそう思わない	2	3	2	0	6	2	3
1	まったくそう思わない	0	0	1	0	1	0	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		28	28	28	28	28	28	28

授業科目	コンピューター基礎Ⅱa			担当者	清道 正嗣		
開講時期	前期	曜日	火	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業の目標は、「Photoshopによる初歩的なビットマップ系画像の作成・加工を身につける」であった。単なるPhotoshopのTips紹介ではなく、「フォトレタッチ」「手書き線からのイラスト作成」「PC内での手書き」と、Photoshopを使う3つの代表的なシチュエーションを網羅して教えることにより、学生のPhotoshopに対する理解を広くし、今後のPhotoshop利用の下地を作ることを目指した。

2 アンケート結果の所見

以下の文中の数字は、アンケート回答選択肢を点数化したものの平均値である。

(1) 受講した学生自身について

アンケート回答者のこの授業への出席率は平均 92%、「意欲的な取り組み」が平均 4.0、「事後の興味関心の上昇」が 4.1 であった。

なおこの授業の不合格者は 19 名（48 人中、39%）であった。理由は、15 名が出席不足、2 名が課題未定出。例年になくひどいリタイヤ率であった。特にデザイン専攻一年生は 24 名中 11 人（内 8 名が 2 回しか出席していない）が途中放棄した。理由を知りたいものである。

(2) 授業について

授業の全般への評価は平均 4.0 ポイントであり、平均的な授業であったと言える。一方、個別の問題では、「教員とコミュニケーションは取れていましたか」に対する評価が、平均 3.3 ポイントと目立って低かった。これは昨年度から生じている問題であるが、昨年も報告に書いたが理由が分からない。下の学生の自由記述(3)にもあるように、学生の理解・作業進捗をしばしば挙手によって確認しているため、コミュニケーションがとれていないということでもないと思う。また低ポイントの理由は「どちらともいえない」が 39%を占めるためであり、「何かが悪い」ではなく「特別良い印象を残せなかった」と解釈すべきかもしれない。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「基本の扱いを学べた」「Photoshop が少しつかいやすくなった」「繰り返し画像がおもしろかった」と内容への賛意があった。

教え方については「わかりやすい」「手を挙げて質問すると一人一人答えてくれた」という肯定的な意見があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「PC がたりない。私物の PC を持ち込んで？」という機材の数に対する不満と意見があった。

教え方について「スピードが速くて追いついて行けない」という意見が複数あった。学生を見ていると、時間をもてあまして散見されるので、この問題の解決にペース配分の変更は妥当ではないと思う。学生間の経験と実力に差がありすぎるのが原因と思われる。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

(4) の PC 不足問題は予算の問題なので、この授業でどうこうできる問題ではない。また私物 PC の持ち込みを認めても、高価なソフトウェアを買わせることは現実的ではないので、解決にならない。コンピューター基礎科目間で、授業数の調整を行う必要があるかもしれない。今後の課題としたい。

(4) の速度の問題は、学生間の実力差の問題であるので TA を使うことが解決の一助になることは分かっている。しかし本学ではこの授業のために適当な TA を用意できないことが経験的に分かっているため、この方法は採れない。バディ制を敷くことを検討したい。

4 その他、意見

特になし。

科目 コンピューター基礎Ⅱ a

授業コード 10124

担当 中島 啓之

教室 コンピュータ室

回答した学生 47名

受講登録者 62名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	24
4	90%くらい	11
3	80%くらい	10
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		47

設問		2	3
5	強く思う	22	26
4	やや思う	19	16
3	どちらともいえない	6	4
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		47	47

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	21
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		47

設問		5
5	ほぼ時間どおり	43
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		47

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	41	37	39	41	26	20	35
4	やや思う	5	8	8	6	14	16	11
3	どちらともいえない	1	2	0	0	7	8	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		47	47	47	47	47	47	47

科目 コンピューター基礎Ⅱb
(火4)

授業コード 10122

担当 清道 正嗣

教室 コンピュータ室

回答した学生 6名

受講登録者 14名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	1
3	80%くらい	3
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		6

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	0	1
4	やや思う	3	2
3	どちらともいえない	3	3
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	2
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		6

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	5
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		6

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	3	3	1	3	2	3	1
4	やや思う	1	0	3	2	1	1	5
3	どちらともいえない	2	2	2	1	1	1	0
2	あまり思わない	0	1	0	0	1	1	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	6	6	6	6

授業科目	コンピューター基礎Ⅱb			担当者	清道 正嗣		
開講時期	後期	曜日	火	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

基本的な概念・操作の学習では、毎回授業開始時に前回の取り扱い範囲を復習し、記憶をより確実にするようにした。応用練習については、そこで使う基本的な技法を説明し直してから実際に操作行わせ、学習目的を常に意識させるようにした。

教材中に制作見本の他に「ステップバイステップの作成手順」を記載し、学生だけでも練習できるようにした。教材はいつでも Web から再入手可能であるようにした。

2 アンケート結果の所見

今期のアンケート回答者は6名と少数であるので、意見の平均をとることに如何ほどの意味があるか不明であるが、例年通りアンケート選択肢（1～5、1側がネガティブ）を点数化したもの挙げながら以下に記載する。

(1) 受講した学生自身について

設問2「意欲的な取り組み」が3.5（「どちらでも良い」よりは少しましレベル）であった。昨年度よりましとはいえ、Illustratorを身につけた授業にもかかわらず低い値であった。設問2「興味関心が高まったか」が3.7（「ややそう思う」レベルより少し低い）と昨年並みに低かった。

(2) 授業について

設問6-10の平均が3.9、設問12は4.2であった。おそらく普通の授業を行えたということであろう。一方でポイント最低項目は、設問10「コミュニケーション」(3.3)であり、個人的には不満を持つ学生がいたということであろう。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

記述なし。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「授業スピードが速くてついていけない」という意見が一つあった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

受講登録・アンケート回答数とも極端な減少があった。これは今年度より博物館免許科目（隔週）がこの時間帯に設定されたためであろう。この科目は美術学部向けであるので、この時間割変更による影響が無視できない。来年度開講時間帯を変更してみることにする。

4 その他、意見

隔週で二つの時間帯を占有する講義科目の設定は極力やめてほしい。年々開講時間の設定が難しくなっており、学生の受講計画にも支障が出ている（木曜日の受講生が想定以上に増加している）。せめて隔週科目を設定する際は2科目組み合わせ、学生にとっては無駄な隔週の空白が生じない時間割にすべきである。特に、隔週にすることの理由が、単に講師が毎週授業を行いたくないという場合は、講師を換えるべきである。

科目 コンピューター基礎Ⅱb

授業コード 10125

担当 中島 啓之

教室 コンピュータ室

回答した学生 37名

受講登録者 42名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	13
4	90%くらい	16
3	80%くらい	4
2	70%くらい	4
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		37

設問		2	3
5	強く思う	21	20
4	やや思う	13	13
3	どちらともいえない	3	3
2	あまりそう思わない	0	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		37	37

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	12
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	12
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		37

設問		5
5	ほぼ時間どおり	33
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		37

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	28	26	30	22	19	23
4	やや思う	9	6	8	6	11	11	12
3	どちらともいえない	2	3	2	1	4	3	2
2	あまりそう思わない	2	0	1	0	0	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		37	37	37	37	37	37	37

科目 コンピューター基礎Ⅱb
(木3)

授業コード 10123

担当 中島 啓之

教室 コンピュータ室

回答した学生 39名

受講登録者 60名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	12
4	90%くらい	18
3	80%くらい	8
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		39

設問		2	3
5	強く思う	24	29
4	やや思う	10	5
3	どちらともいえない	5	5
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		39	39

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	15
4	やや思う	9
3	どちらともいえない	11
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		39

設問		5
5	ほぼ時間どおり	34
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		39

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	27	30	33	33	21	12	31
4	やや思う	3	4	2	1	10	5	4
3	どちらともいえない	9	5	3	5	5	16	4
2	あまりそう思わない	0	0	1	0	3	4	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		39	39	39	39	39	39	39

科目 コンピューター基礎Ⅲ a

授業コード 10126

担当 清道 正嗣

教室 コンピュータ室

回答した学生 11名

受講登録者 18名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	3
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		11

設問		2	3
5	強く思う	2	3
4	やや思う	4	6
3	どちらともいえない	2	2
2	あまりそう思わない	2	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	1	0
小計		11	11

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	5
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		11

設問		5
5	ほぼ時間どおり	10
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		11

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	3	1	2	4	3	6	2
4	やや思う	3	3	4	5	5	4	6
3	どちらともいえない	4	4	2	2	2	0	2
2	あまりそう思わない	0	3	1	0	1	1	1
1	まったくそう思わない	1	0	1	0	0	0	0
	無回答	0	0	1	0	0	0	0
小計		11	11	11	11	11	11	11

授業科目	コンピューター基礎Ⅲa			担当者	清道 正嗣		
開講時期	前期	曜日	火	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

美術分野でのプログラミングへの興味喚起をめざして、この授業の目標は「Processingを使って簡単な画像処理プログラミングができるようになる」においた。

プログラミングの入門部分を省略し、応用面に重点を置き、ゲームを課題とすることによって、実用への連想を容易にすることを心がけた。

2 アンケート結果の所見

以下の文中の数字は、アンケート回答選択肢を点数化したものの平均値である。ただアンケートに回答した受講生が 11 人しかいなかったため、数値はあまりあてにならない。

(1) 受講した学生自身について

アンケート回答者のこの授業への出席率は平均 95%、「意欲的な取り組み」が平均 3.5、「事後の興味関心の上昇」が 4.1 であった。

なおこの授業の不合格者は 14 名（20 人中、75%）であった。理由は、8 名が出席不足、7 名が課題未定出。例年よりさらにひどいリタイヤ率であった。

(2) 授業について

授業の全般への評価は平均 3.7 ポイントであり、質問 12「全体評価」の 3.8 と併せて、平均的な授業であったと言える。質問 7「資料の見やすさ」が 3.2 とかなり低く、質問 6「話し方話すスピード」・8「説明の仕方」が 3.6 と 3.5 と低かった。学生の自由記述にもあるが、学生にとって難しすぎたことが問題であったようである。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「むずかしいが、できたとき嬉しい」「難しいことがわかった」と学習に肯定的な意見もあった。また「教材が Web に用意されている」とフォローについて肯定的な意見もあった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

「難しいところはもう少しゆっくりやってほしい」「進むのが早かった（打ち込み時間がほしい）」という意見があった。改善策は次の項に記す。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

「必要ではあるが重要ではない部分を削る」「説明をもっと根源的なレベルから行う」など授業内容をさらに整理することによって、学生のリタイヤ率を改善したい。また開発環境のエラーメッセージの読み方練習をもう少し授業に取り入れ、学生自身によるエラー場所の発見と内容修正が容易にできるようにしたい。あわせて時間配分を変更して、打ち込み時間確保する。

4 その他、意見

特にない。

科目 コンピューター基礎Ⅲb

授業コード 10124

担当 清道 正嗣

教室 コンピュータ室

回答した学生 3名

受講登録者 18名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	1
3	80%くらい	1
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		3

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	0	0
4	やや思う	2	3
3	どちらともいえない	0	0
2	あまり思わない	1	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		3	3

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	1
4	やや思う	1
3	どちらともいえない	1
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		3

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	3
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		3

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	0	1	1	1	0	1	0
4	やや思う	1	2	2	2	2	0	2
3	どちらともいえない	2	0	0	0	1	0	1
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	2	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		3	3	3	3	3	3	3

授業科目	コンピュータ基礎Ⅲb			担当者	清道 正嗣		
開講時期	後期	曜日	火	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

授業の段階ごとに半完成教材を用意し、学生の宿題忘れによる足並みの乱れを最小限に抑えるように配慮した。また課題を3Dモデルアニメーションとすることによって、学生の授業参加・課題作成への意欲を高めることを目指した。

取り上げたソフトウェアの操作方法のうち、課題作成に直接関係ない部分の解説を、大幅に省略することにした。その理由は、全く性質の異なるソフトウェアを複数扱うため、ともすれば課題作成が不可能と考えがちな学生に、ソフトウェアの操作を容易に感じさせることによって、それが不可能ではないという印象を与えるためであった。

2 アンケート結果の所見

回答者が3名と少数過ぎて、アンケートから平均的な意見を採り上げることはできなかった。

(1) 受講した学生自身について

設問2,3とも「ややそう思う」に集中しており、当たり障りない回答としか言えない。

(2) 授業について

回答はほとんどが「ややそう思う」であり、たまに「どちらともいえない」があるだけであり、少人数過ぎて、あたりさわりのない回答をしているようである。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「3Dソフト自体にあまり興味がなかったが、授業を受けたことで関心を持てた」「授業のスピードは早いですが教え方が的確なのでわかりやすいです」など、少人数過ぎるため教師に阿ったのではないか、という意見があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

特になかった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

上記(3)の両意見とも講義で目指している方向には合っているので、今期も大きな問題はないと思う。このままの授業を行う。

今期の反省としては、モデリングに時間をとりすぎてモーション・レンダリングに割く時間が足りなかったため、来期は授業内の配分を変更する。

また脱落者対策に、授業課題を2コースに分け中途半端な理解でも最後まで受講できるような授業内容とシステムを試してみる。

4 その他、意見

科目 西洋演劇論

授業コード 10127

担当 大塚 直

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 78名

受講登録者 92名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	34
4	90%くらい	27
3	80%くらい	13
2	70%くらい	4
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		78

設問		2	3
5	強く思う	28	42
4	やや思う	37	31
3	どちらともいえない	10	3
2	あまりそう思わない	1	2
1	まったくそう思わない	2	0
	無回答	0	0
小計		78	78

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	32
4	やや思う	24
3	どちらともいえない	17
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		78

設問		5
5	ほぼ時間どおり	51
4	延長することが多い	20
3	開始が遅いことが多い	5
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	1
小計		78

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	47	40	49	64	20	31	57
4	やや思う	21	27	24	13	27	17	17
3	どちらともいえない	8	10	5	1	26	16	3
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	3	10	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	4	0
	無回答	2	0	0	0	0	0	0
小計		78	78	78	78	78	78	78

授業科目	西洋演劇論				担当者	大塚 直	
開講時期	前期	曜日	水	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

この授業では、芸術系大学に学ぶ学生の基礎知識として、西洋美術、西洋音楽と並ぶ芸術ジャンルである西洋演劇の歴史を半年間で概説する。特にドイツ語圏の主要な劇作家・戯曲作品とともに、いわゆる西洋文化史の流れをおさえながら、各時代の矛盾を照らし出す鏡としての演劇というメディアの存在意義を問いかける。

西欧近代の歩みとともに、絶えず演劇作品に照らし出されてきた各時代の美意識や政治感覚を概観しながら、今日なお上演され続ける古典作品の意義について、受講者が独自の見解が持てるようにする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

受講登録者 92 名のうち、アンケートに回答してくれた学生は 78 名、履修者自体が多かったと言えそうだが、毎回 75 名程度の学生がほぼ休まず受講してくれて、全体の 87% の学生は意欲的に授業を受けてくれた。

そのうち受講生の 95% は、西洋演劇に対する強い興味・関心を持ってくれたようである。

また 86% の学生が、教員の話し方・説明の仕方が適切で、分かりやすかった、と評価してくれている。

(2) 授業について

教員が熱心に教えていると感じられたか、の項目では、「強くそう思う」が 83%、「ややそう思う」が 16% という回答結果で、合計するとほぼ 100% に近い学生が教員の教え方を好意的に評価してくれた。

教員とのコミュニケーションに関しては、やや評価が落ちているが、92 名の受講人数と、講義形式の授業形態を考えれば、仕方のないところだろう。

中規模の教室だが、黒板が小さいので、板書しても後ろに座った学生には見えにくかったと思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

戯曲作品を紹介すると同時に、その実際の上演風景についてたくさんの映像資料を見せながら立体的に説明したので、それが学生の印象に強く残ったようである。

教員の話し方・説明の仕方が面白かった、との意見も多数寄せられた。今後も情熱を持って、初学者にも分かりやすい授業を心がけたい。

(4) 自由記述より学生からの要望について

芸術資料館・地下演習室を使用したのが、受講人数が多かったせいで、備え付けの椅子と机以上の学生が集まった。そのために、荷物も置けず、学生がノートを取るのに不便であったと同時に、狭苦しくて、落ち着いて授業に集中できなかった、との意見が多数寄せられた。

また、湿気がひどく、毎回暑くて、冷房が効いていない、など施設に対する不満の声が多かった。

作家や作品紹介に続いて、その時代背景を説明した後に、具体的な映像を見せているが、もっと様々な舞台映像やメディア資料を見せてほしい、との要望も寄せられた。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

教室に備え付けの黒板が小さいので、スペース上、板書がしづらい。なるべく口頭で分かりやすく説明した後に、必要最低限のことだけ大きな字で書くなど、何らかの工夫を心がけたい。

毎回、出席カードにその日の授業の感想を書いてもらっているが、いつも授業後にカードを配布しているため、時間の都合上、きっちりと意見を書いてもらえなかったりする。今後は早めに出席カードを配布するようにして、毎回学生からの意見を聞いて、次の授業には寄せられた要望をフィードバックできるよう心がけたい。

4 その他、意見

特になし。

科目 基本体育A
(火2)

授業コード 10128

担当 石垣 享

教室 体育館・第2講義室

回答した学生 38名

受講登録者 39名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問	1
5 100%	27
4 90%くらい	8
3 80%くらい	2
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	38

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	2	3
5 強く思う	23	19
4 やや思う	13	15
3 どちらともいえない	2	3
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	0
無回答	0	0
小計	38	38

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問	4
5 強く思う	22
4 やや思う	9
3 どちらともいえない	6
2 あまりそう思わない	1
1 まったくそう思わない	0
無回答	0
小計	38

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	5
5 ほぼ時間どおり	33
4 延長することが多い	3
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	38

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	24	18	24	30	23	26	26
4 やや思う	11	10	8	6	11	9	7
3 どちらともいえない	2	7	4	2	4	3	5
2 あまりそう思わない	1	1	0	0	0	0	0
1 まったくそう思わない	0	2	2	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	38	38	38	38	38	38	38

科目 基本体育A
(火3)

授業コード 10129

担当 石垣 享

教室 体育館・第2講義室

回答した学生 32名

受講登録者 35名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	24
4	90%くらい	6
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		32

設問		2	3
5	強く思う	16	9
4	やや思う	12	13
3	どちらともいえない	4	7
2	あまりそう思わない	0	3
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		32	32

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	15
4	やや思う	14
3	どちらともいえない	2
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		32

設問		5
5	ほぼ時間どおり	29
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		32

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	21	14	19	22	10	14	15
4	やや思う	6	9	9	7	10	8	14
3	どちらともいえない	2	4	1	2	11	7	1
2	あまりそう思わない	2	4	2	0	0	2	1
1	まったくそう思わない	1	1	1	1	1	1	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		32	32	32	32	32	32	32

科目 基本体育A
(火4)

授業コード 10130

担当 石垣 享

教室 体育館・第2講義室

回答した学生 23名

受講登録者 25名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	15
4	90%くらい	7
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		23

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	8	4
4	やや思う	14	11
3	どちらともいえない	1	6
2	あまり思わない	0	2
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		23	23

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	6
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		23

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	21
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		23

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	17	9	14	17	10	13	12
4	やや思う	4	12	6	4	9	8	8
3	どちらともいえない	2	1	3	2	4	2	3
2	あまり思わない	0	1	0	0	0	0	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		23	23	23	23	23	23	23

授業科目	基本体育 A				担当者	石垣 享	
開講時期	前期	曜日	火	時限	2・3・4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>本授業は、自身の身体を多角的に分析し、これらに関連する知識を講義により習得することで、自身を客観的に評価する能力を養うことが可能となることである。本授業は、今後の人生を健康で過ごせるような生活習慣と疾病構造に関しての基礎的な知識を習得することを目指す。また、緊急事態への対処、障がい者への介助法の技能も習得することができることである。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>専門課程の授業ではなく、さらに体育は、音楽または美術との対極にある分野であるのに、受講生の多くが授業へ関心を持ち、また授業へ意欲的に取り組む姿勢を示したことに大変満足をしている。本年は、音楽専攻学生の関心が著しく高まっていた。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>授業への準備および熱意に関しては例年通り高い評価を得られ、努力が認められていると感じることができる。また、昨年同様に教員とのコミュニケーションは、多人数を一度に相手にするのに多くの者が取れていると感じていることの根拠は不明である。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>障がい者への介助方法に関する記述が多く、この内容の意義をきちんと理解し、さらに有用性を見出してくれている事に、教える側からも感謝の意を伝えたい。 「(唯一) 大学らしい講義を聞いて楽しかった。」という意見には、驚いてもいるが、授業内容および進め方に自信が持てる。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>ある受講生にとっては、内容が難しく、また展開方法によっては眠くなるようであるが、多くの不満は出していない。よって、このままでかまわないと思われる。 例年通り、問題は施設のハード面、シラバスの閲覧方式等の法人または機関における問題のみとなった。教員の努力すべき箇所は全てクリアしたので、後は機関による改善を強く要求する。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>特に必要ないと言える。</p> <p>4 その他、意見</p> <p>学則にあるように、授業形態は、講義、演習、実技の3形態であるため、このアンケートもそうすべきである。</p>							

科目 基本体育B
(火2)

授業コード 10125

担当 石垣 享

教室 体育館・講義棟第2教室

回答した学生 35名

受講登録者 39名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	21
4	90%くらい	11
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		35

設問		2	3
5	強く思う	27	22
4	やや思う	8	9
3	どちらともいえない	0	4
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		35	35

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	19
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		35

設問		5
5	ほぼ時間どおり	32
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		35

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	30	25	30	29	26	16	25
4	やや思う	4	7	5	6	6	7	10
3	どちらともいえない	0	3	0	0	2	9	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	1	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		35	35	35	35	35	35	35

科目 基本体育B
(火3)

授業コード 10126

担当 石垣 享

教室 体育館・講義棟第2教室

回答した学生 19名

受講登録者 22名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	8
3	80%くらい	4
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		19

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	12	6
4	やや思う	7	8
3	どちらともいえない	0	4
2	あまり思わない	0	1
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		19	19

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	5
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		19

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	18
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		19

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	15	9	14	16	8	3	11
4	やや思う	3	6	4	3	8	7	7
3	どちらともいえない	1	4	1	0	2	2	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	1	5	1
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		19	19	19	19	19	19	19

授業科目	基本体育 B				担当者	石垣 享	
開講時期	前期	曜日	火	時限	2・3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>本授業は、自身の身体プロフィールを客観的に認識することができるようになる。さらに、団体レクリエーションスポーツを行うことで、対人コミュニケーション能力を養うことができるようになる。本授業は、今後の人生においても自身の身体についての現状を客観的に理解することができる能力に加えて、一つの目標に向かい集団で努力をする体験を得ることで社会性を育むことを目標とする。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>専門課程の授業ではなく、さらに体育は、音楽または美術との対極にある分野であるのに、受講生の多くが授業へ関心を持ち、また授業へ意欲的に取り組む姿勢を示したことに大変満足をしている。本年は、音楽専攻学生の関心が著しく高まっていた。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>授業への準備および熱意に関して音美の学生達の殆どが、その様に思えると回答しており、ここに限れば過去最高であった。また、授業への関心を持つ学生も多く認められたことに満足している。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて</p> <p>本学の学生は、スポーツ経験に乏しい者が多く存在し、体力レベルや技能レベルにおいて大きな差が認められる集団である。これまで幾多の工夫を凝らし中で生まれた「県芸ルール」が、これらの学生のレクリエーション展開において効果的であったと思われず。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>授業展開に関しては、全く問題が無いことが示されている。後は、例年通り、問題は施設のハード面、シラバスの閲覧方式等の法人または機関における問題のみとなった。教員の努力すべき箇所は全てクリアしたので、後は機関による改善を強く要求する。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>グラウンドを活用することで、普段屋内にいる学生達を戸外の活動に触れさせたいが、グラウンドが不整地であり捻挫等の危険があるために実施出来ない。これが、残されたほぼ唯一の工夫および改善の場だと考えられる。</p> <p>4 その他、意見</p> <p>例年通りの結果が、毎年認められるということは、このアンケートによって目標等を知ることができず、新たな調査項目の追加に加えて、既存のものからの削除も必要と考えられる。</p>							

科目 基礎生物学A

授業コード 10131

担当 黒田 英世

教室 新講義棟大教室

回答した学生 30名

受講登録者 62名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	14
4	90%くらい	6
3	80%くらい	7
2	70%くらい	1
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		30

設問		2	3
5	強く思う	4	5
4	やや思う	6	6
3	どちらともいえない	14	13
2	あまりそう思わない	6	6
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		30	30

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	12
3	どちらともいえない	5
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		30

設問		5
5	ほぼ時間どおり	21
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	3
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		30

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	14	9	9	15	2	14	7
4	やや思う	9	7	12	11	3	8	15
3	どちらともいえない	7	7	8	3	15	7	8
2	あまりそう思わない	0	5	1	1	5	1	0
1	まったくそう思わない	0	2	0	0	5	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		30	30	30	30	30	30	30

科目 基礎生物学B

授業コード 10127

担当 黒田 英世

教室 物理化学実験室

回答した学生 33名

受講登録者 82名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	18
4	90%くらい	13
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		33

設問		2	3
5	強く思う	13	13
4	やや思う	11	13
3	どちらともいえない	8	7
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		33	33

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	12
3	どちらともいえない	4
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		33

設問		5
5	ほぼ時間どおり	22
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	4
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		33

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	22	16	16	23	9	20	16
4	やや思う	7	8	11	9	10	7	13
3	どちらともいえない	4	7	5	1	12	6	4
2	あまりそう思わない	0	2	1	0	1	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		33	33	33	33	33	33	33

科目 芸術と諸科学
(隔週)

授業コード 10128

担当 大塚 直

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 39名

受講登録者 61名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	12
4	90%くらい	19
3	80%くらい	6
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		39

設問		2	3
5	強く思う	19	27
4	やや思う	15	10
3	どちらともいえない	5	2
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		39	39

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	24
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		39

設問		5
5	ほぼ時間どおり	27
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	5
1	よくわからない	3
	無回答	0
小計		39

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	23	27	28	17	18	29
4	やや思う	9	9	7	10	15	6	7
3	どちらともいえない	6	6	5	1	6	13	3
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	1	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		39	39	39	39	39	39	39

授業科目	芸術と諸科学			担当者	大塚 直／他		
開講時期	後期	曜日	水	時限	4,5	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>美術・音楽・文学・演劇・映画など、芸術と関連するさまざまな分野において第一線で活躍されている先生方を7名、訪問講師としてお招きし、毎回順番に一回完結形式で講義をしていただくオムニバス形式の授業。芸術系学生にとって刺激となるテーマを提供し、実技の上でも役立つであろう幅広い見識を養ってもらおう。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>受講登録者61名のうち、39名が回答してくれた。全7回の講義のうち、履修するには5回以上の出席が必要、とシラバスに謳ったのだが、逆に2回は休んでも構わない、と考えた学生がいたためか、相対的に出席率が悪く、遅刻する学生も多かった。100%出席してくれたのは、全体の31%程度の学生であった。</p> <p>しかし意欲的に授業に取り組んでくれた学生は、全体の約85%に及び、授業後に興味・関心が高まったと回答してくれた学生は、「強くそう思う」69%で、「ややそう思う」を含めると、全体の95%に達した。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>今年度は「言葉と芸術」という統一テーマを設けて講義していただいた。訪問講師と講義名、講義予定日を早めにシラバスで周知させたので、授業の選択に役立ったと回答した学生が90%以上に達した。</p> <p>初対面の先生と学生とのあいだでは、相互にコミュニケーションを取りづらい、ということがあるが、約80%の学生は意見交換ができた、と捉えている。質疑応答の時間を十分に設けたのが良かった。</p> <p>全体の60～70%の学生が「強くそう思う」で、講師の先生方の話し方・説明の仕方・授業に対する熱意を感じ取ってくれた。「ややそう思う」も含めると、全体の85%の学生が授業に満足していたことが分かる。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて</p> <p>さまざまな分野のゲスト講師のいろいろな講義が聞けて本当に楽しく有意義であった、という意見が多数寄せられた。</p> <p>普段聞けない話をいろいろと聞けて、視野が開かれたし、今まで知らなかったことに興味を持てるようになった、という意見。</p> <p>第一線で活躍されている先生方の話を生で聞けて、これまで本で読んだだけでは分からなかったことを、面白く噛み砕いて伝えてくださったので、とても印象深かったし、強く記憶に残っている、という意見。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>芸術資料館地下演習室を教室として利用したが、冬はとても寒く、施設設備に問題がある、という意見が多く見られた。</p> <p>また教室の机と椅子がひどくて感想文が書きにくかった、改善してほしいなどの要望が寄せられた。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>今年度は「言葉と芸術」という統一テーマだったので、美術学部の学生にとっても、音楽学部の学生にとっても、共通してさまざまなジャンルから脱領域的に学べるところが良かった。特に感想文では、出色のレポートが多く見られた。</p> <p>来年度は「芸術表現力と教養」というテーマを設けて、実技系の学生たちに自分たちの芸術表現活動の裏づけとなるような生きた専門的知識を学ばせると同時に、表現者としての視野を大きく広げてもらいたいと思っている。</p> <p>4 その他、意見</p> <p>特になし。</p>							

科目 英語初級 I
(月 4)

授業コード 10129

担当 松永 隆

教室 講義棟第 2 教室

回答した学生 16 名

受講登録者 20 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	4
3	80%くらい	5
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		16

設問		2	3
5	強く思う	2	5
4	やや思う	7	8
3	どちらともいえない	6	3
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		16	16

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		16

設問		5
5	ほぼ時間どおり	14
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		16

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	15	10	11	14	9	6	11
4	やや思う	1	4	4	1	3	6	5
3	どちらともいえない	0	2	1	1	2	1	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	2	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		16	16	16	16	16	16	16

科目 英語初級 I
(月3)

授業コード 10130

担当 ナイレ・アン・キナン

教室 講義棟第4教室

回答した学生 21名

受講登録者 26名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	13
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		21

設問		2	3
5	強く思う	8	9
4	やや思う	8	8
3	どちらともいえない	4	3
2	あまり思わない	1	1
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		21	21

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	14
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	0
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		21

設問		5
5	ほぼ時間どおり	16
4	延長することが多い	5
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		21

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	15	15	15	18	17	11	15
4	やや思う	6	6	6	3	4	4	4
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	3	2
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		21	21	21	21	21	21	21

科目 英語初級 I
(月 4)

授業コード 10131

担当 ナイレ・アン・キナン

教室 講義棟第 1 教室

回答した学生 91 名

受講登録者 106 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	19
4	90%くらい	34
3	80%くらい	31
2	70%くらい	5
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		91

設問		2	3
5	強く思う	17	19
4	やや思う	29	23
3	どちらともいえない	29	30
2	あまり思わない	12	14
1	まったく思わない	4	5
	無回答	0	0
小計		91	91

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	63
4	やや思う	14
3	どちらともいえない	11
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	2
	無回答	0
小計		91

設問		5
5	ほぼ時間どおり	70
4	延長することが多い	12
3	開始が遅いことが多い	8
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		91

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	56	52	52	60	47	45	41
4	やや思う	26	27	24	23	34	32	34
3	どちらともいえない	8	11	12	8	9	10	16
2	あまり思わない	1	1	2	0	1	3	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	1	0	0	0	0
小計		91	91	91	91	91	91	91

科目 英語初級Ⅱ
(水3)

授業コード 10132

担当 堀江 薫

教室 講義棟第5教室

回答した学生 7名

受講登録者 13名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	2
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	6	3
4	やや思う	0	2
3	どちらともいえない	1	0
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	2
	無回答	0	0
小計		7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	3
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		7

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	2
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		7

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	2	3	2	3	2	3	2
4	やや思う	1	3	1	1	2	3	3
3	どちらともいえない	2	0	2	2	1	0	1
2	あまり思わない	1	1	2	1	2	1	1
1	まったく思わない	1	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7

科目 英語初級Ⅱ
(水3)

授業コード 10133

担当 井土 慎二

教室 講義棟第6教室

回答した学生 61名

受講登録者 70名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	21
4	90%くらい	20
3	80%くらい	12
2	70%くらい	5
1	60%以下	3
	無回答	0
小計		61

設問		2	3
5	強く思う	5	4
4	やや思う	23	16
3	どちらともいえない	27	30
2	あまりそう思わない	4	8
1	まったくそう思わない	2	3
	無回答	0	0
小計		61	61

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	17
3	どちらともいえない	27
2	あまりそう思わない	6
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		61

設問		5
5	ほぼ時間どおり	38
4	延長することが多い	9
3	開始が遅いことが多い	14
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		61

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	7	10	10	6	9	7
4	やや思う	25	18	24	22	14	19	23
3	どちらともいえない	17	25	19	22	23	22	27
2	あまりそう思わない	8	9	7	5	9	6	4
1	まったくそう思わない	2	2	1	2	9	5	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		61	61	61	61	61	61	61

授業科目	英語初級 II				担当者	井土慎二		
開講時期	通年	曜日	水	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>基本的な文法事項の復習と簡単な英文の読解ができるようになることを目的とする。目標は基本的な文法事項を確認することと辞書に載っている情報を活用できるようになることである。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 英語の基礎的な文法の復習であるので、高校でつまづいた学生の意欲をもっと起こしたい。一方、登録者70人の大人数の受講者に大教室で意欲を起こさせるようなきめ細かい授業の運営をする困難が感じられた。</p> <p>(2) 授業について 登録者70人で出席者も60人を超える大人数のクラスなので、これを中規模以下のクラスにできれば授業の品質を上げられると感じた。登録者が43人の同じ初級IIのクラスでは8割を超える学生がよい授業であるとの評価をしているのに対してこのクラスでは半数程度しかよい授業であるとの評価をしていない。授業内容には大差がないので、評価の差の主な要因は授業内容以外の要因に求められると考える。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 授業内容に関連する記述がないので特になし。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 大教室で大人数の授業であるため、受講生のうち一定の割合は必ずしも授業に参加しておらず、講義内容にも注意を払っていない。説明についても同内容の説明がわかりやすいとの複数の評価を他のクラスでうけていることからして、分かりにくいとは考えにくく、講師が全受講生を授業に参加させることができていない、もしくは受講生が授業に参加する環境（例えば大人数でない授業など）ができていない、受講生が積極的に授業への参加を避けているなどの理由が考えられる。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>複数の非常勤講師からも再三の要望を受けているので、できれば大人数の授業をなくしたい。また、板書の字がより読み易くなるように努力したい。</p> <p>4 その他、意見</p> <p>特になし。</p>								

科目 英語初級Ⅱ
(水4)

授業コード 10134

担当 井土 慎二

教室 講義棟第4教室

回答した学生 38名

受講登録者 43名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	11
4	90%くらい	19
3	80%くらい	7
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		38

設問		2	3
5	強く思う	7	7
4	やや思う	16	12
3	どちらともいえない	10	12
2	あまりそう思わない	4	5
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	1
小計		38	38

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	10
3	どちらともいえない	14
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	4
	無回答	0
小計		38

設問		5
5	ほぼ時間どおり	32
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		38

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	23	15	17	17	12	13	14
4	やや思う	12	10	15	13	11	10	17
3	どちらともいえない	2	9	6	8	11	9	6
2	あまりそう思わない	1	3	0	0	3	3	1
1	まったくそう思わない	0	1	0	0	1	3	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		38	38	38	38	38	38	38

授業科目	英語初級 II				担当者	井土慎二		
開講時期	通年	曜日	水	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 基本的な文法事項の復習と簡単な英文の読解ができるようになることを目的とする。目標は基本的な文法事項を確認することと辞書に載っている情報を活用できるようになることである。</p> <p>2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 英語の基礎的な文法の復習であるので、高校でつまづいた学生の意欲をもっと起こしたい。</p> <p>(2) 授業について 授業全般の肯定的な評価は8割を超えた。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 説明が「とてもわかりやすい」「個人的にはわかりやすかった」「丁寧だった」という記述ばかりであり、説明の良さに評価が集中していた。「分かりやすい」「丁寧」という評価について、分かりやすい説明をするためにしている授業準備の結果が反映されたと感じた。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 他の授業同様、教室・設備についての不満が多い。また、要望にあるとおり、教壇にのせてあるテレビは、黒板の2、3割の使用を妨げるので、テレビの教壇の上への設置を禁止すべきである。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD） 履修登録者数を各教室でより均等にしたい。</p> <p>4 その他、意見 特になし。</p>								

科目 英語初級Ⅱ
(水2)

授業コード 10135

担当 トーマス・オーエン・コックス 教室 講義棟第4教室

回答した学生 28名

受講登録者 37名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	17
3	80%くらい	6
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		28

設問		2	3
5	強く思う	7	8
4	やや思う	16	13
3	どちらともいえない	4	7
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		28	28

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	6
3	どちらともいえない	16
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		28

設問		5
5	ほぼ時間どおり	26
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		28

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	8	6	15	12	7	11
4	やや思う	13	10	11	8	12	9	9
3	どちらともいえない	6	8	9	5	4	8	7
2	あまりそう思わない	5	2	1	0	0	3	1
1	まったくそう思わない	0	0	1	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		28	28	28	28	28	28	28

科目 英語中級 I
(月3)

授業コード 10136

担当 井土 慎二

教室 講義棟第2教室

回答した学生 11名

受講登録者 20名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	4
3	80%くらい	5
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		11

設問		2	3
5	強く思う	4	4
4	やや思う	4	3
3	どちらともいえない	1	2
2	あまり思わない	2	2
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		11	11

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	2
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	1
	無回答	0
小計		11

設問		5
5	ほぼ時間どおり	9
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		11

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	8	5	6	6	4	4	6
4	やや思う	2	4	4	2	4	3	5
3	どちらともいえない	1	2	1	3	2	3	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	1	0	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		11	11	11	11	11	11	11

授業科目	英語中級 I				担当者	井土慎二		
開講時期	通年	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>英文購読を目的とし、辞書を利用して専門的でない英文を読むことと聞き手に負担をかけない程度に通じやすい発音ができることを目標とする。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 意欲をもって取り組んだ学生が多かった。また、比較的少人数であったことも意欲の向上に役立ったと感じる。</p> <p>(2) 授業について 全員がよい授業であるとの評価を下している。そのうち55パーセントが「強くそう思う」と回答していることから、評価が非常に高いことがわかる。ただし教室・設備に対する不満が多い。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて リラックスした雰囲気、良い授業との記述があった。これは、受講生が比較的少ないことから生まれる効果であると感じる。逆に、受講生の数が増えればこのような高評価は維持できないと想像する。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 例年どおり、教室・設備についての不満が多い。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) シラバスの記述に詳しさを加える。</p> <p>4 その他、意見</p>								

科目 英語中級 I
(月 4)

授業コード 10137

担当 井土 慎二

教室 講義棟第 4 教室

回答した学生 27 名

受講登録者 47 名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	6
4	90%くらい	13
3	80%くらい	5
2	70%くらい	2
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		27

設問		2	3
5	強く思う	5	6
4	やや思う	11	10
3	どちらともいえない	9	9
2	あまりそう思わない	2	2
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		27	27

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	9
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		27

設問		5
5	ほぼ時間どおり	21
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		27

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	16	14	15	14	10	14	13
4	やや思う	4	8	7	6	5	8	6
3	どちらともいえない	7	5	5	6	9	4	8
2	あまりそう思わない	0	0	0	1	1	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		27	27	27	27	27	27	27

授業科目	英語中級 I			担当者	井土慎二		
開講時期	通年	曜日	月	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習
<p>1 この授業における教育方法の特徴 英文購読を目的とし、辞書を利用して専門的でない英文を読むことと聞き手に負担をかけない程度に通じやすい発音ができることを目標とする。</p> <p>2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 特になし。</p> <p>(2) 授業について 小さく横長の教室はこの人数にはちょうど良かったと感じた。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 特になし。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について チョークは確かにいつでも短いものしかなかった。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 例年にまして説明をより分かりやすくすることを心がけたい。</p> <p>4 その他、意見</p>							

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	9
4	90%くらい	17
3	80%くらい	8
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		35

設問		2	3
5	強く思う	15	16
4	やや思う	10	11
3	どちらともいえない	8	6
2	あまりそう思わない	2	2
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		35	35

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	6
3	どちらともいえない	6
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	3
	無回答	1
小計		35

設問		5
5	ほぼ時間どおり	33
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		35

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	21	23	18	28	23	17	23
4	やや思う	8	4	7	4	3	3	5
3	どちらともいえない	3	6	8	2	8	8	5
2	あまりそう思わない	2	1	1	0	0	4	1
1	まったくそう思わない	1	1	1	1	1	3	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		35	35	35	35	35	35	35

科目 英語上級 I

授業コード 10139

担当 松永 隆

教室 講義棟第5教室

回答した学生 8名

受講登録者 19名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	2
3	80%くらい	4
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		8

設問		2	3
5	強く思う	0	0
4	やや思う	2	5
3	どちらともいえない	4	1
2	あまり思わない	1	1
1	まったく思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		8	8

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	2
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	1
	無回答	0
小計		8

設問		5
5	ほぼ時間どおり	6
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		8

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	6	6	5	3	1	2
4	やや思う	2	1	1	1	3	1	3
3	どちらともいえない	2	1	0	2	2	5	3
2	あまり思わない	0	0	1	0	0	1	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		8	8	8	8	8	8	8

科目 英語上級Ⅱ

授業コード 10140

担当 堀江 薫

教室 講義棟第5教室

回答した学生 7名

受講登録者 17名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	4
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		7

設問		2	3
5	強く思う	4	2
4	やや思う	3	4
3	どちらともいえない	0	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		7	7

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	0
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		7

設問		5
5	ほぼ時間どおり	5
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	1
小計		7

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	3	3	4	4	1	5
4	やや思う	2	2	3	1	3	1	2
3	どちらともいえない	1	1	1	2	0	3	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	1	0	0	0	0	0
小計		7	7	7	7	7	7	7

科目 ドイツ語初級Ⅰ
(月3)

授業コード 10141

担当 大塚 直

教室 講義棟第1教室

回答した学生 57名

受講登録者 69名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	25
4	90%くらい	16
3	80%くらい	13
2	70%くらい	3
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		57

設問		2	3
5	強く思う	29	34
4	やや思う	17	15
3	どちらともいえない	8	7
2	あまり思わない	2	0
1	まったく思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		57	57

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	28
4	やや思う	16
3	どちらともいえない	10
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	2
	無回答	0
小計		57

設問		5
5	ほぼ時間どおり	54
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		57

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	40	40	40	47	36	32	43
4	やや思う	10	10	6	6	13	11	11
3	どちらともいえない	3	5	8	4	3	5	2
2	あまり思わない	3	2	2	0	5	5	1
1	まったく思わない	1	0	1	0	0	4	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		57	57	57	57	57	57	57

授業科目	ドイツ語初級 I				担当者	大塚 直	
開講時期	通年	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

初めてドイツ語を学ぶ初学者を対象に、アルファベートの読み方やドイツ語の発音の仕方、および基礎的な文法事項をひととおり学び終える。ドイツ語という言葉に対する感受性を養ってもらうと同時に、言葉の背景にあるドイツ人のものの見方、考え方にも慣れ親しんでもらう。

毎回新しく登場する文法事項を A4 一枚のプリントにまとめて配布した。

音楽学部の学生の受講者が多いので、ドイツの歌曲を紹介したり、ドイツの絵本を読ませたりして、ドイツ語の世界を親しみ深いものにする努力をした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

受講登録者 69 名のうち、57 名が回答してくれた。出席率 100% の学生が全体の約 45% を占めており、意欲的に授業に取り組んだ学生は「強くそう思う」が全体の約 50% に達した。このことから、ほぼ半数の学生は必ず出席し、意欲的に受講していたことが伺える。

授業後にドイツ語に対する興味・関心が高まった学生は「強くそう思う」が全体の約 60%、「ややそう思う」と回答した学生と合わせると、全体の 85% 以上に達した。

以上のことから、当初から意欲的にドイツ語を受講し、受講によって興味・関心を深めた学生が半数以上いることが分かる。しかしその一方で、ドイツ語に興味がないまま履修し、授業を聞いていなかったであろう学生も、全体の約 15% 程度いたことが伺える。

(2) 授業について

全体の約 70% の学生が板書やプリント、教員の話し方、説明の仕方を「強く」分かりやすいと感じていることが分かる。「やや」分かりやすいと考えている学生を含めると、約 90% の学生が授業内容を理解しながら受講していたことがアンケート結果から確認できた。

そして全体の約 95% の学生が、総合的に授業内容を高く評価してくれている。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

すごく授業が分かりやすい、との声が寄せられた。

また単なる文法説明に終始せず、ドイツの文化紹介に時間を割いたので、特にドイツ歌曲を毎回紹介してもらえたのがとても良かった、との意見が多かった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

教室の施設整備に関して、黒板が見づらいので新しいものに変えてほしい、また教室自体が暑かった・寒かったなどの意見が寄せられた。

授業のペースが早かった、との声があったので、来年度以降の授業で考慮したい。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

音楽学部の学生など、ドイツ語が必要で熱心に受講していると感じられるので、今後も学生のことを気遣いながら、より良い授業になるように心がけたい。

語学の授業としては大人数なので、個々の学生とのコミュニケーションにもう少し工夫をはかりたい。

また、必ず教科書の終わりまで進むようにしているため、授業ペースが早いので、そこも考慮したい。

4 その他、意見

授業中に慌ただしく「授業アンケート」を行ったので、正確に学生の意見が反映されているのか、疑問が残る。例えば学期末テスト終了後にユニパ等を利用してアンケートを行うなど、アンケートの仕方自体に工夫が必要なのではないか。

科目 ドイツ語初級Ⅰ
(月4)

授業コード 10142

担当 大庭 正春

教室 講義棟第5教室

回答した学生 29名

受講登録者 39名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	18
3	80%くらい	7
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		29

設問		2	3
5	強く思う	7	8
4	やや思う	10	12
3	どちらともいえない	10	8
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		29	29

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	13
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	4
	無回答	0
小計		29

設問		5
5	ほぼ時間どおり	25
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		29

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	12	9	10	13	9	3	11
4	やや思う	5	6	5	7	9	9	10
3	どちらともいえない	10	8	9	7	9	7	7
2	あまりそう思わない	1	4	3	2	1	5	1
1	まったくそう思わない	1	2	2	0	1	5	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		29	29	29	29	29	29	29

科目 ドイツ語初級Ⅱ
(水2)

授業コード 10143

担当 大塚 直

教室 芸術資料館演習室

回答した学生 36名

受講登録者 57名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	15
4	90%くらい	9
3	80%くらい	12
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		36

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		2	3
5	強く思う	18	18
4	やや思う	9	13
3	どちらともいえない	8	4
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		36	36

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	9
3	どちらともいえない	8
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		36

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	34
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		36

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	29	30	31	33	27	16	27
4	やや思う	5	5	2	1	7	6	6
3	どちらともいえない	0	0	2	2	2	7	3
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	0	1	0
1	まったくそう思わない	1	0	1	0	0	6	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		36	36	36	36	36	36	36

授業科目	ドイツ語初級Ⅱ				担当者	大塚 直	
開講時期	通年	曜日	水	時限	2	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

初めてドイツ語を学ぶ初学者を対象に、アルファベートの読み方やドイツ語の発音の仕方、および基礎的な文法事項をひとつおき学び終える。ドイツ語という言葉に対する感受性を養ってもらおうと同時に、言葉の背景にあるドイツ人のものの見方、考え方にも慣れ親しんでもらう。

会話中心の教科書を使用して、実践的な「使える」表現学習の習得に努めた。

毎回新しく登場する文法事項をA4一枚のプリントにまとめて配布した。

音楽学部の学生の受講者が多いので、ドイツの歌曲を紹介したり、ドイツの絵本を読ませたりして、ドイツ語の世界を親しみ深いものにする努力をした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

受講登録者 57 名のうち、36 名が回答してくれた。

出席率 100%の学生が 42%、90%の学生が 25%、80%以上の学生が 33%と、出席に関するアンケート結果を見ると、定期的に授業を欠席する学生が何名かいたことが分かる。しかし「強くそう思う」と「ややそう思う」を合わせると、全体の約 75%の学生が意欲的に授業に取り組み、約 85%の学生が興味・関心を高めてくれたことが分かる。熱心に履修してくれた学生が大半を占めているのだが、受講意欲の低い学生も確実に含まれている。語学の授業なので、出席率が低く意欲的でない学生は、問題である。

(2) 授業について

教員の話し方・説明の仕方や、板書やプリントの見やすさなどを、全体の 85%程度の学生が「強くそう思う」で高く評価している。また教え方の熱心さを 92%の学生が「強くそう思う」と高く評価してくれた。「ややそう思う」も含めると、受講生の約 95%は講義に満足してくれたと考えられる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

文法説明のために配布したプリントが分かりやすかった、とても授業が楽しかった、文化紹介の時間がとても面白かった、などの意見が多数寄せられた。今年は使用した教科書も評判が良かった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

施設・整備の点では、冷暖房がきいていない、机が狭い、など今年度も改善の要望が多数寄せられた。

これは毎年のことなので、法人側が予算をとって、机と椅子など施設を改善すべきである。

その他、ドイツ語自体が難しい、との意見もあったので、今後も分かりやすい授業を心がけたい。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

好意的に受講してくれている学生が多いので、今後も学生のことを考えながら、より良い授業となるように心がけたい。

4 その他、意見

アンケートの質問があまりに一般的過ぎるので、語学系や実技系など、講義内容に合わせて質問内容を変えてもよいのではないか。

この程度のアンケートならば、授業で学生と接していて自ずと分かることなので、わざわざFDと称して行う必要もないのではないか。アンケート結果が来年度以降の授業に対して、実はほとんど参考にならないように思われる。

例えば語学教員にとっては、使用している教科書が使いやすかったか、メディア教材をもっと活用すべきかなど、時代にあった質問を設けてもよいように思われる。これらについては、直接学生と話しながら、来年度以降の授業に生かしていこうと思う。

科目 ドイツ語初級Ⅱ
(水3)

授業コード 10144

担当 山本 弘之

教室 講義棟第2教室

回答した学生 30名

受講登録者 41名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	17
3	80%くらい	7
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		30

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問			
	2	3	
5	強く思う	10	13
4	やや思う	13	11
3	どちらともいえない	7	6
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		30	30

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	10
3	どちらともいえない	9
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		30

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	26
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		30

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	17	22	22	14	9	21
4	やや思う	5	11	7	8	13	9	8
3	どちらともいえない	1	2	1	0	2	6	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	1	4	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		30	30	30	30	30	30	30

科目 ドイツ語中級 I

授業コード 10145

担当 大塚 直

教室 講義棟第3教室

回答した学生 23名

受講登録者 31名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	12
3	80%くらい	8
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		23

設問		2	3
5	強く思う	10	10
4	やや思う	12	12
3	どちらともいえない	1	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		23	23

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	9
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	7
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		23

設問		5
5	ほぼ時間どおり	20
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		23

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	18	18	18	15	18	10	18
4	やや思う	4	5	5	8	5	5	5
3	どちらともいえない	1	0	0	0	0	3	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	4	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		23	23	23	23	23	23	23

授業科目	ドイツ語中級 I				担当者	大塚 直	
開講時期	通年	曜日	火	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

基礎的な文法事項をひとつおき学び終えた学生を対象に、やや高度な文章を受講者全員で輪読することで、ドイツ語購読の楽しさに触れると同時に、初歩的な文法事項を反復練習しながら、中級レベルの実用的なドイツ語運用能力を培ってゆくことを目指した。

授業中に「ドイツ語圏の文化紹介」をする時間を設けて、毎回順番に学生には各自興味を持ったテーマについて発表してもらい、ドイツ語の言葉の背景にある西洋文化にも広く親しんでもらうことを心がけた。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

受講登録者が 31 名、回答者が 23 名だった。ときどき欠席する学生が全体の 35%程度もいた。

意欲的に取り組み、授業後に興味・関心が高まったと回答した学生は「強くそう思う」と「ややそう思う」を合わせると、全体の約 95%に達した。しかし「ややそう思う」と答えた学生数の方が数としては多かったため、どちらかといえば頑張ったが、実はそれほど頑張ったとは思っていない学生が多かったのではないかと推察される。

これは学内演奏会が火曜日に催されるので、それに合わせて欠席せざるを得ない学生が多かったなど、授業開講日や開講時間帯の事情もある。

(2) 授業について

受講生の 78%が「強くそう思う」、22%が「ややそう思う」で、全員 100%の学生が教員の説明の仕方は分かりやすく、学生とのコミュニケーションも十分にとれていた、授業全般について総合的に評価できると回答していることが分かる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

授業が分かりやすく、受講していてすごく楽しかった、という意見が寄せられた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

毎回、独和辞典を持ってこなかったり、予習してきていない学生がいたりしたので、勉強する姿勢のない学生とは一緒に履修したくなかった、という学生の受講態度に対する批判が見られた。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

好意的に受講してくれている学生が多いので、今後も学生のことを気遣いながら、より良い授業となるように心がけたい。

4 その他、意見

特になし。

科目 ドイツ語中級Ⅱ

授業コード 10146

担当 ジャクリーン・ポルスト

教室 講義棟第5教室

回答した学生 10名

受講登録者 26名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	5
3	80%くらい	4
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		10

設問		2	3
5	強く思う	5	7
4	やや思う	4	2
3	どちらともいえない	1	1
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		10	10

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	4
3	どちらともいえない	1
2	あまり思わない	0
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		10

設問		5
5	ほぼ時間どおり	8
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		10

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	6	6	2	8	7	8	9
4	やや思う	0	3	7	2	3	1	0
3	どちらともいえない	4	1	1	0	0	0	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	1	1
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	10	10	10	10	10	10

科目 ドイツ語上級 I

授業コード 10147

担当 大塚 直

教室 講義棟第5教室

回答した学生 11名

受講登録者 14名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	6
3	80%くらい	0
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		11

設問		2	3
5	強く思う	8	9
4	やや思う	2	2
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		11	11

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	1
3	どちらともいえない	3
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		11

設問		5
5	ほぼ時間どおり	11
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		11

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	11	10	11	11	4	10
4	やや思う	2	0	1	0	0	3	1
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	2	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		11	11	11	11	11	11	11

授業科目	ドイツ語上級 I				担当者	大塚 直	
開講時期	通年	曜日	火	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

辞書さえあれば、ドイツ語の文献を難なく読み解いていける高度な読解力を養ってゆく。日本語とドイツ語の言語構造の違いに留意しながら、複雑なドイツ語構文を平易で分かりやすい日本語に翻訳できる翻訳の技術を学ぶ。

以上のねらいから、今年度はベートーヴェンの第九交響曲をめぐる文章を受講者全員で輪読していった。

不規則動詞の三基本形を毎回暗記させて小テストを行うなど、基本語彙の定着に努めた。

音楽学部の受講生がほとんどなので、ときにはドイツ歌曲を紹介したり、ドイツ映画を見せたりするなどして、ドイツ語の世界を親しみ深いものにする努力をした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

受講登録者は14名、回答した学生は11名だった。毎回小テストを行い、ドイツ語の長文読解を行う高度な授業内容だったので、予習をして積極的に授業に取り組んでくれた学生は90%以上に達した。

履修後に授業で扱った内容に興味・関心を高めたと「強くそう思う」受講生は全体の82%に達した。「ややそう思う」と回答した学生も含めると、全体の100%の学生がこの授業から刺激を受け取ってくれたことが分かる。

(2) 授業について

「強くそう思う」91%、「ややそう思う」9%で、受講生の全員100%が教員の説明の仕方は分かりやすかったと評価してくれている。板書の見やすさ、教員の熱心さ、コミュニケーションの取り方などでは、「強くそう思う」100%で、学生はこの授業内容を高く評価してくれた。

「強くそう思う」91%、「ややそう思う」9%で、受講生の全員100%が、この授業を高く評価している。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

単語テストや長文読解など、毎回授業自体はとても大変だったが、結果としてとてもタメになった、大塚先生が面白くて好きだった、など担当者の授業の進め方を学生たちが好意的に評価してくれた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

特になかった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

この授業はドイツ語上級ということで、本当にやる気のある学生だけを対象にして、高度な授業を展開している。そのために、学生には毎回負担が大きいと思われるのだが、多くの学生が大変だったが楽しかったし実りになった、と回答してくれているので、今後もしっかりとした授業を継続したいと思う。

4 その他、意見

特になし。

科目 フランス語初級Ⅰ・Ⅱ
(月3)

授業コード 10148

担当 内田 善孝

教室 講義棟第3教室

回答した学生 13名

受講登録者 17名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	4
4	90%くらい	5
3	80%くらい	4
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		13

設問		2	3
5	強く思う	9	10
4	やや思う	2	3
3	どちらともいえない	2	0
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		13	13

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	3
3	どちらともいえない	1
2	あまり思わない	2
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		13

設問		5
5	ほぼ時間どおり	13
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		13

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	8	8	10	12	10	6	10
4	やや思う	5	5	2	0	2	2	3
3	どちらともいえない	0	0	1	1	1	2	0
2	あまり思わない	0	0	0	0	0	1	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		13	13	13	13	13	13	13

授業科目	フランス語初級 I/II				担当者	内田善孝	
開講時期	通年	曜日	月・水	時限	3	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

フランス語初級の特徴は発音ができるようにすることです。発音ができないと、授業が苦痛になると思っています。大体の学生は一応発音ができるようになったと思います。とくに声学専攻の学生にとり、発音は重要です。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

ほとんどの学生が出席しており、一度も休まなかったのが31%います。「意欲的に取り組んだか」も85%が「強く、ややそう思う」と答えています。「授業への関心」も非常に高く、「強く、ややそう思う」が100%です。

(2) 授業について

「授業の開始時間」、「提示された資料」、「話し方」は「強く、ややそう思う」が100%、「説明の仕方」は92%と、学生が満足しているのが分かります。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

この学校の授業の中で最も興味を持って学べた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

窓際の足元に、冷気が来て寒い。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

4 その他、意見

科目 フランス語初級Ⅰ・Ⅱ
(月4)

授業コード 10149

担当 曾我 千亜紀

教室 講義棟第3教室

回答した学生 33名

受講登録者 39名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	16
3	80%くらい	10
2	70%くらい	1
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		33

設問		2	3
5	強く思う	13	24
4	やや思う	14	5
3	どちらともいえない	5	4
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		33	33

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	8
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	5
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		33

設問		5
5	ほぼ時間どおり	32
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		33

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	30	27	27	29	26	15	26
4	やや思う	2	3	3	4	6	4	6
3	どちらともいえない	1	3	3	0	1	8	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		33	33	33	33	33	33	33

科目 フランス語中級Ⅱ

授業コード 10152

担当 内田 善孝

教室 講義棟第5教室

回答した学生 6名

受講登録者 11名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	0
4	90%くらい	3
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		6

設問		2	3
5	強く思う	2	3
4	やや思う	3	3
3	どちらともいえない	1	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		6	6

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	2
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		6

設問		5
5	ほぼ時間どおり	6
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		6

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	3	4	5	5	4	4
4	やや思う	1	2	1	1	0	1	1
3	どちらともいえない	1	1	0	0	1	1	1
2	あまりそう思わない	0	0	1	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	6	6	6	6

授業科目	フランス語中級 II				担当者	内田善孝	
開講時期	通年	曜日	水	時限	4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

フランス語の文法を延々と練習する授業なので単調です。上級で講読を始めるためにはこの過程が必要です。今年では動詞の練習問題に力点を置きました。

学生が発音で困らないように、前期の最初に発音の練習をします。こうすればいちいち練習問題の答えを板書する必要はなく、答えを発音させて、前に進めます。とても効率が上がります。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

83%の学生が大体出席しています。「意欲的に取り組んだか」も 83%の学生が「強く、ややそう思う」と答えています。授業への関心については、「強く、ややそう思う」が 100%を占めています。

(2) 授業について

「板書、プリントなどの資料」、「教員の話し方」、「説明の仕方」については、83%が「強く、ややそう思う」と答えています。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

記述はありません。

(4) 自由記述より学生からの要望について

記述はありません。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

4 その他、意見

科目 イタリア語初級 I
(月3)

授業コード 10153

担当 水野 留規

教室 新講義棟大教室

回答した学生 32名

受講登録者 28名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	14
4	90%くらい	18
3	80%くらい	0
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		32

設問		2	3
5	強く思う	18	23
4	やや思う	12	9
3	どちらともいえない	2	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		32	32

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	17
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	7
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		32

設問		5
5	ほぼ時間どおり	28
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		32

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	20	23	19	23	21	26	23
4	やや思う	11	9	8	8	8	5	8
3	どちらともいえない	1	0	5	1	3	1	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		32	32	32	32	32	32	32

授業科目	イタリア語初級1				担当者	水野留規	
開講時期	通年	曜日	月	時限	3	アンケート様式	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習

1 この授業における教育方法の特徴

基礎文法の学習に重点が置かれるが、習ったことを応用し、表現に生かす訓練をする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

大半の学生が非常に意欲的、またはかなり意欲的に取り組んだと答えている。前期の間は一部の学生があまり意欲的ではなく、少しやりにくかった。後期になってそういう学生たちがやる気を出してきたので、最終的にはまずまずの成果が出せた。

(2) 授業について

開始時間と終了時間は正しく守られていた。教員の話すスピード、説明の仕方、配布資料なども非常に適切または適切であったと評された。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

特になし。

(4) 自由記述より学生からの要望について

文法をもっと学びたいという声があった。
奏楽堂教室の机が整っていないことへの不満があった。
マイクを使ってほしいという要望があった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

総合的に判断して「非常によい」授業、または「よい」授業であると評されたが、これは出席率が非常によく、教師と学生の間信頼関係が築かれたからだと思う。出席率が下がると学生も教師も不安になり、それが評価に影響する。来年度は、学生のモチベーションを高める同時に、クラス全体の到達度をもう少し上げたい。

4 その他、意見

科目 イタリア語初級 I
(月3)

授業コード 10154

担当 ロムアルド・パローネ

教室 奏楽堂第3教室

回答した学生 17名

受講登録者 26名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	8
3	80%くらい	6
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		17

設問		2	3
5	強く思う	3	7
4	やや思う	8	7
3	どちらともいえない	5	3
2	あまり思わない	0	0
1	まったく思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		17	17

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	3
4	やや思う	8
3	どちらともいえない	3
2	あまり思わない	2
1	まったく思わない	1
	無回答	0
小計		17

設問		5
5	ほぼ時間どおり	12
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		17

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	3	7	4	6	3	5	5
4	やや思う	6	5	5	7	4	6	8
3	どちらともいえない	6	5	6	3	7	4	4
2	あまり思わない	2	0	2	1	3	2	0
1	まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		17	17	17	17	17	17	17

科目 イタリア語初級Ⅱ
(水2)

授業コード 10155

担当 パヴェッテ・マシィミリアーノ

教室 新講義棟大教室

回答した学生 31名

受講登録者 34名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	14
4	90%くらい	14
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		31

設問		2	3
5	強く思う	17	23
4	やや思う	10	8
3	どちらともいえない	4	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		31	31

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	17
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	6
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		31

設問		5
5	ほぼ時間どおり	29
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		31

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	29	26	25	29	28	24	30
4	やや思う	1	4	5	2	3	5	1
3	どちらともいえない	1	1	1	0	0	2	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		31	31	31	31	31	31	31

科目 イタリア語初級Ⅱ
(水3)

授業コード 10156

担当 パヴェッテ・マシィミリアーノ

教室 新講義棟大教室

回答した学生 20名

受講登録者 28名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	9
4	90%くらい	8
3	80%くらい	3
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		20

設問		2	3
5	強く思う	9	14
4	やや思う	8	3
3	どちらともいえない	2	3
2	あまり思わない	1	0
1	まったく思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		20	20

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	5
2	あまり思わない	1
1	まったく思わない	0
	無回答	0
小計		20

設問		5
5	ほぼ時間どおり	17
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		20

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	17	13	14	17	15	15	17
4	やや思う	3	4	5	2	4	4	3
3	どちらともいえない	0	2	0	1	0	0	0
2	あまり思わない	0	1	0	0	0	1	0
1	まったく思わない	0	0	1	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		20	20	20	20	20	20	20

教 職 課 程

·

博 物 館 課 程

科目 教職入門
(音楽)

授業コード 10159

担当 不破 民由

教室 講義棟第6教室

回答した学生 64名

受講登録者 69名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問	1
5 100%	30
4 90%くらい	21
3 80%くらい	12
2 70%くらい	1
1 60%以下	0
無回答	0
小計	64

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	2	3
5 強く思う	28	31
4 やや思う	22	21
3 どちらともいえない	10	7
2 あまりそう思わない	3	4
1 まったくそう思わない	1	1
無回答	0	0
小計	64	64

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問	4
5 強く思う	25
4 やや思う	20
3 どちらともいえない	14
2 あまりそう思わない	2
1 まったくそう思わない	3
無回答	0
小計	64

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	5
5 ほぼ時間どおり	58
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	1
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	64

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	49	38	43	52	38	36	43
4 やや思う	13	21	19	8	19	16	16
3 どちらともいえない	1	4	2	3	7	5	4
2 あまりそう思わない	0	1	0	1	0	4	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	0	3	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計	64	64	64	64	64	64	64

科目 教職入門
(美術+ピアノ)

授業コード 10160

担当 不破 民由

教室 講義棟第6教室

回答した学生 56名

受講登録者 69名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	1
5 100%	14
4 90%くらい	26
3 80%くらい	13
2 70%くらい	3
1 60%以下	0
無回答	0
小計	56

設問	2	3
5 強く思う	18	20
4 やや思う	22	25
3 どちらともいえない	16	9
2 あまりそう思わない	0	1
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	56	56

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	4
5 強く思う	20
4 やや思う	11
3 どちらともいえない	20
2 あまりそう思わない	4
1 まったくそう思わない	1
無回答	0
小計	56

設問	5
5 ほぼ時間どおり	42
4 延長することが多い	4
3 開始が遅いことが多い	6
2 早く終わることが多い	3
1 よくわからない	1
無回答	0
小計	56

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	33	27	30	35	19	27	28
4 やや思う	13	14	15	14	21	15	19
3 どちらともいえない	10	14	10	7	12	13	9
2 あまりそう思わない	0	0	1	0	4	1	0
1 まったくそう思わない	0	1	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	56	56	56	56	56	56	56

科目 教育心理学
(美術)

授業コード 10161

担当 三宮 敦生

教室 講義棟第1教室

回答した学生 50名

受講登録者 71名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問	1
5 100%	14
4 90%くらい	22
3 80%くらい	10
2 70%くらい	3
1 60%以下	1
無回答	0
小計	50

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	2	3
5 強く思う	24	28
4 やや思う	11	15
3 どちらともいえない	12	6
2 あまり思わない	3	1
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	50	50

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問	4
5 強く思う	19
4 やや思う	12
3 どちらともいえない	13
2 あまり思わない	4
1 まったく思わない	2
無回答	0
小計	50

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	5
5 ほぼ時間どおり	46
4 延長することが多い	2
3 開始が遅いことが多い	2
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	50

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	40	33	34	35	21	21	31
4 やや思う	7	11	12	12	12	11	14
3 どちらともいえない	3	5	3	3	13	16	5
2 あまり思わない	0	0	0	0	2	2	0
1 まったく思わない	0	1	1	0	2	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	50	50	50	50	50	50	50

科目 教育心理学
(音楽)

授業コード 10162

担当 三宮 敦生

教室 講義棟第1教室

回答した学生 71名

受講登録者 82名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問	1
5 100%	19
4 90%くらい	36
3 80%くらい	14
2 70%くらい	2
1 60%以下	0
無回答	0
小計	71

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	2	3
5 強く思う	36	51
4 やや思う	28	15
3 どちらともいえない	7	5
2 あまり思わない	0	0
1 まったく思わない	0	0
無回答	0	0
小計	71	71

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問	4
5 強く思う	36
4 やや思う	18
3 どちらともいえない	14
2 あまり思わない	1
1 まったく思わない	2
無回答	0
小計	71

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	5
5 ほぼ時間どおり	61
4 延長することが多い	7
3 開始が遅いことが多い	3
2 早く終わることが多い	0
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	71

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	61	57	61	59	44	44	57
4 やや思う	9	12	8	10	20	12	10
3 どちらともいえない	1	2	2	2	7	9	4
2 あまり思わない	0	0	0	0	0	0	0
1 まったく思わない	0	0	0	0	0	6	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計	71	71	71	71	71	71	71

授業科目	教育心理学				担当者	三宮敦生	
開講時期	通年	曜日	火・水	時限	3・4	アンケート様式	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技・実習
1 この授業における教育方法の特徴							
<p>本授業の目標は、教育心理学の基礎である学習と発達を理解し、教育現場への応用について学ぶことである。到達目標は以下の3点である。1) 学習分野については、記憶・学習・動機づけについて詳細に説明できる。2) 発達分野については、発達の研究法、知能と人格の発達理論について説明できる。3) 教員採用試験レベルの問題が解けるようになる。</p> <p>授業形態は、オーソドックスな講義形式である。教育心理学の代表的な理論を中心に、日常的な例を多用しながら理解させることに主眼を置いている。</p>							
2 アンケート結果の所見(回答者 115 名：音楽学部と美術学部を合わせた数値であり、出席率 80%未満の者を除く)							
(1) 受講した学生自身について							
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 80%以上の学生は 100%であった。何人かの学生から、この授業は欠席するとわからなくなるからできるだけ出席するようにしていると聞いた。本年度の学生も熱心な受講態度であったと思われる。 ・「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」に対して、「強くそう思う」が 52%、「ややそう思う」が 32%であった。この結果は上記のことを裏付けているように思われる。 ・「この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか」に対して、「強くそう思う」が 67%、「ややそう思う」が 24%であった。受講者の 91%が興味・関心の高まりを示した。 							
(2) 授業について							
<ul style="list-style-type: none"> ・「シラバスは授業の選択に役立ちましたか」に対して、「強くそう思う」が 47%、「ややそう思う」が 25%、「どちらともいえない」が 22%であった。教育心理学は教職必修の授業なので学生は必ずしもシラバスを見て選択しているわけではないのであろう。 ・「授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか」に対して、「ほぼ時間どおり」が 88%であった。 ・「教員の話し方、話すスピードは適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 83%、「ややそう思う」が 13%であった。話し方についての評価は高かったように思われる。 ・「板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 75%、「ややそう思う」が 18%であった。評価は昨年度より高かったが、黒板の狭さは気になるところである。 ・「教員の説明の仕方はわかりやすかったですか」に対して、「強くそう思う」が 78%、「ややそう思う」が 17%であった。この結果から、まずはわかりやすい授業といえるのではないだろうか。 ・「教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか」に対して、「強くそう思う」が 77%、「ややそう思う」が 18%であった。受講者に対し教員の熱意は十分に伝わっていたものと思われる。 ・「教員とコミュニケーションはとれていましたか」に対して、「強くそう思う」が 54%、「ややそう思う」が 28%、「どちらともいえない」が 15%であった。大人数の講義形式の授業としてはこの程度の数字が限界である。 ・「教室・設備については適切でしたか」に対して、「強くそう思う」が 53%、「ややそう思う」が 20%、「どちらともいえない」が 21%であった。 ・「授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか」に対して、「強くそう思う」が 73%、「ややそう思う」が 19%であった。「強くそう思う」が 70%を超したことは幸いであった。 							
(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて							
<ul style="list-style-type: none"> ・説明が分かりやすかったという声が多かった。 ・内容が興味深いという声も多かった。 							
(4) 自由記述より学生からの要望について							
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントをもう少し見やすくして欲しいという声があった。 							
3 今後の授業の工夫・改善 (FD)							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容は、教科書にほぼ沿って進めるので、ほぼ完成されている。後はどれだけ、新鮮なトピックを加えることができるかである。今年はカウンセリングの話しをすることができたのはよかった。 ・前半の記憶と学習のところをいかに楽しく興味深く教えるかが自分としては課題である。 							
4 その他、意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 							

科目 美術科教育法A

授業コード 10163

担当 藤江 充

教室 講義棟第2教室

回答した学生 32名

受講登録者 47名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	3
4	90%くらい	13
3	80%くらい	14
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		32

設問		2	3
5	強く思う	5	6
4	やや思う	12	8
3	どちらともいえない	14	15
2	あまりそう思わない	1	3
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		32	32

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	5
3	どちらともいえない	14
2	あまりそう思わない	6
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		32

設問		5
5	ほぼ時間どおり	23
4	延長することが多い	5
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		32

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	9	6	4	9	4	7	6
4	やや思う	7	10	6	10	9	9	9
3	どちらともいえない	12	12	16	10	12	14	16
2	あまりそう思わない	1	4	4	3	5	0	1
1	まったくそう思わない	2	0	2	0	2	2	0
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		32	32	32	32	32	32	32

科目 音楽科教育法A

授業コード 10165

担当 柴田 篤志

教室 新講義棟大教室

回答した学生 59名

受講登録者 89名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	20
4	90%くらい	33
3	80%くらい	3
2	70%くらい	3
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		59

設問		2	3
5	強く思う	25	23
4	やや思う	23	26
3	どちらともいえない	8	7
2	あまりそう思わない	2	2
1	まったくそう思わない	1	1
	無回答	0	0
小計		59	59

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	15
4	やや思う	18
3	どちらともいえない	20
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	2
	無回答	0
小計		59

設問		5
5	ほぼ時間どおり	43
4	延長することが多い	7
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	5
	無回答	0
小計		59

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	29	29	34	41	26	29	28
4	やや思う	15	19	14	10	19	16	18
3	どちらともいえない	8	10	8	5	10	8	11
2	あまりそう思わない	3	0	1	0	2	4	1
1	まったくそう思わない	3	1	2	3	2	2	1
	無回答	1	0	0	0	0	0	0
小計		59	59	59	59	59	59	59

科目 美術科教育法B

授業コード 10133

担当 磯部 洋司

教室 第5講義室

回答した学生 25名

受講登録者 33名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	13
3	80%くらい	4
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		25

設問		2	3
5	強く思う	11	10
4	やや思う	7	8
3	どちらともいえない	5	6
2	あまりそう思わない	2	1
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		25	25

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	4
4	やや思う	7
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		25

設問		5
5	ほぼ時間どおり	14
4	延長することが多い	3
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	5
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		25

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	15	15	10	11	14	14	12
4	やや思う	8	5	8	9	3	6	9
3	どちらともいえない	2	5	6	3	6	4	4
2	あまりそう思わない	0	0	1	2	1	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		25	25	25	25	25	25	25

科目 音楽科教育法A

授業コード 10134

担当 柴田 篤志

教室 新講義棟大教室

回答した学生 55名

受講登録者 89名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	32
4	90%くらい	22
3	80%くらい	1
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		55

設問		2	3
5	強く思う	36	34
4	やや思う	13	15
3	どちらともいえない	6	6
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		55	55

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	22
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	18
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		55

設問		5
5	ほぼ時間どおり	40
4	延長することが多い	8
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	3
	無回答	0
小計		55

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	31	31	36	35	24	28	32
4	やや思う	15	15	9	12	18	15	17
3	どちらともいえない	8	9	9	8	13	10	6
2	あまりそう思わない	1	0	1	0	0	2	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		55	55	55	55	55	55	55

科目 音楽科教育法B

授業コード 10135

担当 柴田 篤志

教室 新講義棟大教室

回答した学生 67名

受講登録者 74名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	22
4	90%くらい	27
3	80%くらい	17
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		67

設問		2	3
5	強く思う	20	23
4	やや思う	25	22
3	どちらともいえない	12	14
2	あまりそう思わない	3	5
1	まったくそう思わない	7	3
	無回答	0	0
小計		67	67

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	23
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	27
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		67

設問		5
5	ほぼ時間どおり	47
4	延長することが多い	7
3	開始が遅いことが多い	8
2	早く終わることが多い	4
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		67

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	31	35	29	43	23	30	29
4	やや思う	16	15	19	14	18	21	19
3	どちらともいえない	13	14	11	7	17	10	13
2	あまりそう思わない	3	1	4	3	8	4	5
1	まったくそう思わない	4	2	4	0	1	2	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		67	67	67	67	67	67	67

科目 音楽科教育法C

授業コード 10167

担当 柴田 篤志

教室 新講義棟大教室

回答した学生 9名

受講登録者 28名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	5
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		9

設問		2	3
5	強く思う	2	5
4	やや思う	4	3
3	どちらともいえない	3	1
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		9	9

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	4
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		9

設問		5
5	ほぼ時間どおり	6
4	延長することが多い	0
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		9

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	4	5	4	7	3	4	3
4	やや思う	5	2	5	2	3	2	5
3	どちらともいえない	0	1	0	0	2	2	1
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	1	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		9	9	9	9	9	9	9

科目 道徳教育指導論
(美術)

授業コード 10136

担当 松野 修

教室 第6講義室

回答した学生 47名

受講登録者 56名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	16
4	90%くらい	24
3	80%くらい	7
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		47

設問		2	3
5	強く思う	26	28
4	やや思う	16	14
3	どちらともいえない	3	5
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	1	0
小計		47	47

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	16
3	どちらともいえない	9
2	あまりそう思わない	3
1	まったくそう思わない	0
	無回答	3
小計		47

設問		5
5	ほぼ時間どおり	32
4	延長することが多い	5
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	7
1	よくわからない	0
	無回答	2
小計		47

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	32	31	34	40	36	36	34
4	やや思う	10	14	9	6	8	7	9
3	どちらともいえない	2	2	4	1	2	3	3
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	1	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	3	0	0	0	0	0	1
小計		47	47	47	47	47	47	47

授業科目	道徳教育指導論（美術学部対象）			担当者	松野 修		
開講時期	前期	曜日	月	時限	3	アンケート様式	講義

1 学生アンケートの結果

講義では授業評価アンケートとは別に、講義の最後に以下の点について学生からの評価を採っている。

・たの度＝授業は楽しかったですか？

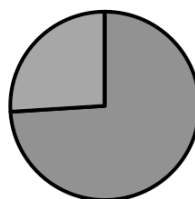
(5) とても楽しかった(4) 楽しかった(3) どちらでもない(2) つまらなかった(1) とてもつまらなかった

・ため度＝授業はためになりましたか

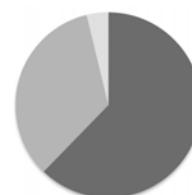
(5) とてもためになった(4) ためになった(3) 少しはためになった(2) ためにならない(1) 時間のムダだった

	2011年		2012年	
	たの度	ため度	たの度	ため度
	実数	実数	実数	実数
5	48	48	33	29
4	17	14	18	23
3	0	2	2	0
2	0	0	0	0
1	0	0	0	0
計	65	73	54	52

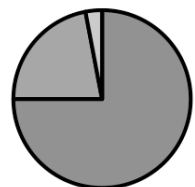
2011／たの度



2012／たの度



2011／ため度



2012／ため度



2 学生の感想から

最後の時間に書いてもらった学生の感想から1, 2を紹介して報告に代える。

●人生に誇りが持てました

わたし一番印象に残ったのは、はじめの方にやった「鉄塔を登る男」の授業です。〈お金を得るためのもの＝仕事〉という考えがわたしにありましたが、〈仕事＝生きがい〉でも良いのだと、新しい見方ができ、目からウロコでした。美術もやることは全然お金にならないし、社会に貢献できるかもあやしくて、3年生になったら、なぜかうしろめたい気持ちがあったけど、そういう生き方もある。正解なんてものは存在しないのだと、自分のたった20年のほどの人生にも誇りが持てました。」

●道徳教育の未来への力に大きな期待を抱ける

「うさぎとカメの話が深く印象に残っています。小さい時からわたしはカメのようにならなくてはと思っていましたが、先生に紹介していただいた意見を聞いて、正直、思ってもみなかった意見の数に驚きました。」

道徳の授業はこのようにお、〈思い込んでいたこと〉に対して新しい視点を作り出すことが大切であり、教える立場に立ったとき、難しいかもしれないと思いました。しかし道徳教育の未来への力に大きな期待を抱ける授業でした。」

「道徳教育指導論」を担当したわたし自身は、〈道徳教育は価値感の隠微なおしつけである〉と、ずっと感じてきた。だからこそ、それを回避できるような授業をいくつか紹介してきたのだが、上記のように「道徳教育の大切さがよく分かった」という感想は他にも多くあった。そういう感想を読むと、指導者としての責任を感じる。

科目 道徳教育指導論
(音楽)

授業コード 10137

担当 松野 修

教室 第6講義室

回答した学生 46名

受講登録者 52名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	23
3	80%くらい	16
2	70%くらい	2
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		46

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問			
	2	3	
5	強く思う	23	21
4	やや思う	18	20
3	どちらともいえない	5	5
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		46	46

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問		4
5	強く思う	16
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	16
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		46

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		5
5	ほぼ時間どおり	29
4	延長することが多い	6
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	7
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		46

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	33	35	32	32	31	27	30
4	やや思う	10	8	11	11	12	12	13
3	どちらともいえない	3	3	3	2	3	6	3
2	あまりそう思わない	0	0	0	1	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		46	46	46	46	46	46	46

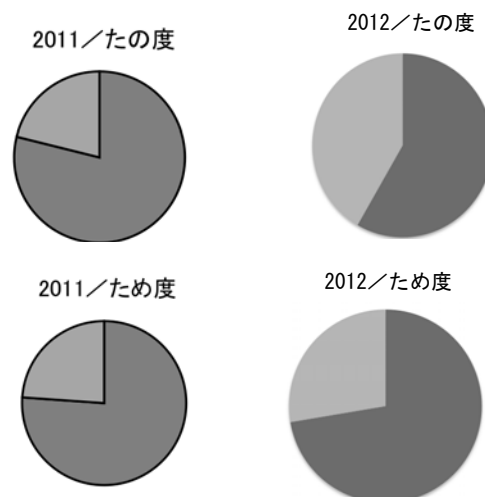
授業科目	道徳教育指導論（音楽学部対象）			担当者	松野 修		
開講時期	前期	曜日	火	時限	3	アンケート様式	講義

1 学生アンケートの結果

講義では授業評価アンケートとは別に、講義の最後に以下の点について学生からの評価を採った。

- ・たの度＝授業は楽しかったですか？ (5)とても楽しかった (4)楽しかった (3)どちらでもない (2)つまらなかった (1)とてもつまらなかった
- ・ため度＝授業はためになりましたか (5)とてもためになった (4)ためになった (3)少しはためになった (2)ためにならない (1)時間のムダだった

	2011年		2012年	
	たの度	ため度	たの度	ため度
	実数	実数	実数	実数
5	23	22	28	34
4	6	7	20	13
3	0	0	0	0
2	0	0	0	0
1	0	0	0	0
計	72	73	48	47



2 学生の感想から

最後の時間に書いてもらった学生の感想から1, 2を紹介して報告に代える。学生には半年間の講義全体について感想を書いてもらっている。その中には「道徳教育指導論」という講義にではなく、その中で一例として示した「道徳の授業」について書いたものも少なくない。

●中学の「道徳」はきらいでした

「小、中学生の頃、本当に道徳がきらいだった、教育んです。教科書の内容が好きじゃなくて。友だちとけんかして、反省して、仲直りして……みたいなのばかりやってました。でも、やり方によって道徳も楽しくなるってわかりました。よかったです。ただのきれい事ではなくて、もっと深いものなんだったって思いました。先生の授業、いつも楽しみでした。ありがとうございました。」

●音楽だって、楽しいだけじゃやっていられません

「ナイチンゲールの話がすごく印象に残っています。愛と献身さえあれば看護ができるという考えが大間違いだという彼女の意見は教育にも音楽にも置き換えられると、感想文の中で何人もの人が述べていましたよね。まわちも全く同じ思いです。自分の思いを伝えるため、また目に見える成果を残すためには、あらゆる方向から対応できるための技術、知識が必要で、それを得るためには気持ちが燃え尽きるほどの努力が必要だと思います。」

好きで始めた音楽も、楽しいだけではやっていられません。どうしてそうやってきたんだろうと考えた時に、ちょうどこのナイチンゲールの話を知ることができて、とても勉強になりました。音楽も、就活も、くじけずに頑張っていきたいです！

科目 教育方法

授業コード 10166

担当 松野 修

教室 講義棟第1教室

回答した学生 16名

受講登録者 26名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	9
3	80%くらい	2
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		16

設問		2	3
5	強く思う	13	14
4	やや思う	3	2
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		16	16

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	13
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	1
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		16

設問		5
5	ほぼ時間どおり	15
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		16

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	14	15	15	15	15	13	15
4	やや思う	2	1	1	1	1	1	1
3	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		16	16	16	16	16	16	16

授業科目	教育方法				担当者	松野 修	
開講時期	火	曜日	4	時限		アンケート様式	講義

1 この授業における教育方法の特徴

教育方法とは何らかの理論ではなく、術（アート）であり、しかもその「術」とは、ある種の術を通じて教えるべき内容と密接に関係している。だから、教育方法だけを抽出して議論することはほとんど意味がない。もし「教育方法論」という議論が成立するとすれば、個々の教育内容と教育方法との相対的に効果的な対応関係が発見された後に、それらの蓄積の上に乗って、その対応関係のありようを比較、論証するに限定される。教育学の上では以上のような理論の枠組みが了解されたうえで「教育方法」を論じられているのだが、教育学を大学院で専攻するのでもなければ、理論の枠組みそのものが理解できないだろう（だからほとんどの学生は眠っている）。そこで一般の講義で論じられている「教育方法論」の中から、ごく一部だけを取り出し、先進的な科学教育の事例を紹介しながら、具体的な「術」について解説することとした。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

履修したのは20人前後。履修した学生の出席率はたいへんよかった。

(2) 授業について

〈もっとしゅぼしゅぼ〉、〈バンジーチャイム〉などの仮説実験授業の授業書案を実際に体験させた。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「教育方法論」を学びたい学生にとってはムダな時間になるかもしれない。しかし「術」としての教育方法に興味がある学生にはムダな時間ではなかったようだ。最後の感想から一部を紹介する。

■授業の楽しさを知ることが出来た

半年間この授業をうけて授業の楽しさを知ることが出来た。楽しい実験を通じてたくさんのことを学ぶことができたし、特に真空の実験はとても勉強になった。また先生と生徒のコミュニケーションもしっかりとれていてとても楽しかった。毎回、楽しい授業の中にもちゃんと芯のある内容が組み込まれていて、勉強になった。

■20歳でこんなに楽しく実験できるとは

バンジーチャイムはどれだけでも大がかりにできると思います！ いつか暇ができたなら壮大にかましてみたいです。ピアノ科は普段自分で調律しないので音程を自分で作っていく大変さが身にしみました。小・中で教科書の説明だけでさらっと終わったところを、まさか20歳でこんなに楽しく実験できるとは思いませんでした。

■食の前で関係ない人を巻き込んで

しゅぼしゅぼもバンジーチャイムも めっちゃ楽しかったです。学食の前で関係ない人を巻き込んでの第九、すてきでしたね。

■楽しく授業受けられるって、すごいイイ 授業らしい授業ではなかったけど、しゅぼしゅぼだったりバンジーチャイムだったり、すごく楽しい授業でした。今学期の授業の中で一番楽しかったです！！ 楽しく授業受けられるって、すごいイイことですよ〜 そんな授業ができる先生、すばらしい！

■たのしい授業をできる先生になりたい

先生のお茶目なところやおもしろい発言がたくさん聞けた半年間でした。実験をしたり、色んな物を見れたり、小学校の頃を思い出せて、小さい子のようながむしゃらになれた授業でした！！ 実際には1年間お世話になり、本当に楽しかったです。先生のような人気者の先生を目指して がんばります！！

(4) 自由記述より学生からの要望について

施設の不備に関しては学生と同じ感想。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

なお、講義が終わったあと、簡単に感想を書いてもらい、次の週にはその感想の一部を抜粋してプリントし配布した。



科目 生徒・進路指導論
(美術)

授業コード 10138

担当 内藤 春彦

教室 第1講義室

回答した学生 41名

受講登録者 56名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	5
4	90%くらい	16
3	80%くらい	15
2	70%くらい	3
1	60%以下	2
	無回答	0
小計		41

設問		2	3
5	強く思う	1	5
4	やや思う	15	11
3	どちらともいえない	13	12
2	あまりそう思わない	7	6
1	まったくそう思わない	5	7
	無回答	0	0
小計		41	41

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	11
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	7
1	まったくそう思わない	6
	無回答	0
小計		41

設問		5
5	ほぼ時間どおり	28
4	延長することが多い	8
3	開始が遅いことが多い	4
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		41

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	17	11	10	15	4	17	8
4	やや思う	12	13	12	14	12	14	12
3	どちらともいえない	8	9	12	10	13	8	13
2	あまりそう思わない	4	4	2	1	3	1	5
1	まったくそう思わない	0	4	4	1	9	1	3
	無回答	0	0	1	0	0	0	0
小計		41	41	41	41	41	41	41

科目 生徒・進路指導論
(音楽)

授業コード 10168

担当 内藤 春彦

教室 新講義棟大教室

回答した学生 53名

受講登録者 78名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	11
4	90%くらい	19
3	80%くらい	20
2	70%くらい	3
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		53

設問		2	3
5	強く思う	12	11
4	やや思う	19	19
3	どちらともいえない	17	15
2	あまりそう思わない	3	4
1	まったくそう思わない	2	3
	無回答	0	1
小計		53	53

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	14
4	やや思う	18
3	どちらともいえない	14
2	あまりそう思わない	4
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		53

設問		5
5	ほぼ時間どおり	41
4	延長することが多い	6
3	開始が遅いことが多い	6
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		53

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	23	24	20	31	21	26	23
4	やや思う	16	12	15	12	13	10	12
3	どちらともいえない	12	14	12	9	12	12	14
2	あまりそう思わない	1	1	4	0	3	0	3
1	まったくそう思わない	1	2	2	1	4	5	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		53	53	53	53	53	53	53

科目 教育相談
(美術)

授業コード 10139

担当 内藤 春彦

教室 第6講義室

回答した学生 11名

受講登録者 21名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	1
4	90%くらい	5
3	80%くらい	4
2	70%くらい	0
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		11

設問		2	3
5	強く思う	1	3
4	やや思う	7	5
3	どちらともいえない	3	3
2	あまりそう思わない	0	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		11	11

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	2
4	やや思う	2
3	どちらともいえない	7
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		11

設問		5
5	ほぼ時間どおり	8
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		11

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	6	3	4	8	7	8	5
4	やや思う	2	7	4	2	2	1	5
3	どちらともいえない	3	1	3	1	2	1	1
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	1	0
小計		11	11	11	11	11	11	11

科目 教育相談（音楽）

授業コード 10169

担当 内藤 春彦

教室 講義棟第6教室

回答した学生 8名

受講登録者 12名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	2
4	90%くらい	3
3	80%くらい	2
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		8

設問		2	3
5	強く思う	4	5
4	やや思う	3	3
3	どちらともいえない	0	0
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		8	8

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	0
3	どちらともいえない	1
2	あまりそう思わない	0
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		8

設問		5
5	ほぼ時間どおり	7
4	延長することが多い	1
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	0
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		8

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	6	5	6	7	8	5	6
4	やや思う	1	3	1	1	0	2	2
3	どちらともいえない	1	0	1	0	0	1	0
2	あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		8	8	8	8	8	8	8

科目 教育原理
(美術)

授業コード 10140

担当 松野 修

教室 第1講義室

回答した学生 53名

受講登録者 67名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

設問	1
5 100%	15
4 90%くらい	24
3 80%くらい	14
2 70%くらい	0
1 60%以下	0
無回答	0
小計	53

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問	2	3
5 強く思う	22	17
4 やや思う	19	21
3 どちらともいえない	11	12
2 あまりそう思わない	1	2
1 まったくそう思わない	0	1
無回答	0	0
小計	53	53

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

設問	4
5 強く思う	8
4 やや思う	12
3 どちらともいえない	27
2 あまりそう思わない	3
1 まったくそう思わない	2
無回答	1
小計	53

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問	5
5 ほぼ時間どおり	34
4 延長することが多い	6
3 開始が遅いことが多い	7
2 早く終わることが多い	6
1 よくわからない	0
無回答	0
小計	53

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問	6	7	8	9	10	11	12
5 強く思う	29	26	29	39	28	32	33
4 やや思う	13	15	12	7	12	9	10
3 どちらともいえない	8	11	11	7	11	10	9
2 あまりそう思わない	1	1	1	0	1	2	1
1 まったくそう思わない	0	0	0	0	1	0	0
無回答	2	0	0	0	0	0	0
小計	53	53	53	53	53	53	53

授業科目	教育原理 (美術学部対象)			担当者	松野 修		
開講時期	前期	曜日	火	時限	5	アンケート様式	講義

1 学生アンケートの結果

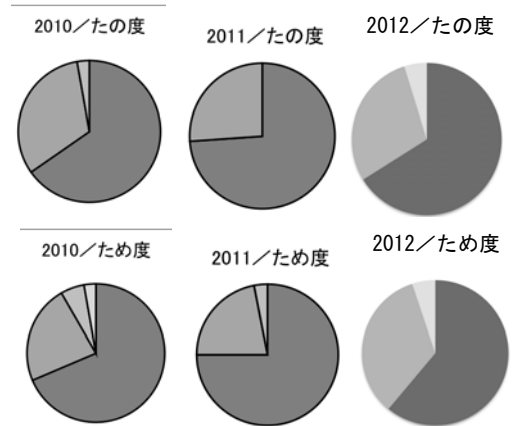
講義では FD 委員会で定めた様式とは別に、講義の最後で以下の点について学生からの評価を採っている。



- ・たの度=授業は楽しかったですか？ (5) とても楽しかった (4)楽しかった (3)どちらでもない (2)つまらなかった (1)とてもつまらなかった
- ・ため度=授業はためになりましたか (5) とてもためになった (4)ためになった (3)少しはためになった (2)ためにならない (1)時間のムダだった

学生による評価は一昨年並みに戻った。

	2010年		2011年		2012年	
	たの度	ため度	たの度	ため度	たの度	ため度
	実数	実数	実数	実数	実数	実数
5	47	50	48	49	41	36
4	23	17	17	14	18	20
3	2	4	0	2	3	3
2	0	2	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0
計	72	73	65	65	62	59



最後の時間に書いてもらった学生の感想を紹介して報告に代える。

●何をしたいのか、すべきなのか分からなくて

「まず、松野先生は何をしたいのか分からない時期があったことに驚きました。というのも、自分も何をしたいのか、すべきなのか分からなくて、数年間フリーター生活を送っていたからです。ただ何となく流されてこの道に入ったのではなく、迷いに迷って悩み苦しみ、不安という恐怖に押しつぶされそうな日々を送って、やっと見つけた道が美術でした。ですから、当然、自分自身がすべき事が、何をしてあげられるかは分かっている……つもりでした。その何をしてあげられるか？の意識を揺さぶられたのが「生類憐れみの令」の授業です。「地獄への道は正義と善意で敷き詰められている」。自分ではこう人にしてあげるのが正しいのだと思っていたことも、今となってみれば……小さな綱吉クンになっていたのだと思います。

自分だけが苦しい、悩みがある。そんなはずはない。誰だって色んな悩みを持ち、苦しみ生きている。そう考えると少し楽になれた気がします。人の失敗を責める気持ちも消え、多少、失敗しても良いとさえ思えてきます。美術の世界では生涯かけて「ひとつのこと(もの)」を残すことができれば大成功です。それまでに幾多の失敗を重ねることでしょう。しかし、それで心折れることなく、目標に対して邁進していきたいと思えます。」

わたしにとって「授業改善 (FD)」とは、上記のような、学生の率直でデリケートな気持ちが書かれた感想文を読み解くところから始まる。

科目 教育原理
(音楽)

授業コード 10141

担当 松野 修

教室 第1講義室

回答した学生 64名

受講登録者 68名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	29
4	90%くらい	23
3	80%くらい	9
2	70%くらい	3
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		64

設問		2	3
5	強く思う	32	40
4	やや思う	25	18
3	どちらともいえない	5	4
2	あまりそう思わない	1	0
1	まったくそう思わない	1	2
	無回答	0	0
小計		64	64

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	27
4	やや思う	14
3	どちらともいえない	16
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	5
	無回答	0
小計		64

設問		5
5	ほぼ時間どおり	58
4	延長することが多い	4
3	開始が遅いことが多い	0
2	早く終わることが多い	2
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		64

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	50	50	50	57	47	38	51
4	やや思う	11	11	12	6	14	11	11
3	どちらともいえない	2	3	0	1	2	7	1
2	あまりそう思わない	1	0	1	0	1	4	0
1	まったくそう思わない	0	0	1	0	0	4	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		64	64	64	64	64	64	64

授業科目	教育原理（音楽学部対象）			担当者	松野 修		
開講時期	前期	曜日	火	時限	4	アンケート様式	講義

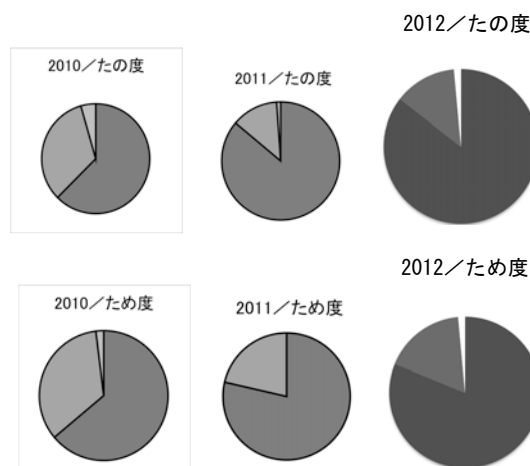
1 学生アンケートの結果 1 学生アンケートの結果

講義では授業評価アンケートとは別に、講義の最後に以下の点について学生からの評価を採っている。

- ・たの度＝授業は楽しかったですか？ (5) とても楽しかった (4) 楽しかった (3) どちらでもない (2) つまらなかつた (1) とてもつまらなかつた
- ・ため度＝授業はためになりましたか (5) とてもためになった (4) ためになった (3) 少しはためになった (2) ためにならない (1) 時間のムダだった

学生からの評価は昨年と同様に高かつた。

	2010年		2011年		2012年	
	たの度	ため度	たの度	ため度	たの度	ため度
	実数	実数	実数	実数	実数	実数
5	55	56	78	70	59	56
4	29	30	12	19	9	12
3	4	2	0	2	0	0
2	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	1	1
計	88	88	91	91	69	69



最後の時間に書いてもらった学生の感想を紹介して報告に代える。

●涙が出そうになったのでトイレに行った

「(前略) 周りの活躍している同級生などのプレッシャーを感じ、「頑張らなきゃ……」と常に自分を追い詰めて苦しくて、「音楽って面白いっけ?」と思い詰める日々が続きました。そんな専科で悩んで、教養なんて受けたくないと思っている自分の前で、毎回、毎回、子どもみたいにハシャギながら楽しそうに紙をハサミで切ったり、スプーンを曲げたり、日蝕に興味したりするおじさんがいました。「何であんなに楽しそうなんだ?」って、よく冷たい目を自分はしてました。おじさんがその日の授業でみんなにやらせたのは、折り紙をはさみで切らせて模様をつくる、よく分かんない、何のためか分からないものでした。「アホらしいから課題をしなきゃ」て、あきれながら、それでも規則的に折られた紙を切っていると、どうやら細かく線上に切るとキレイっぽい感じに切れると気づいたわたしは、夢中になって他の人よりもキレイな風に切りたくって、いっぱい切ってた。大人なげなくも、周りのやつらに「見て!」と見せびらかしたりもしてた。わたしはそのとき楽しんだ。何かその時、悩んで、苦しくて、何か新しいものを作らきゃって、追い詰めてた自分に気づいて、涙が出そうになったのでトイレに行った。初めはこんな風にくだらないうものを作って、マネしたりして、でも純粋に楽しくて、他の人のものに感動して、音楽が楽しくて、作品を作りたいくて……」

教室に戻ると、あいかわらずおっさんは子どもみたいに楽しそうだった。どんなにくだらないう事にも、きっと興味をもって、楽しいことを探しているんだろうなって思った。自分も昔はああだった。もっとすべてに興味をもって楽しんだ。ああなりたい。もっと楽しもう。「自分のための音楽をやりたい」と思えた。……周りから追い詰められてたんじゃない。自分で周りから追い詰められていると思ひ込んでた。いつ行っても、おっさんは子どもみたいな授業をしている。それを見るたびに、ちょっと楽しんでる自分が嫌いじゃない。おっさんみたいな先生にであえて良かった。」

科目 生涯学習概論

授業コード 10170

担当 松野 修

教室 講義棟第6教室

回答した学生 38名

受講登録者 52名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	7
4	90%くらい	19
3	80%くらい	7
2	70%くらい	4
1	60%以下	1
	無回答	0
小計		38

設問		2	3
5	強く思う	11	15
4	やや思う	15	17
3	どちらともいえない	10	4
2	あまりそう思わない	2	1
1	まったくそう思わない	0	1
	無回答	0	0
小計		38	38

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	5
4	やや思う	13
3	どちらともいえない	15
2	あまりそう思わない	2
1	まったくそう思わない	3
	無回答	0
小計		38

設問		5
5	ほぼ時間どおり	29
4	延長することが多い	5
3	開始が遅いことが多い	1
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	2
	無回答	0
小計		38

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	25	22	27	30	17	14	23
4	やや思う	9	11	8	5	15	14	11
3	どちらともいえない	3	3	2	2	5	8	3
2	あまりそう思わない	1	2	1	1	1	1	1
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	0	1	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		38	38	38	38	38	38	38

授業科目	生涯学習論				担当者	松野 修	
開講時期	月	曜日	3	時限		アンケート様式	講義

1 この授業における教育方法の特徴

昨年同様、事前に生涯学習論に関する資料集などにあたって準備をし「生涯学習施設の概要」などをまとめて講義に望んだ。しかし抽象的な内容を一方的に講義してもほとんど何の役にも立たないことは初回の授業で判明した（学生のほとんどは眠っている）。そこで現在の日本の教育界で論じられている「生涯学習論」の枠組そのものを組み替え、1600年代から1700年代における英国成人教育の教育内容を縦軸にし、それらの具体的な内容に沿って「生涯学習」特有のスタンス、手法などを解説することにした。科学研究、科学教育と生涯学習は歴史的には実は密接に関係している。この講義ではそれをバックボーンに内容を構成した。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生について

昨年は20人前後の学生が履修したが今年度は40人近くの学生が履修登録しほぼ全員がその後も実際に履修した。そのため今年度は準備がたいへんだった。

(2) 授業について

〈30倍の世界〉〈光と虫めがね〉などの授業を実際に体験させそのうえで、ロバート・フック、フェルメール、レーウェン・フック、カメラ・オブスキュラなどを紹介した。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

上記の内容は一見すると生涯学習論と何も関係ないようだが、授業後の学生の感想には核心を突いているものも少なくなかった。以下、その一部を紹介する。

■実践を重要視したこの授業の内容はすごくためになった（1年生）

私はよく図書館を利用するが、読みたい本があるという理由より、気になることがあるから調べる目的が多い。そうして調べた内容はよく覚えている。自分で手を動かすと記憶に残りやすい。そういう意味で実践を重要視したこの授業の内容はすごくためになった。今までやった実験が何故そうなるかといった、小難しい知識は大学生なんだから、気になるなら自分で調べればいい。実践は発見も多く、生まれる疑問も多い。これは〈学ぶ〉というものの基本だろうと思う。とても楽しい授業でした。半年間ありがとうございました。

■楽しみを持つことの効果や大切さ（3年生）

楽しゅうございました。生涯学習によって人生を豊かにすることは、一見どちらでもよい事のように見えますが、普段の生活や精神状態、色々なことに実は関わっていて、楽しみを持つことの効果や大切さを学ぶことができました。

■新しい考えに出会った（1年生）

授業で取り扱ったことからのほとんどを、現代の私たちは小中学校の時に「理科」として学習していたと思いますが、当時の人びとは「生涯学習」として見ていたという先生のお話を聞いた時、新しい考えに出会った気がしました。確かに実験をやりつつ楽しかったのです。その延長線上に生涯学習があるのだなと実感しています。

■まさに生涯を通した学習の仕方（1年生）

ライトスコープで見えてるけど見えない世界とか、虫めがねで光を操って火や像を映したり、ピンホールカメラで映したものを現像する瞬間とか、毎時間わくわくし通しでした。何事も発見から始まり、段階的に進む理解をどこまで持続させられるか。まさに生涯を通した学習の仕方を勉強させてもらった時間でした。

(4) 自由記述より学生からの要望について

施設の不備に関しては学生と同じ感想。第6講義室で授業をするのですがスクリーンはシワシワで使い難い。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

講義が終わったあと、簡単に感想を書いてもらい、次の週にはその感想の一部を抜粋してプリントし配布した。



科目 博物館概論

授業コード 10142

担当 吉田 俊英

教室 第6講義室

回答した学生 31名

受講登録者 39名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	10
4	90%くらい	15
3	80%くらい	5
2	70%くらい	1
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		31

設問		2	3
5	強く思う	10	15
4	やや思う	11	8
3	どちらともいえない	8	6
2	あまりそう思わない	2	2
1	まったくそう思わない	0	0
	無回答	0	0
小計		31	31

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	11
4	やや思う	9
3	どちらともいえない	10
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	0
	無回答	0
小計		31

設問		5
5	ほぼ時間どおり	24
4	延長することが多い	2
3	開始が遅いことが多い	2
2	早く終わることが多い	3
1	よくわからない	0
	無回答	0
小計		31

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	24	18	21	23	11	17	20
4	やや思う	5	10	7	6	7	7	7
3	どちらともいえない	2	2	3	2	11	6	4
2	あまりそう思わない	0	1	0	0	0	1	0
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		31	31	31	31	31	31	31

科目 博物館情報・メディア論

授業コード 10173

担当 西崎 紀衣

教室 講義棟第6教室

回答した学生 36名

受講登録者 47名

● 受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

設問		1
5	100%	16
4	90%くらい	14
3	80%くらい	6
2	70%くらい	0
1	60%以下	0
	無回答	0
小計		36

設問		2	3
5	強く思う	5	6
4	やや思う	12	11
3	どちらともいえない	16	17
2	あまりそう思わない	2	2
1	まったくそう思わない	1	0
	無回答	0	0
小計		36	36

● 授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

設問		4
5	強く思う	7
4	やや思う	6
3	どちらともいえない	21
2	あまりそう思わない	1
1	まったくそう思わない	1
	無回答	0
小計		36

設問		5
5	ほぼ時間どおり	23
4	延長することが多い	8
3	開始が遅いことが多い	3
2	早く終わることが多い	1
1	よくわからない	1
	無回答	0
小計		36

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

設問		6	7	8	9	10	11	12
5	強く思う	15	14	10	15	8	11	10
4	やや思う	11	8	12	11	7	10	11
3	どちらともいえない	7	10	10	8	14	9	11
2	あまりそう思わない	3	4	4	2	5	4	4
1	まったくそう思わない	0	0	0	0	2	2	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0
小計		36	36	36	36	36	36	36

施設に対する要望

H24年度 授業評価アンケート（前期）

設問 授業に関して施設設備などに対する要望などがあれば書いてください。

- ※ 自由記述欄の回答のうち、施設設備などに対する要望についてまとめています。（一部、文章の校正を行っています。）
- ※ 文末の数字は、記述件数を表しています。
- ※ ◆=場所（専攻）、◇または文頭の（）内=授業
- ※ 【履修】 履修人数等、授業の履修に関する要望についてまとめています。
- ※ 【楽器】 調律等、楽器に関する要望についてまとめています。
- ※ 【衛生】 清掃等、施設の衛生環境に関する要望についてまとめています。
- ※ 【施設】 建物・備品等、施設の利便性に関する要望についてまとめています。
- ※ 【空調】 室温管理・換気等、施設の空調に関する要望についてまとめています。
- ※ 【時間外】 授業時間外の施設利用に関する要望についてまとめています。
- ※ 【教員】 授業評価アンケート報告書から教員の大学に対する意見を載せています。

◆講義棟第1講義室

【履修】

- ・できればもう少し広い教室で授業してほりい。（最初の授業で数人あぶれた人がいたので）（心理学A）

【施設】

- ・雨もりました。

【空調】

- ・ケチ（空調）
- ・暑いのもっとエアコンを強くしてほしい。

◆講義棟第4講義室

【履修】

- ・もう少し広い教室を用意して頂けるといいなあと思います。（後期の抽選が不安です…）
- ・最初に毎年席が足りずに抽選になるので、広い教室になったらいいなあと思いました。

【空調】

- ・あつい
- ・クーラーが寒いです。
- ・クーラーを6月からほしい。

【施設】

- ・席を増やして欲しいな
- ・もっと大きな画面で見たい。
- ・DVDを見る際、画面のアスペクト比がおかしくて集中できないことがあった。
- ・もっと大きな画面で見たい。

◆講義棟第5講義室

【履修】

- ・全員が座れる教室にしてほしい。
- ・教室がせまい。
- ・人数に対して部屋がせまく、席に座れないで立って話を聞くことが何度かあった。

【空調】

- ・7月に入るまで暑くてしょうがなかった。

◆講義棟第6講義室

【施設】

- ・プロジェクターの画像がみえにくい時が多いです。
- ・何度かスクリーンが壊れてあぶなかったのを、改善してほしい。
- ・プロジェクター（写される布のほう）がよく壊れた
- ・プロジェクターが見にくいので、見やすくしてほしい
- ・第6教室の黒板前の壇がギシギシ大きく鳴るので不快です。[2]

【空調】

- ・暑い。

◆コンピュータ室

【衛生】

- ・くつをぬぐためやや室内がくさい。
- ・机の落書きが不愉快。
- ・スリッパが非常にきたない。是非とも新調してほしい。

【施設】

- ・フィナーレが全PCにないのは困る。やりたいのに…。
- ・ホワイトボードがグレーボードになっているためホワイトにしてほしい。
- ・机のふちのゴムが腕をおいた時にいたい。（ゴムをちゃんとしてほしい）

- ・フィナーレ全PCをお願いします！
- ・毎年パソコンの台数が足りず、授業を受けたいのに抽選もれになってしまう方や、2人～3人で1台のコンピュータを使う方が散見され、心苦しく思います。パソコンの台数を増やしたり、手持ちのノートPC、ネットブックがある生徒は持ち込みOKにするなど、一人でも多くの生徒が授業を受けられれば幸いです。
- ・コンピュータを増やしてほしい。
- ・パソコンをもっと増やしてほしい。[3]
- ・新設備の投入CS&、Mac等
- ・パソコンがボロい（スペック不足）
- ・難しいと思うがもう少しコンピューターの台数を用意してもよいと思う。
- ・新設備の投入CS&、Mac等

◆コンピュータ室

【施設】

- ・教室があつい
- ・室内がとても熱いので、空調、換気をお願いします。[2]

◆物理化学実験室

【施設】

- ・映像を見ると、もっと画質の高いものが見たい。
- ・イスがかたくて痛い
- ・机やイスがきたない。
- ・いすの座心地があまりよくない。

【空調】

- ・なかなか冷ぼうが効かない。
- ・クーラーがきかないのをどうにかしてください。ついているはずなのに暑いです。
- ・教室が暑すぎて集中できない。

◆新講義棟大講義室

【施設】

- ・何度かスクリーンが壊れてあぶなかったのを、改善してほしい。
- ・プロジェクターを置く台で黒板が見えない席があるので改善してほしい。
- ・プロジェクターがたまに動かなくなるのをどうにかしてほしい。
- ・マイクがほしかった。
- ・マイクとプロジェクターの調子。
- ・マイクにノイズが入ってききとりにくいので、改善してほしい。
- ・映像を写す機材が不具合が多く、授業が中断されてしまう。
- ・プロジェクターで黒板やスクリーンや見えにくい席があるので改善してほしい。
- ・プロジェクターがたまに止まるのを直してほしい。[5]
- ・プロジェクターの調子。
- ・プロジェクター[2]
- ・見れなくなった映像作品が何個かあったので機械設備を整えてほしい。
- ・プロジェクター（複数）
- ・機材がたまに不具合がでる。
- ・とても興味深い授業なのに、機械がよくこわれるのが残念すぎる。
- ・プロジェクターを途中で切れないやつにしてほしい。
- ・プロジェクターがこわれることが多々あり、映像資料が途中で終わり、見られないのが残念です。
- ・プロジェクターの不備を改善してほしい
- ・機器の安定性。

【空調】

- ・冷房が強すぎて体調が悪くなることがあった。
- ・新講義棟クーラーがききすぎて寒いです…本当に28℃ですか…

◆芸術資料館演習室

【履修】

- ・イスが足りていません。もっと広い教室にして下さい。
- ・机がたりていない時があるのでもうちょっと配慮してほしい。
- ・全員が座れる教室にしてほしい。

【施設】

- ・左ききなので机がつかいにくい。
- ・この部屋のイスは座りづらい。
- ・演習室は机がせまい。[2]
- ・机がすごくせまくて嫌でした。A4の紙もはみ出すほどだったので。
- ・プロジェクターの位置（時々スクリーンからはみでており見にくい。）
- ・スクリーンの画面切り替えが早いと思います…！
- ・この場所は机が小さく、勉強がしづらいです。

- ・資料館下の机がせまい。あとガタガタしている。
- ・狭い。席足りない。
- ・教室が人数の割にせまい。机がせまいためノートがとりづらい。
- ・芸演の黒板やホワイトボードは後ろの方にすわると見づらい。
- ・机が書きにくい。
- ・机が左ききなので使いにくい。
- ・資料館地下の教室の机が不安定なところがある。
- ・イスが座りにくい。[2]
- ・イスについている机(?)が小さくて使いづらい。
- ・机と椅子が非常に使いにくい。右利き仕様なものもよくない。

【空調】

- ・教室の湿気、においのこもり方がすごい。むし暑い。だから換気せんをつけてほしい。
- ・大勢の人数が入ると空気がこもって息苦しいので換気できるようにしてほしいです。とっても必要だと思います。
- ・湿度が凄いです。
- ・カビくさい。
- ・換気せん
- ・部屋が暑い。じめじめする。
- ・においがこもっている。湿気がすごくて気持ちが悪くなるコトが多い。
- ・部屋の湿度(特に梅雨期)
- ・エアコン完備
- ・教室が6月後半から大変あつく、授業に集中出来ない事があった。
- ・暑いです。
- ・湿度が高すぎて居るのがつらい。
- ・教室の湿度がひどいです
- ・エアコン完備
- ・教室が人でいっぱいなのに冷房があまりきいていない。
- ・教室が暑い。蒸し暑くて、息苦しいので、対策をお願いします！
- ・暑かったり寒かったり気温がくちゃくちゃ。
- ・芸演は地下で湿度がすごく高くジメジメして空気がすごく悪いので、夏は(特に雨の日)クーラをつけたり、空気清浄器をおいたりしてほしい。[3]
- ・部屋の臭いがこもっている。湿気がすごくてカビくさい。換気せんをまわしてほしい。
- ・寒い時が多い(春頃)

◆図書館視覚室

【施設】

- ・先生が使うホワイトボードのペンのインクが出ないことが多く、非常に使いづらそうでした。
- ・水性ペンを新しくしてほしい。読めない。むしろインクが皆無。

◆体育館

【衛生】

- ・虫が体育館におちているのはいやだ。

【施設】

- ・もっと大きな鏡がほしい。[3]
- ・鏡がほしいですほんとうにほしいです。よろしくをお願いします。あとフロアが滑りやすいです。
- ・体育館が汚い。天井が低い。
- ・体育館がせまい、汚い、遠い。
- ・鏡が欲しい。
- ・体育館の電灯が今にも落ちそうで怖いので直して下さい。
- ・体育館の空気が悪い。更衣室も。あと、先生の声が変に反射してしまい聞きづらいことがよくあった。
- ・体育館が遠い。

【空調】

- ・体育館暑い。
- ・体育館にクーラーいる！！

◆彫刻1年アトリエ

【施設】

- ・床ががたがたなので、平らにしてほしい。
- ・ゆかを真っすぐにしてほしいです。
- ・アトリエがせまい。
- ・制作場所が狭い。床の平面が出ていない。扉のたてつけが悪い。
- ・アトリエを広くしてほしい！等身大の像のときやりにくかった。
- ・アトリエを広くしてほしい。
- ・アトリエがせまい

◆大演奏室

【施設】

- ・ホワイトボードの設備をよくしてほしい。

◆中演奏室

【空調】

- ・クーラーがきくまでとても暑かったです。

◆小演奏室 A

調律

- ・ピアノの調律

【施設】

- ・部屋がせまくて、本来の配置ではない形で演奏しなければならなかった。

◆管打レッスン室

【施設】

- ・かべがボロい。
- ・ホワイトボードに書くペンが出にくいことがしばしば。あと、もう少し太いペンだと管打レッスン室では使いやすいと思います。

◆合奏棟第 1 教室

【楽器】

- ・ピアノの調律がおかしい。

【空調】

- ・クーラーを強くして欲しい。坂道を上っているのだから…。
- ・ちょっと冷房ききすぎです

◆中リハーサル室

【衛生】

- ・中リハのトイレが日に日に汚くなっている！！

【施設】

- ・除湿機の水があふれて授業開始が何度かおくれた。

【空調】

- ・エアコンの音がうるさい。[2]

H24年度 授業評価アンケート（後期）

設問 授業に関して施設設備などに対する要望などがあれば書いてください。

- ※ 自由記述欄の回答のうち、施設設備などに対する要望についてまとめています。（一部、文章の校正を行っています。）
- ※ 文末の数字は、記述件数を表しています。
- ※ ◆=場所（専攻）、◇または文頭の（）内=授業
- ※ 【履修】 履修人数等、授業の履修に関する要望についてまとめています。
- ※ 【楽器】 調律等、楽器に関する要望についてまとめています。
- ※ 【衛生】 清掃等、施設の衛生環境に関する要望についてまとめています。
- ※ 【施設】 建物・備品等、施設の利便性に関する要望についてまとめています。
- ※ 【空調】 室温管理・換気等、施設のカットに関する要望についてまとめています。
- ※ 【時間外】 授業時間外の施設利用に関する要望についてまとめています。
- ※ 【教員】 授業評価アンケート報告書から教員の大学に対する意見を載せています。

◆講義棟第1講義室

【施設】

- ・もう少し黒板を新しいのにしてほしいです。

【空調】

- ・暖房が直にあたって暑い。
- ・冷暖房の改善。時間や期間をもっとよく検討して適した期間にしてほしい。冬は寒くてどう勉強に集中すればいいのかわからない。何のための暖房器具なのか、学務課がちゃんとしてほしい。
- ・広い部屋なので暖房がききにくく寒い。12月まで暖房が入らないので先生もとても寒そうで、見ていて辛かった。
- ・冷暖房設備の徹底。
- ・11月の下旬は暖房がつかず、寒かったです。
- ・教室が寒かったです。もう少し早くから暖房をつけてください。
- ・寒くてつらかった。
- ・11月くらいの暖房がないときが死ぬほど寒かった。
- ・冬場は気温に応じて暖房をつけてほしい。寒くて授業に集中できません。
- ・寒い。足が。
- ・冬、部屋が寒かったです。[6]
- ・もう少し空調をなんとかしてほしいです。
- ・乾燥と空気の悪さ。
- ・空調設備を何とかしてほしい。節約というのであれば学務も節約するべき。
- ・寒くて暑いです。

◆講義棟第2講義室

【空調】

- ・寒い時期に暖房がつかないときが何度かあって、上着を着てマフラーして授業をうけていたので、できればつけてほしい。
- ・冬さむい。
- ・エアコンの効きが悪い。エアコンがついていたにもかかわらず寒かった。（特に足）[2]
- ・寒いので改善してください。
- ・教室が寒いです。[2]
- ・冬は寒いし夏はあつい。特に冬の寒さをどうにかして欲しい。暖房をもっと早くつけさせて欲しい。震えながら授業を受けていたから。
- ・暖房が効かないことが度々あった。[2]
- ・寒い日は空調をつけて下さい。
- ・暖房がつかないの遅すぎます。

◆講義棟第3講義室

【施設】

- ・講義棟そのものを立て直して欲しい…。
- ・部屋の設備が悪い。

【空調】

- ・12月に入ったのに暖房を入れてくれないなんて酷い。
- ・窓ぎわの足もとに、冷気が来て寒い。
- ・さむいです。[2]
- ・寒いし暑い。
- ・午後でもエアコンつけて下さい。
- ・管理棟はエアコンがきいているのに講義棟がエアコンつかないのはおかしい。
- ・暖・冷房完備が悪い。
- ・寒い日に暖房が着かず、皆風邪を引いていました。講義棟は非常に寒いので暖房くらいつけて下さい。11、12月は本当にしんどいです。

- ・冬、エアコン使用開始時期が遅い。気温が低ければ点けても良いと思う。

◆講義棟第4講義室

【施設】

- ・チョークが短いので黒板に書きにくい。
- ・チョークがたりない、短すぎるようなのでチョークを満たしてあげるといいと思います。
- ・黒板の前からテレビをいち早くどけてほしい。

【空調】

- ・どの授業に関しても空調だけは改善していただきたいです。先生も生徒も震えながら授業をうけていました。
- ・寒い。[2]
- ・5時にエアコンが消えてしまうのでとても寒い思いをしました。延長をお願いします。
- ・17時で暖房を消す(学務?)のはどうかと思う。
- ・暖房付けてほしい。
- ・冷暖房の使用をもっと学生が必要な時に使わせて欲しい。冬は寒いし、夏はあついし、試用期間がおかしい。
- ・空調設備が改善されると良いと思います。
- ・教室が寒い。

◆講義棟第5講義室

【空調】

- ・冬、暖ぼうがつくまでの間、とてもさむかった。
- ・一時期、暖ぼうがつかなくてとても寒かった。使っている教室はちゃんとはあくしてほしかった。
- ・5時間目が始まると、エアコンがきれる時があって寒かった。
- ・暖房が入らなかった時は本当に死んでしまうかと思いました。
- ・寒かった。
- ・暖房がつくのが遅くて、授業が早く終わったりしたので、もう少し早い時期からつけてほしい。
- ・ヒーターは常につけてほしい。
- ・暖房が効かなくコートを着ていても寒いくらいだったので、何か防寒のために設備をよくしてほしい。
- ・暖房が入らず寒いときがたびたびあった。
- ・とても暑く寒い。[4]
- ・講義棟が寒くて集中できなかった。
- ・冷暖房をもっと早い時期からつけてほしい。
- ・あたたかい教室で授業を受けたいです。

◆講義棟第6講義室

【履修】

- ・もう少し広い所でのほうがよい。(教職入門(美術+ピアノ))

【施設】

- ・教室のドアが、きしんですごい音をたてます。
- ・西側からの夕日がまぶしいです。
- ・暗かった。
- ・真っ暗はやめて欲しい。板書できないし眠くなる。
- ・ドアの開閉音がうるさい。

【空調】

- ・空調設備がひどい。
- ・さむいです。[7]
- ・冬は寒い。暖房がついたらあたたかいが11月の寒さはたえがたい。
- ・空調をもっと高めにしてほしい。
- ・エアコンをもっときかしてください。さむいです。
- ・足が寒い。[2]
- ・ドアがうるさいのと寒かったです。[2]
- ・寒い日に暖房をつけよう!!!
- ・暖房が途中で切れるので寒いです。
- ・冷暖房の改善!
- ・冬は寒いです。気温によって暖房をつけて下さい。

◆コンピュータ室

【施設】

- ・コンピュータ室のパソコンのインターネット接続が遅すぎて使い物になりません。[2]
- ・インターネットの接続をよくしてほしい。
- ・コンピュータの動作が遅かったです。
- ・イラレを使うならMacのがよいのでは?

【空調】

- ・冬、暖房が効かないのは寒い。
- ・寒いです。
- ・部屋が寒いです。[3]

- ・冷暖房の改善をして欲しい。
- ・冷暖房が効かない。
- ・教室さむい…。
- ・暖房が欲しい。足元が寒い！！

◆物理化学実験室

【空調】

- ・実験室がとても寒いです。[2]
- ・さむい。[4]
- ・冬場は寒すぎます。
- ・エアコンがあまりきかない。
- ・冬場がとても寒かったので、暖房設備を整えて欲しい。

◆新講義棟大講義室

【施設】

- ・イス、机がいくつか壊れている。
- ・机がせまい。
- ・机がほしいです。
- ・イスと机の使いにくさも改善して欲しいです。
- ・ここの教室は、机？とイスが使いづらい。だるくなる。
- ・右の方の席だとまぶしいので遮光してほしい。
- ・オーディオ機器の不調が多いので改善していただきたい。

【空調】

- ・さむい。
- ・新講義棟の室温調節ができないので、あったかすぎると眠たくなってしまふ。
- ・11月ごろ寒かったです。
- ・暖房のない冬寒すぎます。
- ・梅雨の時期に部屋に湿気がこもるのが困ります。
- ・湿気がひどくてむし暑いのが、本当につらい。耐えられない。せっかく授業が良いのに勿体ない。
- ・暖房がききすぎて気持ちわるくなる。とりあえず湿気はあるしむしあついしあつすぎる。

◆芸術資料館演習室

【施設】

- ・芸術資料館に机がほしい。
- ・教室の机がせまくて勉強しづらかったです。[4]
- ・使いにくい教室。板書が取りづらい。
- ・イスの背もたれがほしい。
- ・音響設備が壊れているので改善して欲しい。

【空調】

- ・冬はとても寒かったです。
- ・教室がさむい。[10]
- ・冬さむく、音楽棟から遠い…。
- ・教室内が特に暖房があまり効かなかったので、ストーブがあるとよかったです。
- ・非常に寒いので、暖房をもう少しあたたかくしてほしいです。

◆体育館

【施設】

- ・鏡の壁が欲しい！[6]
- ・床がすべるし色々わるいです。[2]
- ・体育館の建て付けが悪い。

【空調】

- ・すき間風寒いです。
- ・寒いです。床暖房が欲しいです。
- ・寒すぎる。1時間半動いても暖かくなれないのはおかしすぎる。体育館は問題有りすぎます。
- ・とても寒かったです！
- ・体育館寒い！[7]
- ・体育館が遠い。[3]

◆日本画1年アトリエ

【施設】

- ・教室のドアがよく外れるので直してほしい。[3]
- ・窓側から雨漏りがする。

【空調】

- ・冷暖房をもっと自由にに使わせて欲しい。
- ・冬はストーブを借して欲しい。

- ・冷暖房の改善。政策に支障をきたしている。
- ・寒すぎて絵の具が使えない。
- ・暖房設備（ストーブなど）を増やしてほしいです。
- ・冷暖房、ストーブをつねに置かしてほしい。寒い。絵もかわきにくく、にかわがたまります。

◆日本画2年アトリエ

【空調】

- ・暖房時間の延長等。
- ・アトリエの設備が悪すぎる。・夏熱い、冬寒い、とりあえずひどすぎる。早急に解決してほしい。
- ・冬が寒いです。絵具が固まって絵が描けません。
- ・暖房時間の延長等

◆日本画3年アトリエ

【施設】

- ・部屋がうすぐらい。
- ・ブレーカーがすぐ落ちるので電圧を上げてほしいです。[2]
- ・施設面で、床から土が出てきたり、暖房がなかなか効かなくて、日本画の制作に適さない環境だと思いました。

【空調】

- ・寒い。電力不足。ストーブ台数の増加を頼んで、検討するというお話だったのですがどうなったのでしょうか。
- ・冬の寒さで材用のニカワがかたまって制作ができません。
- ・冬、暖ぼうどうにかしてください。描けません。
- ・冬、11月でも実技の3年の授業は午後もあることになっていますが、午後は暖房を切るというのはおかしいと思います。日本画で使用するニカワが原理的に低温で固まってしまうのに暖房の温度も設定できず、11月の午後はつかない、ということは描くなということですか？暖房の事、本当に考えてください。このままでは本当に描けません。

◆日本画4年アトリエ

【施設】

- ・アトリエ北面の壁が大雨や連日の雨が降ると壁づたいに雨もりし、コンクリートと塗装の間や床に水たまりが出来るので改善をお願いします。

◆日本画4年アトリエ

【施設】

- ・お湯がでてほしい（給湯器）
- ・かべを白くしてほしい。

【空調】

- ・部屋がさむすぎて、膠がこごってしまいかけないし、大きな仕事（はけで1色ぬる、どうさをかける）などしてもなかなかかわかず仕事はかどらない。
- ・暖房、ストーブをもっと早い時期に。
- ・寒い。膠が固まって制作が進まない。
- ・寒いと日本画は絵の具の性質上描けません。ちゃんとしてください。

◆彫刻4年アトリエ

【施設】

- ・ブレーカーがすぐ落ちてしまうので、困ります（4年アトリエの）
- ・塑像室がせまいです。
- ・足場を全てコンクリートにして水平が取り易い様にして欲しいです。
- ・アトリエのいたる所が壊れているので直してほしいです。そしてなによりも地震などが来ても壊れないという保障のある校舎が良いです。
- ・全員で使用する工具が充実するともっと使いやすい施設になると思います。
- ・ブレーカーが落ちることが良くあり、そのたび作業の手が止まってしまった…。12月頃から突然の出来事だったので、電気の使用量が増えたせいかもしれないと思いますが、“最大使用量に制限がかかった”等の理由だったならば、具体的な連絡を入れてほしかった。
- ・制作において、電気を使用するのだが、本当にひんぱんに2、4年アトリエのブレーカーが落ちるので困りました。

【空調】

- ・冬は寒いので、せめて8（20）時までエアコンを…
- ・石彫場を使っているのですが、冬は寒く夏は暑いためそれをさえぎる壁の様なものが欲しいです。
- ・電気ストーブの使用をさせないように、夜2時までエアコンを入れるとかしてもらえるといいなあと思いました。

◆芸術学修士棟

【空調】

- ・エアコンがよく切れる（時間的な問題で）
- ・寒いことがあった。
- ・足元が寒いです。

◆デザインアトリエ

【衛生】

- ・アトリエが汚いので休みの間に業者を呼んで一気にきれいにしてほしい。

【施設】

- ・機材をもっと新しいものにしてください。
- ・コンセントが断線しているので直してほしい。[2]
- ・床を張りかえてほしい。
- ・電気！なぜあんなにすぐ落ちるの？絶対おかしい。
- ・水道がよくつまってあふれだすのでどうにかしてほしいです。
- ・雨もりを改善してほしいです。[2]

【空調】

- ・教室が寒い暑い。
- ・アトリエの暑さ、寒さの差が制作に支障が出るレベルです。6時以降もエアコンが使用できるようにしてください。[2]

許可をとるとかそういう制度があってもいいので…。

- ・寒い、暑い。[2]
- ・アトリエの環境が悪くて授業時間外に制作するのがきついです。（特に夏と冬）
- ・アトリエの環境（気温等）が悪すぎる。
- ・エアコンなどの暖房設備。電源を入れていただくべき時に入れていただいております。
- ・寒すぎて制作できない！
- ・空調の使用時間をのばしてください。
- ・冬は寒いです。
- ・夜や休日でも作業したいのにエアコンが着かないのが不満。
- ・暖房設備をもっと充実してほしい。
- ・寒いです。
- ・空調の改善をしていただけたらうれしいです。

【時間外】

- ・教員立会で休日アトリエ使用するときは事情を警備員さんに伝達しておいてほしい。（使用許可をとったのかと怒られる。）
- ・アトリエの使用できる時間を増やしてほしい。
- ・常にアトリエを24時間開放してほしいです。

◆陶磁実習棟

【施設】

- ・更衣室がせまい。
- ・石膏ろくろを扱える機会が少ない。
- ・窯場、ろくろ場の暖房設備、水場はお湯が出るようにしてほしい。
- ・温水がでるところが増えたらうれしいです。
- ・石膏室のライトがふえたらうれしいです。
- ・長期休み（夏休み、冬休み）の設備使用許可。
- ・ろくろ場がとても寒いです。
- ・ろくろ場のエアコンがつかなくて寒いです。
- ・エアコンをつける期間をもっと長くしてほしい。寒くて作業できない。
- ・エアコン運転して…。
- ・夏暑すぎます。
- ・プロダクトデザイン室・絵付け室のエアコンが動かず製作中寒いので、できれば動くようにして頂きたいです。

【時間外】

- ・彫刻科みたいに土日も出入りしたい。
- ・午後7時以降も制作をしたいです。
- ・夜23:00までは制作させてください。お願いします。本当に本当にお願いします。

◆奏楽堂ステージ

【衛生】

- ・虫が入って来ないようにしてほしい。

【施設】

- ・奏楽堂はどうにかしてください。
- ・ホール外からの雑音がひどい。度々授業が中断される。
- ・空調がうるさい。動きも悪い。
- ・奏楽堂はどうにかしてください。
- ・奏楽堂への楽器運送が困難。
- ・奏楽堂が暖房きかない時があったので寒かった。
- ・休日のケイコでの奏楽堂の暖房が弱く、寒かった。
- ・暖ぼう完備。

◆奏楽堂第1教室

【空調】

- ・教室が寒すぎる。

◆大演奏室

【空調】

- ・寒い。

【施設】

- ・スタインウェイピアノを使いたい。

◆小演奏室A

【空調】

- ・部屋が寒いです。今日も電気がきていませんでした。

◆大合奏室

【施設】

- ・大合奏という最悪な部屋でよくオペラができたと思う。(オペラ研究B)

【空調】

- ・集中練習の時冷房をつけてほしいです。暑すぎて集中できません…。

◆管打レッスン室

【空調】

- ・少し寒かったです。

◆合奏棟第2教室

【空調】

- ・寒いです。

◆中リハーサル室

【空調】

- ・空調が直接あたって、いやだ…。

平成23年度 授業評価アンケート
授業に関して施設設備などに対する要望についての回答

1. 平成23年度中に改善または実施中

(1) 体育館の設備について

- ・ダンス等で使用する大型鏡を平成24年12月に購入しました。

(2) 講義室などの設備について

- ・新講義棟大講義室のプロジェクターの不具合等は、平成24年度末に修理調整し改善しました。

(3) 消耗品関係

- ・ホワイトボード用のマーカーは、学務課及び教員センターに予備を用意してあるので、かすれてきたときは、申し出てください。

(4) 履修関係

- ・受講者数に比べて教室が狭い場合や、周囲の教室の音が聞こえる場合などは、空き教室の状況に応じて、教室を変更しますので、教員に申し出てください。
- ・学生のみなさんが履修登録などに利用できるパソコンを、管理棟2階に4台設置しています。また、シラバスの電子化に伴い、閲覧用シラバス（紙ファイル）を、学務課に5冊設置しました。このほか、図書館、美術学部の各専攻、音楽学部の教員センター前などにも設置しています。

(5) 楽器関係

- ・ピアノの調律は、原則として、年2回行います。試験や特別講座、公開授業などに使う場合は、その都度、調律を行います。現在、調律回数を増やすことができるように検討しています。ピアノを使用される方も、楽器の上に物を置かない、使用した後は清掃に努めるなど、良い音を保つためにご協力願います。

(6) 空調関係【管理課回答】

- ・授業のある部屋の冷暖房については、他大学の基準を参考に次の基準を定めて運用しております。

1 冷房運転

①本運転（7月1日から9月30日まで）

午前8時から午後5時40分まで運転する。

ただし、外気温が27℃以下の場合は、運転しない。

②暫定運転（6月1日から10月20日まで（本運転期間除く））

外気温が28℃以上の場合に運転する。

2 暖房運転

①本運転（12月1日から3月20日まで）

午前8時30分から午後5時40分まで運転する。

ただし、外気温が14℃以上の場合は、運転しない。

②暫定運転（11月16日から3月31日まで（本運転期間除く））

外気温が13℃以下の場合に冷房を入れる。

※上記以外の場合で、大学行事等で要請がある場合には運転する。

ただし、運転期間中であっても、中部電力(株)及び行政機関等からの省エネ・節電要請があった場合及び電気・ガス・重油料金が高騰した場合は、上記基準にかかわらず、出力を下げる及び運転を停止する場合があります。

- ・陶磁実習棟製作室に空調を設置しました。

（7）施設修繕関係【管理課回答】

- ・本学は、開学後40年以上経過しており、各施設の老朽化が激しく修繕が必要な箇所が多数存在いたしますが、限られた予算の範囲で対応しなければならないため、緊急を要するものから計画的に修繕を行います。

とくに、雨漏り等の建物維持管理関係の修繕及び空調設備等の衛生関係の修繕を優先して行います。

（8）時間外使用関係【管理課回答】

- ・美術学部のアトリエ・工房（木工室・金工室・印刷室を除く）、共同施設及び音楽学部の時間外使用は21時までとなっております。

美術学部教室の17時10分以降の使用は、管理課へ時間外教室使用届の提出をお願いします。

第2章 五芸術大学FD意見交換会

五芸術大学 FD 意見交換会

分科会名	全体研修会	日時	平成 24 年 5 月 18 日
参加者	東京藝術大学 6名 金沢美術工芸大学 20名 京都市立芸術大学 4名 沖縄県立芸術大学 2名 愛知県立芸術大学 5名		
記録	<p>開会の挨拶（川上教育研究審議員）</p> <p>昨年度に引き続き FD 研修会を行うことの説明。特に、金沢美大の取り組みについて紹介をし、意見交換を行う。学部のカリキュラム改編、大学院教育の改編、そして社会連携の取り組みについて説明をさせていただく。</p> <p>1. 学部教育内容の改編（山村教育研究審議員）</p> <p>平成 24 年度カリキュラム改編について</p> <p>基礎教育の改善</p> <p>造形センター科目（共通の基礎教育）を 20 年間続けてきた。これを更に時代に即したものにしていこうとする取り組み。中期計画に対応して。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業単位数を 124 単位に揃える。午前の専攻実技と午後の講義科目のバランスの整理。一般教養科目は 1・2 年次に集中。 ・旧造形センター期間の科目について。1 科目 2 単位を 1 科目 1 単位にし、選択の幅を広げる。更に発展的基礎科目（工房科目）の設置。専攻の枠を超え、現代的な知識技能を身につけるプログラムを新たに揃える（A 群～D 群） ・基礎工房科目と発展的基礎科目の説明。 ・今後の見通し及び問題点の指摘（施設、教員の負担など）。特に、工房科目の新設・改組について多くの時間をさき、大学の理念や教育方法として意義について解説を行った。 <p>2. 大学院教育の改編（田中研究科運営委員会委員長）資料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期目標・中期計画に伴う改編。 <p>多様化・自由化・言語化及び教育の高度化を実現するためのカリキュラム改編。及び運営の拡充。→指導資格の明確化、学位記准の例示。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士課程の確保のため、学外への情報発信の強化、修了生の進路や活動の支援。 ・大学院評価体制の強化。 		

3. 社会連携について（寺井教育研究審議員）

- ・地域連携センターと産学連携センターの実績。

地域連携と産学連携の違いについての説明。企業と協調した活動を行うことで、学生のスキルアップ、現場感覚の涵養など促進する。

問題点としては、知的財産の取り扱いなどがあげられる。

4. 質疑応答と意見交換

[石垣：愛知]

愛知も午前が実技、午後が講義だが、午前を圧すようになっている。その中でどうやって垣根を超えた試みができるのか。

[前田：金沢]

造形センターは平成5年、その前には共通の基礎科目を立ち上げている。それが造形センターの前身となった。その時は交換授業などの形式で行っていた。

[石垣：愛知]

実技時間をどうやって開講しているのか、コンセンサスはどうやって得たのか。

[山崎：金沢]

既にあるものなので、教員についてのコンセンサスは得られている。

[山村：金沢]

逆に一緒に動かないとやりづらい。そのため一斉に行うようになった。

[石垣：愛知]

芸術学について、外国語科目は8単位であるが、芸術学はこれ以上のことをしているのか。

[山崎：金沢]

[] 講義や演習の単位数のカウント、カリキュラム作成に際しての授業日程の組み方などについての質疑応答の他、金沢美大におけるFD活動実践についての質問や意見などが主要な議題として話し合わせ、それぞれの大学の現状、基本的な姿勢について、また本学のFDが実践としてどの程度意義を持つかについてなど、活発な議論が行われた。

平成 24 年度 F D 意見交換会議事録（要旨）

出席者 愛知県立芸術大学

秦誠（日本画専攻）、太田公典（陶磁専攻）

京都市立芸術大学

鶴田憲次（F D 委員長、副理事長、油画専攻）、渡邊眞（学部長、総合芸術学専攻）、小山格平（研究科長、プロダクトデザイン専攻）、横田学（学生部長、総合芸術学専攻）、重松あゆみ（陶磁器専攻）、宇野茂男（保存修復専攻）、安井友幸（漆工専攻）、藤野靖子（教務委員長、染織専攻）、塚田章（プロダクトデザイン専攻）、森野彰人（陶磁器専攻）、川嶋渉（日本画専攻）、伊東徹夫（総合芸術学専攻）

開会の挨拶 鶴田 F D 委員長

出席者自己紹介

議 題

1 愛知県立芸術大学における F D 活動について

愛知県立芸大では、平成 19 年度から F D 活動をはじめ、大学ホームページでもその活動報告を公開している。その活動の柱として、F D 講演会、各専攻での授業評価アンケート、学部専攻での取組と 3 本の柱で取り組んでいる。講演会については、実技系の大学ということで、あまりそぐわず参加者も減少傾向にあることから、最近では今回のように他大学との意見交換会を行うことで議論を深めている。また授業評価アンケートを基に報告書を作成し、学部、専攻ごとに F D 活動に取り組んでいる。授業評価アンケートはマークシート方式で行い集計を行っている。自由記述の部分では、授業内容よりも施設要望等の意見が多いのが現状である。そしてアンケート集約後、教員で回答を作成している。

また、学生ファイル（通称カルテ）を F D 活動に取り入れ、学生に対する課題・評価等の個人情報も教員が共有している。学生の作品の写真等も添付し、講評会で教員による点数化も行い、写真は学生がポートフォリオにして利用している。

陶磁専攻では、3 年生から院生までは、年度当初に各自学生の課題・スケジュールを書かせている。その指導の中で、個人面談を行い、指導内容を記録する中で作品の写真を撮り、また制作した学生本人のコメントも書かせたりして、学生の成長記録を残している。その他にはどうしても技術偏重になりがちであることから、そこからどう脱出し、自身の作品に転化させるために学生に制作ノートの作成、読書感想文を書かせるなどの指導も行っている。また F D ア

ンケートとは別に、1、2年生の基礎教育について、学生の要望等を知りたいので、簡単なアンケートも実施し、今後の授業の進め方等を検討している。

2 京都市立芸術大学におけるFD活動について

京都市立芸大においても、大学設置基準の改正により、平成19年度からFD委員会を立ち上げ、授業評価、講演会等を行ってきたが、始まりがトップダウンのイメージで抵抗感があったことや教員も日々大変忙しい中、あまり主体的な活動はできていなかった。その中でも、教員にあまり負担にならない範囲で、学期末に学科、実技ともに授業まとめ（授業内容検討の方向）を行い、シラバスの内容検討を行ってきた。基本的に学生の授業評価の内容を入れている。その授業まとめについては、学生も教務担当の方で期間を定めて閲覧可能にしている。教員としてよかれと思ってしたことが、学生にうまく伝わっていないことがあるので、とても参考になっている。FDは基本的に組織的な取組であることから、専攻間で合評をするなど、教員が他専攻の授業を見る機会を設けたりもしたが、教員も大変忙しく担当の授業もあまりじっくり見ることができていない状況の中では難しかったのが現状である。教員がもう少し余裕を持って教育を行える環境づくりが求められる。

3 意見交換

○京都芸大 ●愛知県立芸大

- 愛知県立芸大のカルテの記録はずっとされているのか。
- カルテの記録については、FDの取組を始めてからずっとつけている。
- 本学もやっているが、カルテの記録まではやっていない。
- 授業評価アンケートは見える形にすることがFDである。組織的に取り組むことが困難である。
- 労力をかけずに見える形にすることが求められるが、愛知県立芸大では、教員だけで取り組んでいるのか。
- 教員でやっている。
- 事務方は学内ホームページで公開するなどしている。
- 他の専攻のことはあまり知らないが、愛知県立芸大では他の専攻の状況等を見ているのか。
- 学部ではできていないが、博士課程では見ている。音楽、美術ともにFD委員会はあるが、あまり活動できていない状況で、全体のFD委員会だけの取組になっている。
- 京都市立芸大の授業内容方法の検討はとても参考になった。
- 授業のまとめについては、本学の場合、学科の非常勤講師の方が熱心に取り組んでくれている。それをうまくフィードバックできるシステムを今後つくっていく必要がある。

- 本学では、今あるアンケートで十分なのでは。FDは機能できているのではないか。京都市立芸大は他の大学に比べて不十分なのか。
- 討論した記録を残すことが重要である。
- 膨大な時間がかかる。
- 半年に1回でもいいのでまとめられないか。学生が書記をしてもよいので。
- 愛知県立芸大はどうされているのか。
- 前期で2回、後期は卒業制作とかで忙しいので、1回ぐらいまとめている。写真を撮るだけでもいいという気持ちでやりはじめた。個人面談もあるので今では途中経過も含めて記録を残している。学生にフィードバックされているかについては、まだ検討材料である。
- 学生ファイルは全専攻で作成しているのか。
- 全専攻でやっている。専攻によっては、フォーマットが少しずつ変わっているかもしれない。
- 本学の作品展は、すべての学生が展示しているので、他の専攻の教員も見るとし、授業内容も把握できる。また学外の一般市民でも誰でも見ることができる。もっと評価されるべきであると考えます。
- 外部評価は資料の出し方で決まるので、もっとアピールした方がよい。
- ぜひ芸術大学は作品展などで広く公開してほしい。学生全員の作品を展示することは、教員のしっかりとした指導が求められ、授業改善にもつながる。入場者数も刺激になるし、また学生自身も他の専攻の作品を見ることができる。
- 作品展は強くアピールしたい。学科の先生も学生の作品を見ることができる。
- 非常勤講師の先生のほとんどが作品展に行かれるので、学生と教員のコミュニケーションもとれる。
- 愛知県立芸大では、学内で専攻ごとにやっており、学外でも実施している。
- 作品展のアナウンスを学科の教員にもできていることをアピールすべきである。
- 昨年からは授業内容のプレートを統一化して掲示した。
- それは素晴らしい取り組みである。
- どの芸術系大学でもやるべきである。FDの一つの形である。
- 陶磁器の展覧会を外資資料館でやったが、とても有意義であった。
- 作品展の場合は中で合評をしている。
- 陶磁器専攻では、見に来られる方の邪魔になったりするので、昨年からはやめている。
- プロダクトデザインでは、合評はやっている。確かに、一般の人が入ってきたりするが、それは学生にとって悪いことではないし、そんなに邪魔にはなっていない。
- 社会とつながるのはいいことである。

- だが、記録はしていない。プロダクトデザインでは合評以外に学生にインタビューしている。ところで学生のカルテはいつまで残すのか。記録に残すことがメインになってしまっ
ては本末転倒である。
- 作品展をFDとしての取り組みとして残すのはどうか。認証評価を受けるためには説得
力が必要である。
- 記録がなければやっていないとの同じ評価になる。記録の残し方を工夫する必要がある。
- 教員としても記録が残っていないと、何をやってたのだろうかということになる。計
画表と写真を残すだけでもFDにつながる。役割分担をして、年度ごとにまとめていけば、
指導にも役立つ。
- 昔に比べて教員と学生・保護者も含めて、コミュニケーションの取り方が変化してきて
いるので、教員も意識的にコミュニケーションをとる必要がある。
- 年間計画表においても、今は学生にしっかり方向性を示す必要が出てきている。
- 課題を取り組ませる前には、口頭で課題に取り組む目的など細かく学生に説明をしてい
るが、記録まではできていない。
- 授業のまとめにそういったことを記載すればよい。
- FDに合わせるだけではなく、今の学生にそういったことが必要なのかと感じている。
- 学生自ら学ぶ姿勢を見せてほしい。
- なるべく細かく説明しているが、どれだけ伝わっているかは分からない。
- 学生の取組姿勢が変化している。昔はあまりうるさく言わないでほしいという学生が多
かったが、今は指示しないとやらない学生が増えている。
- 半分高校生と思ったほうがよい。院生になってくるとだいぶ変わってくる。
- 敬語が使えない学生も多い。
- 敬語どころか、返事のない学生もいる。
- 大学は主体的に勉強するところだと教えるべきである。
- 油画専攻では、チュートリアルシステムを採用している。放っておいても伸びる学生も
いるが、最近では細かく指導して伸びる学生が増えている。
- 昔は学生の質がそろっていたが、今は差が大きくなっている。
- デザイン科の入試の際に3科目から5科目入試に変えたところ、入学してくる学生の質
が上がった。
- やはり高校での必修科目をやっていないと難しい。
- 高校でしっかり勉強できていないと、博士論文は書けない。
- 何を書いたらいいのか分からない学生が多い。
- 学生の作品のカルテを積み上げていくことは、やってみたいが、実際にやれるのか不安

である。愛知県立芸大はどのようにしているのか。TAはいるのか。学生の数はどれぐらいなのか。

- TAはいるが、大学院生が主体でやっている。ファイルについては、非常勤の方にしてもらっている。カルテは学生が卒業してから5年ぐらい鍵のかかるロッカーに保存している。将来的にはスキャナーも考えている。愛知県立芸大の日本画専攻は1学年10名程度である。
- 継続することが困難である。陶磁器専攻では、学生に記録を作成させているが、教員の記録となると手間がかかるので難しい。
- 確かに面倒であるが、習慣付ければ問題ない。とりあえず記録することから始めればどうか。残すことは後から考えればいい。
- 学生はカルテの閲覧はできるのか。
- 個人面談の時に見せることはできるが、自由には閲覧できない。
- 記録は、すべてスキャナーしてエバーノートで残している。セキュリティの問題はあるが。
- 合評時にメモを取っているのか。
- やっているが1作ずつまではしていない。現在1年生が36人、課題が6ある。学生の顔を作品の写真は撮っているが、ポートフォリオにまでは活かしていない。
- エバーノートは写真に文字が入っており、その文字で検索ができるので、大変便利である。
- 本日は、貴重な意見ありがとうございました。

事務局出席者

教務学生支援室 南教務学生支援室長 森教務学生課長 細井美術教務係長 村上

第3章 その他FD活動

平成 24 年度 日本画専攻 F D 活動報告書

美術学部日本画専攻
F D 専門委員長 秦 誠

F D 活動記録

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

日本画専攻では各学年に担任を置き、授業の質向上に向け「学生ファイルの作成」と「授業評価アンケートによる改善」「授業改善を協議する専攻会議」の三つの方策で年間を通して F D 活動を行っている。

まず「学生ファイルの作成」は日本画専攻独自の様式を用い、カリキュラムの課題ごとに提出作品の写真とその講評内容を記載し、実技作品の採点簿として記録、保管している。また、その内容を担任以外の教員が何時でも見られるようにして情報の共有を図っている。

第二の授業評価アンケートによる改善は各学年のアンケートの集計結果、自由記述をもとに報告書を作成することで担当教員の授業向上を目指している。

第三の授業改善を協議する専攻会議は不定期であるが水曜日及び木曜日に全員が出席して授業の改善、学生の授業に対する状況など様々な問題について話し合い、情報の共有と教員相互の意思疎通を行っている。

11 月 8 日 専攻会議 芸大 F D 意見交換会報告

10 月 31 日に京都市立芸術大学において行われた「F D 意見交換会」について日本画の専攻会議において報告した。その意見交換会は愛知芸大と京都芸大の F D 活動に対する取り組みをそれぞれ紹介し合い、芸大としての F D はどうあるべきかを模索する内容であった。

1 月～2 月

年間を通して行っている F D 活動であるが、24 年度のカリキュラム内容を振り返り、授業内容、課題の設定などの改善策を盛り込んだ 25 年度用のカリキュラム作成を約一ヶ月かけて全教員で協議した。

カリキュラムの内容見直し

- ・ 学部 3 年のカリキュラムに新たに「想定課題」を設け、4 年次の卒業制作に向けて学生の発想力を高める工夫をした。
- ・ 大学院博士前期課程の古典分野研究室の授業内容では古典絵画修復を体系的に学べるように改善する。
- ・ カリキュラムの課題に沿った材料講義や技法講義、あるいは教員自身の創作活動についての講義など、普段の実技指導に加えて日本画についての知識や理解を深めるための講義授業を各教員が 1 回以上実行する。

油画専攻 FD 活動報告 (H24年度)

FD 専門委員会 油画 FD 委員 寺内曜子 (H25年3月記述)

取り組み

① 専攻会議 (毎週水曜日午後1時半開始)

専攻全教員の情報の共有と授業計画, 改善を話し合う事を目的として、毎回2~4時間をかけて、全学及び専攻内の問題を話し合っている。結果、教員相互の意思の疎通がはかれ、様々な視点からの意見を基に、視野の広い指導体制が築かれている。特に年度終盤の次年度のカリキュラム作成では、各教員が担当する授業内容について説明し、それに対する質疑の時間を設けるなど、教員同士の授業内容の共通認識の徹底を図っている。その結果、学生にとり、より効率のよい授業展開のカリキュラムが決定され、様々な方面で目標が達成された。(参考としてH24年度のカリキュラム表を添付)

② 油画教員全員による全体講評 (各学年毎に前後期各1回)

学生の作品に対する評価と助言の場であると同時に、他教員の価値観や助言(のやり方も)を教員同士が知る場ともなっている。集団的指導体制の実際を皆で確認でき有効である。学生一人一人に目が届く様に、1、2年生の講座では25名を2組ないし3組に分け、組ごとに1人の教員が指導することもあるが、その場合も講評は3名全員の教員が一緒に行い、講座としての成果の確認を共有している。結果、カリキュラムと各講座の更なる向上に役立っている。

③ 講座記録ファイル (毎年学年ごとにファイルにまとめて保存)

全講座を順番ごとにシラバスと全学生の講座作品写真を1年分まとめて保存。カリキュラムとしての流れを掴むのと、他の教員の講座内容を具体的に理解し共有するのに役立つ。本年度版も完成し保存。

④ 学生ファイル (各学生ごとに一部、1年生から4年生までの間続けて使い、保存)

各学生の1年生からの全受講記録。すべての講座の指導教官名と採点とコメント、作品写真が載っている。個々の学生の成長や傾向がすぐ分かる。③のファイルと合わせ、きめ細かい指導に役立つ。特に3、4年時のチュートリアル(学生が指導教員を指名し、その教員による個人指導。学生の自立性を養う油画独自の制度)では、各チュートリアルの指導内容や成果の専攻内共有に役立っている。

⑤ 独自のアンケート (各講座毎に行う、結果は年度ごとにまとめて保存)

油画専攻は2007年度より、教員各自が自らの教育方針や教育目的に合わせた物を、各自が作成し、各々が担当した講座の最後に書かせている。①②③④で述べた様に、油画専攻のカリキュラムはきめ細かく構成されており、個人指導で各学生に対応した指導を行いつつも、情報の共有の環境も備わっている。それぞれの講座ごとに異なる指導目的に応じた質問がアンケートの有効性からも最適との考えにより、各教員が各講座ごとに独自のアンケートを作成し、学生の理解度、習得の深さ、学生からの意見を知る手段の一つとしている。結果、各講座の向上に役立ち、目標達成できた。(参考として寺内曜子の講座・1年生7名分と、このアンケート結果に対する寺内のコメントを添付する)

上記のように油画専攻のFDへの取り組みは良い結果が出ているので、これからも継続していきたい。

平成24年度油画専攻カリキュラム

		4月			5月			6月			7月			10月			11月			12月			1月			2月							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
		4/9 ~13	16 ~20	23 ~30	5/7~ 11	14 ~18	21 ~25	5/28 ~6/1	4 ~8	11 ~15	18 ~22	25 ~29	7/2 ~6	9 ~13	16 ~20	23 ~27	7/30 ~8/3	10/1 ~5	8 ~12	15 ~19	22 ~29	5 ~9	12 ~16	19 ~23	26 ~30	12/3 ~7	10 ~14	1/7 ~11	15 ~18	21 ~25	28 ~2/1	4 ~8	11 ~15
基本となる 素地作り	学部1	A-1 全教員による 講話と課題 全体講評			A-2 木工 A-3 下地 白河		A-4 絵画組成 材料研究 白河			A-5 阿野 額田 猪狩		A-6 フレスコ 設案		A-7 山本 寺内 増田 空間への試行			A-8 小林		A-9 版画研究 倉地、井出、大崎			ガイダンス	人物課題 課題制作			全体講評	教務担当 1年 ・倉地 ・井出 ・猪狩						
	モデル	モデル2人			芸学2年 実技及び材料研究						モデル2人																						
可能性	学部2	講座 1 小林		講座 3 山本		講座 5 設案		講座 7 倉地		特別講義週 間 歌田真介 西村智弘 小林英樹		講座 9 額田			講座 10 増田		講座 11 白河		講座 12 大崎		PC 講座 (2)	小林講座					2年 ・山本 ・阿野 ・増田						
	モデル	講座 2 阿野		講座 4 寺内		講座 6 猪狩		講座 8 井出		5月連休			立体造形の研究 介護実習		写真講座 介護実習		1/7(月) ~8(火)		1/9(水) ~30(水)		1/31(木) ~2/6(水)												
応用性	学部3	チュートリアル 3-A			文章で表現する 小林		ガイダンス		課題制作 大作週間			全体講評		古美研			チュートリアル 3-B		ガイダンス		課題制作 大作週間			課題制作 大作週間		全体講評		3年 ・寺内 ・設案 ・白河					
	学部4	卒制に向けての チュートリアル 4-A			卒制エッセイ 提出		卒業制作演習			資料館 展示 7/9(月) ~7/16 (月)		デザイン基礎		制作期間			卒業		卒制プレゼン		卒業制作		卒制講評週間		卒業制作				卒制プレゼン				
関連科目 (他専攻用)					版画研究 日本画、彫刻			教育実習			博物館実習		芸術祭			小林先生 退任展		素描及び色彩研究								古美研 寺内 設案 阿野 猪狩							
院1	研究制作						資料館 展示 6/26 (火)~ 7/3 (火)		各研究室による独自の研究 (技法研究含む) ゼミ、レクチャーなど						研究制作						各研究室による独自の研究 (技法研究含む) ゼミ、レクチャーなど						研究制作						
院2	修了制作						資料館 展示 6/14 (木) ~ 6/21 (木)		各研究室による独自の研究 (技法研究含む) ゼミ、レクチャーなど						修了制作						修了制作												

彫刻専攻FD活動報告（24年度）

彫刻専攻としては、昨年度に引き続き2週間に1回の定例専攻会議と臨時会議を随時設けて行っている。これらは教員相互の基本的FD活動となっている。

なお、定例専攻会議後に“将来計画会議”と位置付け、今後の“彫刻専攻”のあり方を、カリキュラム中心に検討している。これは教員相互の“彫刻専攻”の存在に関する意見確認を行う大きなFD活動となり得ている。特に、今年度はカリキュラムの再編をめざし、25年度実施に向けての詳細を検討してきた。その中での問題の把握・対応などについて教員相互の問題認識が確認できた。特に3年生の授業カリキュラムにおいて、密接な指導体制をとるために2名の教員（3コース）でゼミを担当し徹底した指導体制を試みることになった。それに伴い、1・2年生のカリキュラムの再編と担当教員の配置について非常勤講師も含めて再構成をした。通常会議の課題は、主に授業内容の確認、学生の動向、施設安全管理についての検討を行っている。

23年度に引き続き継続

*授業内容は担当教員と非常勤講師との間で話し合い、詳細を決定している。この内容はカリキュラム構成の参考資料として活用されている。

平成18年度から3・4年生は年度ごとに研究報告書を作成し、学生の研究内容を確実に全教員が常に把握することが出来、次の授業計画を立てる時に大いに参考となっている。また、19年度以降は学部生全員のカルテを作成し、授業成果としての作品（課題）資料が順次追加されている。（授業内容等の資料充実）

*授業中間時に受講学生全員に全教員がアドバイスを兼ねて講評し、課題終了時の講評会は学生・教員の作り手としての意識の確認の場として大いに役立っている。さらに、外部から講師の先生を交えての講評会、作家による彫刻論も開催し、とくに、著名評論家・客員教授等による講義などは学生のみならず教員にも影響を与えている。

*学生の授業への参加は、課題の多くが大学の施設・アトリエで行うため、授業出席状況を専攻内で常に把握し、学年担当は授業担当教員とともに欠席の多い学生のフォローに努めている。また、学生の基本的な生活習慣などの改善についても教員同士で最善を尽くすべき頻りに情報交換をしている。

最後に、彫刻専攻は素材を取り扱う際に危険を伴うことが多く、工具、施設の点検とともに学生への安全教育を1・2年次に授業帯ごとに開き周知させている。この体制により全教員で危険を再認識し、さらなる安全性が保てるよう配慮している。また、施設・備品の老朽化に伴う危険性についても同様に精査し、改善するための資料としている。

2月15日 彫刻専攻FD委員 大塚道男

デザイン専攻 FD 活動報告

1 〈授業計画など〉

専攻会議を原則毎週水曜日 13時30分より2時間30分程度実施 FD 関連議題は随時おこなった。

目的：学生の受講意欲の向上、選択授業の計画と実施状況の確認、シラバスの充実について、デザインのホームページの制作について

要約：授業計画の実施状況を各教員から報告をうけ、問題点の抽出をする。

学生の受講姿勢、意欲の向上を検討する。

学生のシラバスの利用を向上させるアイデアを出す。

シラバスの詳細化および記述方法を検討する。

シラバスの告知の方法を検討する。

ホームページでの専攻情報発信の検討。

結果：シラバスの効果的な運用方を検討、記述内容の充実、掲載時期の統一、書式の統一、告知方法の工夫と統一。

デザイン独自のホームページの作成。

2 〈実技前後期制の問題点の抽出と解決〉

目的：本年度より、1年次の実技授業が前後期制になり状況把握と改善

要約：実施上の問題点の抽出をする。

解決策を検討する。

結果：留年など新旧の制度の学生が混在するためその対処法を検討する。

1年生以外の学生にも前期成績がつき、標記された混乱の改善をする。

3 〈関連科目授業教員独自アンケートの実施〉

目的：学生の授業内容への要望、研究状況把握、将来の展望など学生の率直な意見を聞く

要約：アンケートの目的を学生にきちんと伝え、今受けた授業の素直な感想、勉学上困っていること、悩んでいること、卒業後の夢など無記名で記述させる。

結果：学生の生々しい素直な声が返ってくる。この結果を分析し、実技指導、生活指導、デザイン論の内容検討、学生が受けたい、聞きたい授業の把握などさまざまな面で反映させることができる。

4 〈2、3年次グラフィック領域実技授業〉

目的：授業方法、指導連携の改善

要約：グラフィック領域の実技授業では教員、非常勤が分担して毎日午前中実技指導を実施してきた。その授業方法の反省と改善をおこなった。

結果：出欠確認の改善をおこなう。学外での研修が必要な学生も教員に許可をとりに登校している状況があり、学生の研究状況をさらに詳しく把握して学生が研修活動をおこないやすい状況をつくる。

陶磁専攻 FD 活動報告 (H24)

1. 前期

1) 専攻会議週 1 回開催

- ・授業内容、行事に関する伝達など
- ・学生の出席状況についての確認検討
- ・夏休み前後の陶磁専攻の授業日程
- ・年度末の卒業、修了制作作品提出日の確認

以上により教員同士の指導方針を共有した

2) 各授業において、次年度授業の参考とするためアンケートを取っている

3) 地元陶磁器関係施設へのフィールドワークの実施

2)、3) 陶磁器の基礎を身に着けるという目標は毎年同じ内容だが、アンケートを参考にして次年度の作業日数などの内容を少しずつ変更した。

陶磁施設の見学は施設の受け入れ方法などの変更などがあるため、日程など授業との関連を考えながらスムーズに実行できるよう工夫した。

2. 後期

1) 専攻会議週一回開催

- ・主な内容は前期と同内容。

本年度の卒業終了制作における反省点として、制作内容の教員による確認時期が遅かったため、制作期間の不足という事態が起きた。25 年度は 10 月末頃に卒業作品のプレゼンをすることにした。

3. 通年

- ・デザイン専攻とのポットの合同授業を本年も行い成果を上げた。
- ・授業内容に関してはほぼ計画通り陶磁器の基礎を身に付けることができ、計画通りに実行できた。3, 4 年生に関しては個人指導を中心に各々にあった指導ができ目標を達成した。

4. 25 年度計画

教育環境の整備に関して、エアコンの整備が行われたが、学生アンケートから運用に関して希望が出ている。実際には建物構造などとの関係があるので希望に添えるかわからないが、運用に関して学校と検討したい。

1, 2 年のアンケートに書かれていたことは短い言葉であるため正確な内容はわからないが、より陶磁器に関する内容を求めていると考えられるので、各学年の個性も考慮しながら進めることを計画している。

作曲専攻作曲コースFD活動報告（H24年度）

1) 専攻部会

- ・原則隔週開催

・各委員会報告や入試を含む専攻内催事に関するすべてを議論・議決する。個人レッスン中心の授業のため常勤教員4名の各担当する学生状況の報告も行っている。また非常勤講師も含めて理論系クラス授業（「和声Ⅰ・Ⅱ」「対位法」「楽式論」「音楽理論Ⅰ-Ⅳ」等）についても適宜状況報告および授業の在り方について検討し改善に努めている。

2) イベント関係

作曲コースでは、学外からのアーティスト招聘時や作品発表時には常勤4名の教員が立会いの下、学生が自作品についてのプレゼンテーションをした後、ディスカッションや批評会を行っている。本年度は新たに作曲セミナーを開催しオープンキャンパスで高校生にも自作品の演奏後、同様の試みをした。また、平時教員どうしで同一のコンサートに出演することは作曲の場合希であるが、全員新作初演を海外で行い、それぞれの作品について忌憚なく意見を述べあうことができたのは、芸術大学におけるFDとしては何よりも大切な機会であると強く感じる事ができた。

- ・ヴィラ九条山：馬場法子氏（5/23）

- ・常勤4教員によるシベリウス・アカデミーでの室内オーケストラ新作初演（フィンランド 6/9-11）

- ・オープンキャンパスでの作曲セミナーおよび1年生提出作品公開批評会（7/28-29）

- ・作曲作品演奏会：コンテンポラリーαメンバーによるピアノトリオ（11/17-18）

- ・特別講座：鈴木治行氏（「映像と音楽」 12/4）

- ・各教員クラス演奏会・試演会

- ・在学生による学外自主企画コンサート「坂の上.com」（長久手文化の家 2/22）

3) ソルフエージュ

ソルフエージュでは昨年度に引き続き内容刷新のため非常勤教員も含め会議を重ねているが、本年度は東京音楽大学や東京芸術大学へ非常勤講師も含めて視察を行った。和声法や対位法等の理論系授業担当者とも合同の会議を行い、新たな県芸スタイルの基礎教育について開発を開始した。またそのためソルフエージュでは独自の学生授業アンケートを実施した。

平成24年3月25日

井上さつき

- 部会：毎週水曜日（昼休みまたは放課後）に部会を行なっている。学生や授業に関して情報交換を行ない、コース内のさまざまな問題を話し合い、授業の改善に役立っている。
- 独自の授業アンケート実施：一部の科目で行なっている共通のフォーマットによる「授業評価アンケート」のほか、個々の教員が担当する授業の性質に合わせてさまざまな取り組みを行なっている。以下に例を挙げる。
 - ・「西洋音楽史概説」では、毎回、授業の最後にコメントカード（出席カードを兼ねる）を配布し、授業の感想や、質問などを自由に書いてもらっている。履修者のコメントや質問はできる限り次の授業の冒頭で紹介し、フィードバックに務めている。授業の進め方や板書の仕方に関して寄せられたコメントは授業の改善に役立っている。
 - ・「音楽学特講」では、毎回履修者にコメントを書いてもらい、次の授業でそれに答えるように務めている。また、授業の感想は、その後の授業の組み立てる際の参考にしている。さらに、質問はメールで随時受け付けている。
 - ・「特殊研究（音楽学領域5&6）」では、メーリングリストを作り、履修生との連絡を緊密に行なっている。
- 総合ゼミの実施：この授業は「音楽学コロキウム」という名称の学生と教員が同じ立場で発表し、意見を交換するオープンな場をめざして開設された授業を母体として作られたもので、音楽学コースの学部生から大学院博士課程まで学生全員と教員全員が参加する授業である。内容は音楽学コースの教員による研究発表、学生による研究発表、ゲスト・スピーカーによる研究発表から成り、教員と学生とがお互いに切磋琢磨する場となっている。まさしくFDの理念に沿った授業である。
- 複数教員による論文指導：音楽学を専門とする学生にとって必修科目である卒業論文と修士論文の指導に関しては、複数の教員が担当し、集団的指導体制を組んでいる。FD的視点から見ても有効な指導方法であると考えている。
- アーティスト・イン・レジデンスにおけるFD：7月にフランスのソルボンヌ大学の音楽学教授マルク・バティエ氏を迎えてさまざまなプログラムを実施したが、そのなかで、学部3年生、博士課程前期2年生、同後期3年生の学生による英語による研究発表を行ない、バティエ先生にコメントをいただいた。昨年度のナンシー第二大学のフェラトン教授の際の外国語による学生の研究発表に続く試みであり、今回も成功した。これは学生本人の外国語による情報発信能力の向上につながっただけでなく、ほかの学生に対しても大きな刺激となった。また、発表者の1人はこの後、修士論文を英語で執筆した。FDの取り組みの顕著な成功例といえよう。

平成24年度 声楽科FD活動報告

声楽科では、専任教員により月1, 2度開かれる声楽部会に於いて、FD活動について話し合いをおこなっている。「実技試験」、「公開講座」、「特別講座」、「大学院オペラ公演」などをFD活動としてとらえる。

実技試験

年に2度行われる実技試験は、学生の実力を評価し、個々の学生の技術的、音楽的向上の度合いをはかる機会である。また、3年次以上の実技試験は学内公開の形をとっているため、演奏する学生にとっては、聴衆を前にして演奏する経験をもつこととなり、また多くの学生にとっては、自分以外の学生の演奏を聴き、切磋琢磨する機会となっている。

公開講座

昨年度と同様、客員教授のビルギッタ・ノルドファルク氏による、ドイツ・リートおよびスウェーデンの歌曲を採りあげた公開講座を10月に行った。発声法、ディクションなど、日本人にとっては難しい題材をやさしく説明する授業は、学生にとって大変有意義なレッスンであった。

アーティスト・イン・レジデンスおよび特別講座

6月に、イタリアのミラノ音楽院よりダニエーラ・ウッチェッロ教授を招聘し、アーティスト・イン・レジデンス事業「魅惑のベル・カント」を開催した。大学院生を対象に、数回に及ぶ公開レッスンを行い、長久手市文化の家風のホールに於いてガラ・コンサートを開催。その成果を発表した。また、同行したアウグスト・チャバッタ氏（指揮者）の特別講座も合わせて開催し、指揮者の観点から貴重なアドヴァイスを得ることが出来た。

大学院オペラ公演

平成5年度からの歴史を持つ大学院オペラ公演は、本学にとっての看板事業であり、また声楽科にとって最も重要なFD活動ととらえている。本年度は、フンパーディンク作曲のオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を採りあげ、刈谷市および長久手市において公演を行い、いずれも好評を博した。授業では、一流の指揮者、演出家を迎え、声楽指導には、全専任教員があたり、また公演での舞台美術は、本学美術学部の協力を得て制作され、オペラ公演としては、本格的なものとなっている。キャストは大学院生により構成され、合唱は学部女子4年生および学部全男子学生が出演し、大道具、小道具、衣装などといったオペラの舞台裏での仕事までも学生が受け持ち、声楽科全体でオペラ公演実現に向けての取り組みがなされている。こうした経験は、学生にとって、卒業後の演奏活動にも大いに生かされるものと信じている。

2013. 3. 18 二神 二郎

平成24年度

愛知県立芸術大学器楽科ピアノコース FD 活動報告

平成24年度には我々が長年希望していたドイツのケルン音楽大学と、ハンブルグの音楽大学との交流が始まり、ピアノコースから二人の交換留学生を送る事が出来ました。

多くの困難を克服してようやく始まった交換留学制度ですが、次年度には他コースからケルン音大への留学も決定しており、この制度が軌道に乗って学校全体に多くの刺激と活気があふれて行く事を心から期待したいと思います。

年度始めには、Nattkemper 客員教授の芸術講座が愛知芸術文化センターで開催され、高校生を対象としたベートーベンのソナタの公開レッスンは好評を博しました。7月のオープンキャンパスには多くの高校生やそのご家族等が来校され、4年生から選ばれた学生のミニコンサートに聞き入り、またその後設置されたコーナーでは学生生活について熱心に質問をしていました。

10月の、**本学**定期演奏会にはピアノソロ以外に、3組のピアノデュオの出演者を出す事が出来、ピアノコースとして華やかさの増した演奏会になりました。

11月は多くの催事がありました。

中村桃子基金研究所助成事業、国際交流を記念して、

*ケルン音大の Jacob Leuschner 教授のリサイタル

(J.Haydn F.Chopin ,L.v.Beethoven 等の作品、 奏楽堂)

* Leuschner 教授による公開レッスン (中リハーサル室)

* ソロ&デュオ フレッシュコンサート

(オーディションで選ばれた学生、長久手市文化の家 風のホール) が、開催されました。ロイシュナー先生の素晴らしい演奏と、レッスンに学生達も一層ケルンを身近に感じた事でしょう。

また、オランダの巨匠 Willem Brons 教授を特別講座にお迎えする事が出来、バッハの平均率の1巻について、美しく暖かいバッハの演奏と講義で、幸福な時間を共有できました。大変適切な通訳を下さった黒須様にも感謝したいと思います。

12月の弦コースの D.ノーラン客員教授の特別授業では、大学院生2名がノーラン先生とソナタで共演させて頂き、その事は他の学生達にとっても大変刺激になりました。

また前回大変好評を博した冬のピアノセミナーには今回も多くのお誘いがあり、非常勤の先生方の応援も得て、小学生から高校生迄、熱気のうちに開催されました。次回は新校舎での開催となるのが楽しみです。

ナットケンパー教授の特別授業は、1月にベートーベンのソナタの公開レッスンが奏楽堂で行われました。その他にも課外授業として数回、自主的に集まった学生達に公開レッスンをして下さいました。

その他

5月6月には陶磁資料館におけるミニピアノコンサート

12月には3年生による“名曲コンサート”（中村文化小劇場）

2月には4年生による“新進演奏家の夕べ”（天白文化小劇場）

1,2月には博士後期課程の学生によるコンサート（長久手文化の家風のホール）

3月には卒業演奏会（愛知芸術文化センター）、

大学院修了生による2夜にわたるコンサート（宗次ホール）等

優秀な成績を治めた学生によるコンサートが開催されました。

また例年通りクラス授業のアンケートを実施し、授業の改善、学生への対応、教室や各設備の課題等にも着目し向上に取り組んでいます。

以上のように多種多様な催しをマネージしつつ、平常のコース運営を円滑に進め、学生の学習環境・活動をより良いものにするため、ピアノコースは「部会」で行事・企画の確認、日時調整、業務分担について、また教育活動、研究活動、広報等について意見を交わし、審議集約し、共有しています。本年度は毎月、月例部会がおこなわれた他、実技試験の成績集計の際にも部会を持ち、より細やかでより発展的な大学活動の展開を目指しています。

来年度は新音楽棟が完成し夏には引っ越しをする予定ですが、長年校舎新築の為に大変な御苦労と作業をして下さった方々に心から感謝したいと思います。

建物が一新された音楽学部で、これからの活動にどのような変化があり、可能性が広がって行くかが楽しみです。

ピアノ部会では更に充実したFD活動を目ざして、

幅広くその実践に向けた努力を続けております。

24年度FD委員 加藤美緒子記

平成 24 年度 弦楽器コース FD 活動報告 2012.3.29

桐山 建志

実技試験

実技試験は講義系科目の試験と異なり、弦楽器コース専任教員全員と大多数の非常勤講師と一緒に全学生を採点するものです。自分のクラスの学生を、他の先生がどのように評価するのか、また学生の演奏を聴けばどのような指導を受けてきたのかがある程度は判るものです。また、多くの学生が試験後に、他の先生のコメントも聞いてきますので、それも自分の授業改善に大変有効なものです。さらに、個々の学生が前回の試験と比べてどのように成長しているか、ということもすべての教員で見ることになるので、なかなか伸びない学生に対して、精神面のケアも含めて担当教員だけでなくコースの教員が一丸となって取り組むことが出来ました。

複数の教員で担当する授業科目

弦楽器コースでは、「弦楽合奏」および「室内楽」を複数の教員で担当しています。特に「弦楽合奏」では実際に指揮をする教員以外にもその場に立ち会い、助言したりしています。「室内楽」では同時に複数の教員が指導することはありませんが、1年次生は隔週で違う教員の指導を受け、2年次以上も試験での優秀グループが出演する「室内楽の夕べ」演奏会前には、複数の教員がレッスンをしています。また、大学院の「室内楽2」は、他専攻コース教員のレッスンも受けられるカリキュラムになっており、これらの授業では他の教員の指導法などが授業改善の参考になりました。

公開講座や特別授業

今年度も、公開レッスン等を多数行いました。9月に小林道夫先生によるヘンデルのメサイアを題材にした特別授業、12月にデヴィッド・ノーラン客員教授のヴァイオリン・リサイタルを特別授業として開催、1月には和波孝禧先生のヴァイオリン公開レッスン、さらにルドヴィート・カンタ先生のチェロ公開レッスンを開催しました。それぞれの先生方の指導法や演奏は、音楽に対する姿勢を含め大変参考になりました。これらの講座、授業は、すべて録画、記録して、後々役立てるようになっています。

部会

今年度は、前期に8回、後期に8回、あわせて16回の部会を開催しました。また、来年度、弦楽器コースから2名の学生をケルン音大に交換留学生として送り出すことになり、ケルン音大との交流を通じて、授業改善にもつながる効果も期待できます。

愛・知・芸術のもり弦楽五重奏団

2年ぶりに弦楽五重奏団の演奏会を開催しました。弦楽五重奏曲の他に、天野武子名誉教授を客演にお呼びして、弦楽六重奏曲にも取り組み、お互いのレベルアップにつながったと思います。

小林先生マタイ練習 語録 2012.6.11～15

譜割りじゃなくて、歌をうたって

D.C.のとき、急に新鮮になりすぎないで

erをエアと発音すると、なれなれしく聞こえる。バッハが濡れ雑巾に

音符を歌わないで、メロディーを歌って

休符が精神的な休みになってしまってる。

かかをつかなくて歩いて。一つの曲で3～4回はついて構わないけど。

ブレーキかけるわけじゃないけど、きちんとカデンツする。

なるべく遠くまで見て、△が書いてあるか□が書いてあるか○が書いてあるか、その通りに

E-Dur、向かい風でなるべくテンポで歩こうとする。

フィッシャーディスカウ曰く「俺の子音を聞いてくれ、そうすれば何も起こらない」

和声学は何のためにあるのか、演奏のため。

五線の上に行ったら声の美しさを、発音は二の次でよい、Sop.の権利。

上の音に下がれ。

小林先生特別授業メサイア 語録 2012.9.24

序曲

(今の演奏は)文章がない。一つ一つのアルファベットは読めているが・・・

エネルギーの流れ。腰を下ろさないで先へ。

バロック人はやりすぎる(やりすぎ、というほどやらなければバロックではない)

和声学=演奏に活かないと意味がない。

Rejoice

Vn.と歌と通低のトリオ・ソナタ

fとpしかない音楽はない。下の音に上がれ

休んでいる間のスピード感

気の利いた飾りにさせていただきました、という感じにして。

高い音に光が当たっているように、全部が聞こえると忙しい。

休符を尊敬しすぎ

音楽とは、本来書けないもの、それを書いている。

How beautiful

12/8 すべての拍(付点四分音符)が等しいから、3/8に聞こえる。

悪魔の音程 減七度(fis'-es")

四分音符は短く、八分音符は長く

I Know

一拍目が次を決める。休符に義理を立てるな。

同じ音型でも次に何が来るかで違わなければならない。

111 小節、面白いレプリーゼの戻り方。歌い手にすべて任されている、かっこいいよね、やり損なったら惨めだけど。

If God with us

小節線は便宜的に付けられたもの、小節線で音楽をしない。

これはエネルギーのある歌。積極的な神への信頼。

復活なんて嘘八百だけど、それでもキリストはすごい人。それで宗教が出来てもおかしくない、そういう人のことを歌っている。

音程が気になったり、（縦の線が）合っていないことが気になったり、そうならない演奏を。

演奏する喜び。メサイアは、良い指揮者とやりなさい。

He was despised

音楽は形がある。模様を見ると二分音符単位。

気持ちが変わると、音楽もそうなる。

響きの親戚関係。長いフレーズを紡いでいく。

いつも神経が覚めているように。

むち打ち＝向かい風を受けながら、それに抵抗しながら

Comfort

レチタティーヴォは、言葉に音程をのっけるだけ。カデンツは、慎重に時間を使って。

Every Valley

本来表に出ないところが出ている（谷だの山だのの表現）シンコペーション＝秩序をぶっ壊す面白さ
休みに責任を持って、前後がつながるように。

休みで止まらないで、次の準備のために音が切れている。

四分音符の長さに、楽理的に義理を立てないで。

素敵じゃなきゃダメだよ、音楽って。

八分音符二つずつのスラー、スラーの頭がしつこく（大事にされている）裏に入ったらすぐ次の音に
カデンツは、一つ一つの四分音符が一つ一つの機能を背負っている。

forte 体を柔らかくして響きを増やす。

リズムをたてる場合と、言葉をたてるためにリズムを殺す場合と。

カデンツ＝竹の節

幹になる音と、その間をつないでいる音がある。

平成24年度 管打楽器コース FD 活動報告書

管打楽器コースの考えるFD活動は以下の通りです。

①授業アンケート：以前よりアンケートの形式にもっと改善を加えられたらと思っておりますが、なかなか難しく、これまでの形式を用いました。そこから知り得る学生達の想いを授業に反映させるべく、教員同士で活発に意見交換を行いました。

②実技試験：年2回の実技試験では、審査に当たる教員が、演奏した全員のコメントを記しそれを発表しています。ただ単に成績の評価を与えるだけでなく、演奏の印象や今後の課題などのアドバイスも行っています。また、教員の間で学生のレッスンの状況の報告や成長の度合いなどを話し合い、指導する側にとっても貴重な意見交換を行っています。オーケストラの乗り番や、演奏会への推薦などにも試験の結果が反映されています。

③特別講座：今年度は本学の卒業生であるトランペットの織田佑亮さんとドラムの伊藤博隆さんをお招きしました。クラシックのメソッドを本学で学びましたが、卒業後の演奏活動はジャズの世界へ。その少し変わった進路についてお話いただき、また演奏もたくさんしてくださり、学生達は本当に興味深く聞きいておりました。身近な先輩ということで励みにもなったようです。とても有意義な特別講座となりました。

④管打楽器部会：専任教員で月に1～2度の会議を持つことで、学生ひとりひとりまで細かく眼が行き届くよう、またスムーズなコース業務運営や教育活動について、常に話し合い、ワンマンな考えで暴走することなく進められるよう時間を取っています。

平成24年度FD委員 原田綾子

1. 目的

本学の教育理念、教育体制等を啓蒙し、本学への理解を深めた上で、授業を実施していただくため。
大学に関わる事務手続きについて、事務手続きの疑問点を解消し、手続きが必要となる場合に、確認ができるようにする。

2. 配付物

- (1) 大学案内2011/2012
- (2) 下記研修資料

3. 研修資料

- (1) 平成23年度 愛知県公立大学法人組織図
- (2) 平成24年度 職員照会先
- (3) 愛知県公立大学法人ハラスメントの防止等に関する規程
- (4) 愛知県公立大学法人の会計処理について
 - ・別記 愛知県公立大学法人会計処理原則
 - ・教員研究費の使途について（回答）
 - ・旅費支給の概要
 - ・旅行命令書記載例①～③
 - ・物品購入等依頼書の記入例
- (5) 2012年度前期教科書取扱いのお願い ～大学生協への教科書依頼について

4. 施設場所案内（希望のあった場合）

- (1) 管理棟
- (2) 法隆寺金堂壁画模写展示館・日本画模写研究室
- (3) 新講義棟
- (4) 講義棟 ※非常勤講師控室
- (5) 奏楽堂
- (6) 音楽学部棟-合奏棟-新音楽棟
- (7) 音楽研究科博士棟-オペラ・アンサンブル棟
- (8) 体育館・グラウンド
- (9) 大学会館
- (10) 芸術資料館・図書館
- (11) デザイン棟-美術学部棟-総合研究棟-実習棟
- (12) 学生寮-教員住宅
- (13) 芸術学修士棟-美術研究科博士棟-芸術学棟

※レターボックス紹介

※音楽学部：音楽教員センターを案内

学務部学務課FD担当
榊原 圭介

愛知県立芸術大学芸術教育・学生支援センター規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、愛知県立芸術大学学則第5条の規定に基づき、芸術教育・学生支援センター（以下「センター」という。）に関する基本的事項について定める。

(目 的)

第2条 センターは、全学共通教育、教育改革等の企画・立案等を行うことにより、大学の教育・研究の充実を図るとともに、学生・教務に係る事務を一元的に取り扱い、学生に対するサービスの向上と充実を図ること並びに学生の募集及び入学試験の実施を行い、優れた資質を持つ入学者の確保を図ることを目的とする。

(業 務)

第3条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教養教育の企画・実施に関すること
- (2) FD及び授業評価の企画・実施に関すること
- (3) 教務に関する企画・運営に関すること
- (4) 学生の募集及び入学試験に関すること
- (5) 学生の健康管理及び学生相談に関すること
- (6) 学生の就職・進学などの進路指導に関すること
- (7) その他学生支援に関すること
- (8) その他学長が必要と認めること

(組織及び教員)

第4条 センターに専任の教員及び兼任の教員を置く。

(センター長)

第5条 センターに、センター長を置き、学長が指名する本学の専任教授をもって充てる。

- 2 センター長は専任とする。ただし、学部にも所属することができる。
- 3 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年をこえて在任することはできない。また、センター長に欠員が生じた場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会)

第6条 センターに必要な応じて、委員会を置くことができる。

(事 務)

第7条 センターの事務は、学務課で行う。

(補 則)

第8条 この規程に定めるほか、センターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

愛知県立芸術大学FD専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、教員の授業内容、教育方法の組織的な改善を行い、教育の質的向上を図るため、芸術教育・学生支援センター規程第6条の規定に基づき、FD専門委員会について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）に係る企画、立案、実施等に関する次の各号に掲げる事項を行う。

- (1) FDに関する講演会、交流会等に関すること
- (2) 授業評価等を実施した場合、その結果を教育内容や教育方法の改善に活用すること
- (3) その他FDの推進に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 芸術教育・学生支援センター長
 - (2) 美術学部及び音楽学部から選出された教員 各2名
 - (3) 教養教育等から選出された教員 1名。ただし、同項第1号の委員が教養教育等から選出された場合は、この限りでない。
- 2 前項第2号及び第3号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 第1項第2号及び第3号の委員に欠員が生じたときは、ただちに、その欠けた委員の学部等から補充するものとし、その任期は、前任者の残任期間とする。

(FD学部委員)

第4条 FD専門委員会の下に、各専攻(コース)から選出されたFD学部委員を置き、FD専門委員会の補助的業務を行う。

- 2 前項の学部委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 第1項の学部委員に欠員が生じたときは、ただちに、その欠けた学部委員の専攻(コース)から補充するものとし、その任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び議長)

第5条 委員会に委員長を置き、芸術教育・学生支援センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴取することができる。ただし、議決に加えることはできない。

(定足数及び議決方法)

第7条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数によって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第8条 委員会等の庶務は、学務部学務課において担当する。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

「授業評価アンケート」の実施要綱

目次

1. はじめに 趣旨
2. アンケート実施科目について
3. アンケート実施の手順について
4. アンケート結果のFDへの利用について
5. アンケート実施要綱の改正について

1. はじめに 趣旨

愛知県立芸術大学では、大学の教育・研究の充実を図るとともに、教員の授業内容、教育方法の組織的な改善を行い、教育の質的向上を図るため、全ての学部及び研究科においてファカルティ・ディプロップメント（FD）を実施する。その一環として、両学部（研究科）の授業について、受講した学生の声を聞き、今後の授業づくりの参考とするため、前期及び後期の授業期間終盤に、「授業評価アンケート」（以下、アンケート）を導入する。

芸術系大学という特性から、アンケートが授業改善のための手法として適さない授業については、別に授業改善の施策を検討し、組織的な取り組みの報告をFD専門委員会に行う。

アンケートの実施について標準的な実施方法を以下にまとめて提示する。実施方法については、FD専門委員会において、適宜、改善し、関係各位への周知活動を継続する。

2. アンケート実施科目について

原則として、各専攻（コース）が学部FD委員を経て、アンケート実施授業を決定する。

学生の回答内容について、回答した学生が容易に特定できることを避けるため、個人レッスンなどの少人数授業についてはアンケートを実施しない方針とする。ただし、学生の特定ができない施策を行う場合、アンケートを実施できる。

通年の授業については前期で実施しても良い。

3. アンケート実施の手順について

原則、アンケートを実施する場合は、FD専門委員会により、以下の手順による。

(1) 実施方法（実施授業）の決定

FD専門委員会およびFD委員により、実施授業を決定する。

(2) アンケート項目の設定（アンケート様式内容の決定）

FD専門委員会においてアンケートの様式を決定する。前期にアンケート実施がある為、様式（設問）の変更は、次年度以降の様式に反映する。

基本的なアンケート項目は適宜、見直しを行い、年度、学期当初に関係教育組織に提示する。

項目設定については、以下の点に留意する。

①授業の改善・向上のために参考となる内容とし、質問の意図が正しく伝わるよう簡潔なものとする。

②原則、対象は履修登録したすべての学生である点に配慮したものとする。

(3) 教員への通知と、授業担当者からの要望受付

実施要領および、実施授業の通知を教員に対し行う。アンケートに関する要望があれば、受付し、FD専門委員会にて要望内容を精査する。

(4) アンケート様式の選択

授業形態にあわせて、講義または実習の2種類の様式からひとつを決定する。ただし、FD専

門委員会の作成した様式以外で独自の方法で行う場合は、FD専門委員会（担当事務局学務課）に理由書と実施したいアンケートの方法及び様式をFD専門委員会が指定する期間内で申し出る。様式を利用した場合に学務課で集計を行う。

(5) 学生へのアンケート実施

FD専門委員会が指定した期間内にて実施する。学生のアンケート記入中、担当教員は実施場所から離れ、立ち会わない。

(6) アンケートの収集

学生がアンケート記入後に授業毎に封筒にまとめ、学務課へ提出する。

(7) アンケートの回答集計処理

アンケート提出後、適切に集計処理を行う。この際、教員の立ち会いが一切ないこと。また、アンケート回答により授業出席が80パーセント未満の回答者を除いた集計処理も行う。

4. アンケート結果のFDへの利用について

アンケートの集計結果をもとに、授業改善について検討を行うこととする。

(1) 教員による授業評価アンケート報告書作成及び学務課への提出

アンケート報告書の様式とアンケート集計結果を授業担当の教員、または担当の代表教員に配付する。配付を受けた教員は、アンケート集計結果をもとに、アンケート報告書（規定の様式による）を作成し、学務課に提出する。

ただし、非常勤講師については、アンケート報告書の作成を課さない。

(2) 施設設備に関する要望については、事務局等で検討を行い、回答を公表する。

(3) 授業評価アンケート報告書の取り纏め

学務課が、アンケート報告書を取りまとめ、学部・授業科目毎のデータとして整理する。

(4) 授業改善

授業担当者はアンケート報告書に基づいて授業の改善を行う。必要に応じてシラバスを改善する。改善状況については、翌年度のアンケート結果によって継続して確認を行う。

(5) 集計データ・改善点の公開

アンケート集計結果のデータ、教員が作成したアンケート報告書、FD専門委員会による授業改善提案等については冊子等にとりまとめ、公表する。

ただし、担当教員の異動等でアンケート報告書の提出がない場合、または、授業担当者が非常勤講師のみの授業科目については除く。

5. アンケート実施要綱の改正について

この要綱は、FD専門委員会の議事内容に則り改正する。

2010年 3月 4日 平成21年度第5回FD専門委員会において制定

2010年11月24日 平成22年度第4回FD専門委員会の議事内容に応じて変更

2011年12月 8日 平成23年度第2回FD専門委員会の議事内容に応じて変更

2012年12月12日 平成24年度第2回FD専門委員会の議事内容に応じて変更

専攻		
学年		
学籍番号		
フリガナ		
氏名		
現住所		
電話番号		
帰省先住所		
連絡方法	(E-MAIL) (携帯等)	

週	課題内容・出席状況及び平常点	指導内容・評価等	担当	評価
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

愛知県立芸術大学FD活動報告書 平成24年度

平成26年3月

編集 愛知県立芸術大学FD専門委員会

発行 愛知県立芸術大学芸術教育・学生支援センター

〒480-1194

愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2843 (学務課学生支援係)

FAX 0561-62-0083